

九州地区大学図書館協議会誌

第 58 号

2015

九州地区大学図書館協議会

熊本大学附属図書館所蔵の古文書の紹介と利用

熊本大学附属図書館長 山尾 敏 孝

大学図書館の使命の一つに資料の保存がある。各大学図書館にはそれぞれ特色ある貴重資料を所蔵されていることと思うが、本学附属図書館にも多くの貴重資料を保有している。今回は特に点数が多い古文書について紹介させていただくとともに、古文書がもたらす効果について述べたい。そして、これらの古文書を研究や教育に大いに利用していただければ幸いである。

1. はじめに

本館が所蔵する古文書の時代背景となる熊本の歴史を少し振り返ってみたい。近世、関ヶ原以降の熊本領主は加藤清正で、名城熊本城を築城したことでも大変有名である。だが、清正の死後、息子忠広の代に改易となり、代わって入国したのが細川氏であった。細川氏は肥後 54 万石を幕末まで治め明治に至っている。それ以前の中世は、阿蘇氏や相良氏、菊池氏といった豪族が勢力を伸ばしていた時代であった。

2. 阿蘇家文書

「阿蘇家文書」は、肥後一の宮阿蘇神社の宮司（大宮司）阿蘇家に伝来した古文書である。昭和 34～36 年にかけて本学が購入し図書館に架蔵している。

「阿蘇家文書」は、34 巻（304 通）と 36 冊の転写本からなり、昭和 62 年には国の重要文化財の指定を受けている。本館では重要文化財指定を機に卷子本の修復作業を開始し、平成 17 年に全巻修復が完了、平成 18 年には修復完成を記念する展覧会『阿蘇家文書修復完成記念 阿蘇の文化遺産』を

熊本県立美術館と共同で開催した。

「阿蘇家文書」の内容は、上記展覧会の図録にある解説（執筆：工藤敬一名誉教授）によると次のとおりである。

時代的には平安末から幕末期にわたるものの、大部分が鎌倉～戦国期の中世文書である。鎌倉期では北条氏が阿蘇本末社領の預所であったことから、北条氏歴代の阿蘇荘の領家（村上源氏中院流）への書状や阿蘇大宮司以下への発給文書が多い。南北朝期の文書は、大宮司 阿蘇惟時が南朝方からも武家方からもすこぶる重視されたことや、南朝方として活躍した恵良（阿蘇）惟澄が、幾通もの長大な軍忠状を遺したこと、一族が双方に分かれつつも、のちに統合されたことなどから、諸勢力の発給文書が豊富に伝来し、当該期九州のもっとも重要な政治史の史料群となっている。室町期以降の分では、社領関係や社殿造営関係の文書が多い。

「阿蘇家文書」は、東京帝國大學文學部史料編纂所による大日本古文書・家わけ第十三の『阿蘇文書』（全三冊）のうち、巻 1・2 に収録されており、内容はこちらで読むことができる。なお、卷子本 34 巻（304 通）については、全ての画像データを本学の図書館HPにて公開している。

<http://kijima.lib.kumamoto-u.ac.jp/asoke/>

3. 細川家北岡文庫（永青文庫）

「細川家北岡文庫」とは旧藩主細川家に伝わった史料である。公益財団法人永青文庫の所有で、本学は昭和 39 年から寄託を受け図書館に架蔵している。

南北朝時代の細川頼之代から近世細川氏の初代とされる藤孝の丹後統治以後、豊前・豊後時代を経て、寛永9年（1632）の肥後入国以来、明治4年（1871）の廃藩置県に至るまでの史料であり、藩政史料から国文学、有職故実、絵図・指図類まで、その質量において全国有数のものとされている。うち、中世の文書266通は平成25年に国の重要文化財指定を受けている。

現在、本学の文学部附属永青文庫研究センターによって悉皆調査が行われているが、おそらく点数は6万点を超えるであろうと伺っている。同センターからは、永青文庫叢書「細川家文書」5冊（中世編、近世初期編、絵図・地図・指図編1・2、有職故実編）が刊行されており、図版も多数掲載されているのでご覧いただいた方も多いのではないかと思われる。

本館では、「細川家北岡文庫」の目録である『永青文庫 細川家旧記・古文書分類目録 正編』をデータ化して図書館HPで公開しているほか、平成22年からは近年の研究成果である『十九世紀熊本藩住民評価・褒賞記録「町在」解析目録検索システム』も図書館HPにて公開している。

<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/eisei/index.html>

<http://kijima.lib.kumamoto-u.ac.jp/>

4. 松井文庫

「松井文庫」は、熊本藩の筆頭家老で八代城主であった松井家に伝来した古文書の一部で、昭和32年と38年に購入および寄贈で本学所有となり図書館に架蔵している。

豊後統治時代から明治まで、37,221点の史料は、藩主である細川家に伝わる「細川家北岡文庫」と相俟って肥後藩政史研究上貴重なものとされ、大きく次の4つに分けられる。

(1) 冊子体文書：日記類、記録類、文書類、
(2) 一紙文書：書状類、証書類、(3) 伝習堂本：八代の文学稽古所「伝習堂」旧蔵の典籍、(4) 貴重書：特殊古写本類。このうち(1) 冊子体文書の全てと(2) 一紙文書の一部は、図書館HPにて目録を公開している。

<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/local/matsui/index.html>

5. 古文書コレクション

本館の古文書コレクションには、これまであげた以外に次のようなものもある。

時習館文庫、柚原文庫、落合文庫、徳永家文書、平野文庫、浅井家文書、近世阿蘇文書、井上文庫、井手家文書、河端家文書、西園寺家文書、光永寺文書、栗林家文書、米田家文書、春光寺文書、佐田文書、有吉家文書、青地家文書、吉田家文書（以上、本学所有のもの）、藤本家文書、西厳殿寺文書、松井家侍帳、森本家文書（以上、寄託借用文書）などである。

6. おわりに

本館ではこのように数多くの古文書を大切に保管し、研究・教育に供している。学外研究者の閲覧も多く、古文書専用の閲覧室3部屋を予約制でご利用いただいている。また、一般向け公開としては次に述べる貴重資料展を毎年開催しているので紹介したい。

本館では年に一度、秋の学園祭の頃に「貴重資料展」を開催している。毎年、テーマを決めて貴重資料を展示するもので、第31回の今年は「細川家臣・道家（どうけ）家の幕藩初期と明治維新」と題して展示が行われた。これは、今夏の道家家からの古文書寄贈をうけて、藩主側の細川家北岡文庫（公文書）と道家家文書（私文書）を組み合わせ展示する企画が立てられ実施されたものである。このように古文書コレクション

ョンを組み合わせる展示は、「横井小楠文書（横井和子氏寄託）」や「仲光家文書」などでも行われた事例がある。

本貴重資料展を毎回楽しみにされている一般市民の方もおられるように聞いている。あわせて、美術館や博物館などで開催される展覧会向けの貸出も随時実施しており、毎年多くの古文書を県内外へと貸出している。本附属図書館が所有する貴重な古文書は、熊本の歴史研究はもとより、文学・絵

図・有職故実なども含め全国の研究者によって研究が続けられている。このように各大学の図書館が所有する貴重資料等のリストを作成し、画像もHP等で公開しておけば学内・学外を問わず利用者が自由にかつ簡単に閲覧等ができることになり、大いに貢献できると思われる。

最後に、古文書等に関する本文書をまとめていただいた本学図書館職員の川内野氏に記して感謝を申し上げたい。

図 書 館 紹 介

【大分大学学術情報拠点（医学図書館）】

はじめに

本医学図書館は、単科大学であった大分医科大学の附属図書館として昭和 55 年に新築・開設しました。

平成 15 年の大学統合に伴う旦野原図書館との統合があり、平成 20 年には組織の改編（総合情報処理センター、医学情報センターとの統合）を行って、学術情報拠点の一員として位置付けられています。

建物施設については、平成 26 年度に耐震改修工事を行って、平成 27 年 7 月から新図書館でのサービスを開始しています。

医学部の特殊性から、24 時間開館などの学内の研究・学習支援のみならず、県内医療従事者に対しても独自の文献デリバリーサービスを行うなど、地域医療の発展に貢献しています。

施設概要

図書館改修工事では、様々な学習環境を提供できるようにラーニング・コモンスの設置やグループ学習室の増室及び狭隘化した開架書架スペースの拡張を図りました。

外観とその機能面で大きく変わったところは、北側 2 階にあった入口を南側の正面 1 階に変更したことです。出入り口が広くなり利便性が向上し、エントランスの外観イメージが一新しました。

広々とした 1 階ホールは寛ぎ・リフレッシュの談話スペースとして位置づけ、ソファやスツールを配し、ブラウジング雑誌・新聞のほか、一般利用者用図書コーナーを設置して

います。

ホール隣には近年の様々な学習形態に対応可能なラーニング・コモンスを新設し、会議や補講にも活用されています。

2 階は閲覧席を中心に構成され、書架には和雑誌や保存図書などを配架し、窓際には備付 PC コーナー（3 階にもあり）、エレベーター前にも窓に面した明るい学習コーナーを設け、開放的な空間が広がっています。

また、2・3 階には少人数での学習などに活用できる大小合わせ 6 室のグループ学習室があります。3 階は書架スペースを中心に医学専門書や参考図書を配架しています。

施設比較	改修前	改修後
延べ面積	1,710 m ²	1,703 m ²
書庫スペース	319 m ²	388 m ²
閲覧スペース	676 m ²	741 m ²
事務 ほか	715 m ²	574 m ²
座席数	237 席	260 席
*蔵書数	現在約 100 千冊	

*その他

- ・全館 LED ライト使用
- ・身障者対応エレベータ・トイレ新設
- ・一部書架に電動集密書架を使用
- ・入館には学生証や ID カードを使用

館内案内

【図書館外観】



南側正面入口。

【1階 ホール】



左奥はラーニング・コモンズ入口。

【1階 ラーニング・コモンズ】



離合集散可能な机・椅子 30脚、大画面液晶ディスプレイ 1台、電子ホワイトボード 1台を整備。利用は予約制。予約空きの時間帯は自由に使用可能。

【2・3階 閲覧室/

備付ノート PC コーナー】



2階閲覧室。南側の窓際に沿って備付ノート PC 8台を設置。(3階は2台)

【3階 開架図書コーナー】



手前が一般教養図書 (NDC 分類) 次に医学専門図書 (NLMC 分類) 奥には参考図書を配架。右奥はグループ学習室。

【2・3階 グループ学習室】



写真は小タイプ 6人用。

室内には大型テーブルと椅子、ホワイトボ

ードを設置。利用は予約制。予約空きの間帯は自由に使用可能。

【エレベーター付近】



開放的な空間となっている。

終わりに

ラーニング・コモンズなど新たな学習環境を整備し、環境改善が整った新医学図書館を今後ますます活用していただきたいと願っています。

本学医学部と地域における医療・教育研究全般を支える図書館であることを念頭に、今後も期待に応えるべく職員一丸となって学習支援に取り組む姿勢です。

【大分大学学術情報拠点（図書館）】

はじめに

大分大学学術情報拠点（図書館）は、教育福祉学部、経済学部、工学部がある大分大学旦野原キャンパスの図書館です。昭和43年3月に新築し、昭和56年の増築などを経て、平成23年6月から耐震改修工事を行って、平成24年10月に新たに開館しました。

施設比較	改修前	改修後
延べ面積	4,284 m ²	5,928 m ²
書庫スペース	2,034 m ²	2,271 m ²
閲覧スペース	849 m ²	2,287 m ²
事務 ほか	1,401 m ²	1,370 m ²
座席数	466 席	680 席

施設概要

1階にラーニング・コモンズや科目別学習支援ブースエリア、2階にグループ演習室を4室設置して、さまざまな学習環境の提供ができるようになっています。

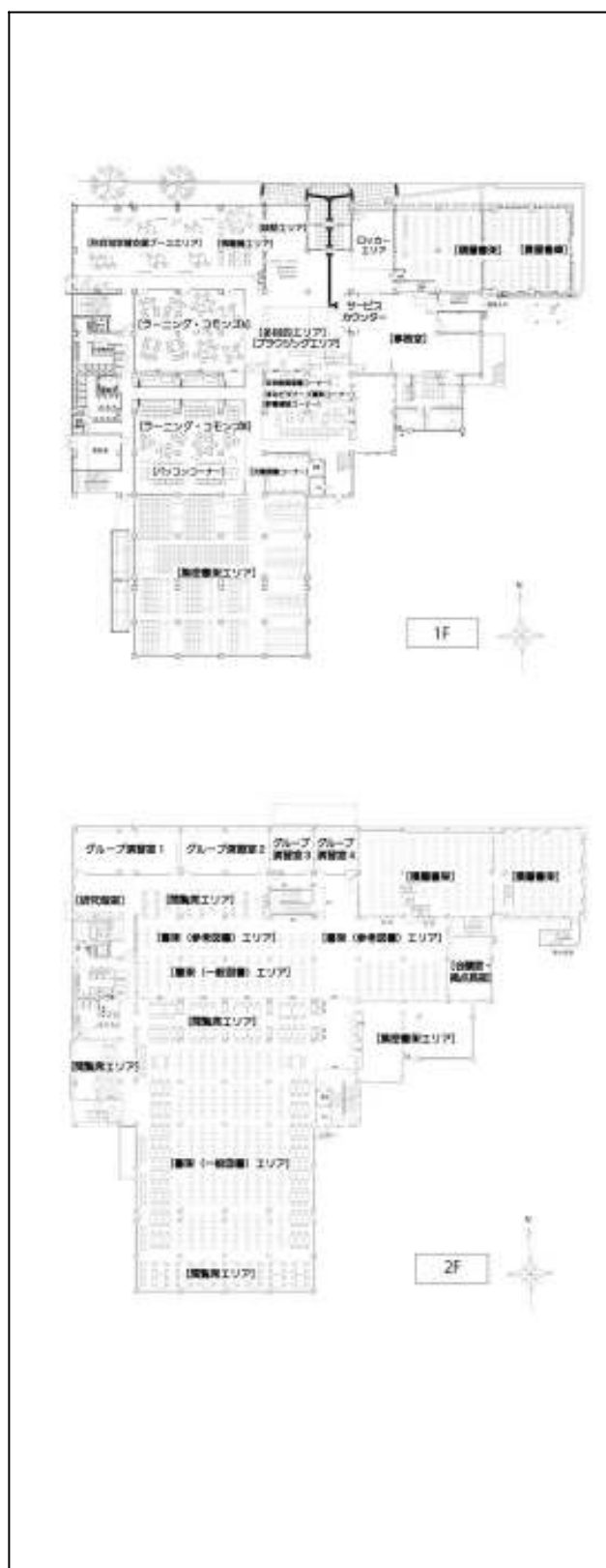
また、1階の閲覧スペース部分を会話エリアに、そのエリア以外を静粛エリアに区分けして、会話エリアでは蓋つきの飲み物を許可しています。

図書の蔵書冊数は現在約672千冊で、ほとんどを開架しています。

1階に“シラバス”、“新着図書”、“まなビギナーズ”（さまざまな学問分野の入門書）、“児童図書”などのコーナーを設けており、2階は参考図書および一般図書の書架を並べて、学生への学習支援や授業支援を図っています。図書館の北東側に4層構造の積層書架エリアを設け、研究用図書（教員購入図書）や寄贈図書を和図書と洋図書に分けて並べています。

パソコン30台（デスクトップ20台、貸出用ノート10台）を整備しています。

館内図



館内案内

図書館外観



正面入口から撮影



左手はカウンター、正面の配架コーナーは“新着図書コーナー”、“まなビギナーズコーナー”と“特設コーナー”。

科目別学習支援ブースエリア



机2台、椅子4脚、書架、ホワイトボードを1セットとした6ブースを整備している。予約制。予約のないときは自由に使用可能。
手前の書架は“シラバスコーナー”。

ラーニング・コモンズ A



離合集散可能な机と椅子 64脚、大型ホワイトボード2台、自立式40吋スクリーンなどを整備している。予約制。予約のないときは自由に使用可能。奥はラーニング・コモンズ B。

ラーニング・コモンズ B



離合集散可能な机と椅子 40脚、可動型ホワイトボード6台、電子ホワイトボード1台を整備している。予約制。予約のないときは自由に使用可能。奥はパソコンコーナー。

2階 書架エリア



参考図書と一般図書が分類順に並ぶ。

グループ演習室



演習室 1 に 36 席、演習室 2 に 24 席、演習室 3 に 12 席、演習室 4 に 8 席を整備している。

積層書架エリア



終わりに

新図書館施設を有効に活用し、今後も学生の学習支援に重点をおいた取り組みを積極的に行っていきたいと考えています。

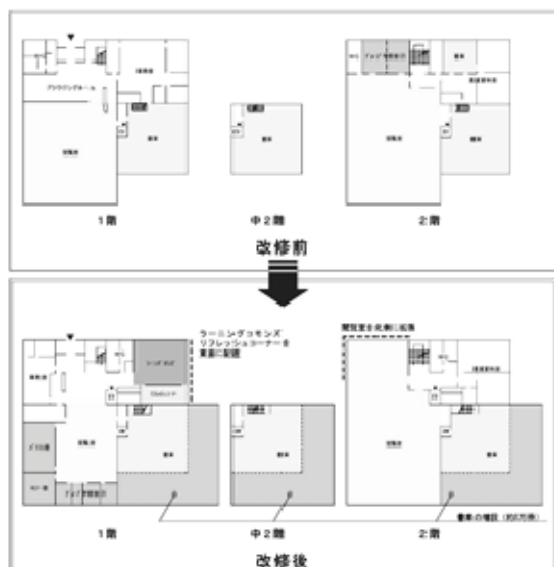
【長崎大学附属図書館医学分館】

はじめに

長崎大学附属図書館医学分館は、医学系の部局がある長崎大学坂本キャンパスの図書館です。

昭和53年12月竣工で築36年目でしたが、日当たりが良い明るい建物で、赤レンガ風の外観は瀟洒な風情を保っていました。しかし、耐震強度が不足していました。また、かねてより書庫の狭隘化が深刻でした。

工事期間は平成25年8月から平成26年2月の7ヶ月でした。移転、準備期間を含め、約1年の休館を経て平成26年5月、全面リニューアルオープンを迎えました。



新装医学分館のコンセプト

改修にあたり、以下の4点を重視しました。

1. 安全の確保
2. 学習環境の改善
3. 書庫収容力の増加
4. 貴重資料の保存・展示環境の向上

以上に加え、環境問題などにも配慮しつつ、現在の利用者の要望に応え、かつ、未来にわたって利用可能な図書館を作ることが念頭に、改修に臨みました。



「安全な図書館」—耐震性の向上

改修により、耐震性を表すIs値は、0.40から0.90と飛躍的に向上しました。窓は全て取り替えられ、防火性や遮熱性も向上しています。

外見は改修前とほとんど変わっていません。



「利用者のすぐ傍に」—サービスカウンター

サービスカウンターは、入退館ゲートに接しており、閲覧室、ラーニングcommons、2階への動線などが見渡せる位置にあります。戸惑っている利用者がいれば、すぐに声を掛け、駆けつけることができます。

また、カウンターと背後の事務室の仕切りはガラスとなっており、事務室内の職員も、カウンターや閲覧室の様子を見ながら、必要なときはフォローすることができます。



「見通しよく広々と」—1階閲覧室

1階閲覧室は、新着雑誌コーナーの奥に閲覧机が並び、周囲にグループ学習室、セミナー室、パソコン室を配置しています。書架等の高さは120cm以下に押さえ、見通しを良くしています。



「室数を増やして使いやすく」—グループ学習室

定員20名のセミナー室と、定員6~8名のグループ学習室3室の計4室を備えています。セミナー室は、図書館の会議や講習会の会場としても利用します。



「講習会を館内で」—パソコン室

20台の学生用パソコンを設置しています。館内はどこでも長崎大学の無線LANへの接続が可能で、持参のノートパソコンを利用できますが、学生の要望も多く、あえてパソコン室を作りました。データベースの利用法などの、実習付きの講習会もこの部屋で行います。



「使い方は自由」—ラーニングcommons

アクティブラーニングのためのスペースとして、ラーニングcommonsを新設しました。

5人掛けの一部可動式のミーティングテーブル6台と壁際席10席を設置しています。テーブル付きの椅子や予備のスツールも用意しており、フレキシブルに利用できます。

ノートパソコン用の電源(10口)や、備え付けのパソコン(2台)も利用可能で、グループだけではなく、個人でもアクティブな空間を気に入って利用する人がいるようです。



「ちょっと一息」—リフレッシュコーナー

学習で疲れたときに利用していただきたいリフレッシュコーナーです。館内で唯一、飲食が可能なスペースです。



「静謐な学習空間」—2階閲覧室

2階閲覧室は、開架図書約1万5千冊と閲覧席166席が並ぶメインの学習スペースです。閲覧座席数は、1階閲覧室、ラーニングコモンズと合わせると改修前から2割増の302席となり、増席の要望に応えることができました。



「優しい風と光」—環境への配慮

2階閲覧室は、南、西、北の3方向に窓があり、季節と時間に応じて風を呼び入れることができる明るい空間です。西側の窓には遮光性、遮熱性の高いペアガラスを使用し、夏の日差しを和らげます。

また、照明・空調設備の省エネ化や、古い什器や書架をメンテナンスした上で再利用することにより、環境に優しい図書館を目指しました。



「収容力倍増」—書庫

書庫部分をL字型に増築しました。1層から3層までの書庫の床面積が約2倍となり、収容冊数も約8万冊増加しました。



「西洋医学教育の発祥」—近代医学史料展示室

長崎大学医学部は、ポンペ・フォン・メーデルフォールトが1857年に医学伝習を開始したことを起源としています。また、長崎は古くから西洋と東洋の知識の窓口となってきました。その歴史と伝統を示す史料を展示しています

このたびの改修により、資料を大切にしながら一般の皆さまにも親しんでいただける、明るい展示室になりました。

終わりに

当館が、長崎大学と共に、今後とも学生、教職員及び地域の皆さまに愛されるように願い、努力を続けて参りたいと思います。

【大分大学】

1. 「S を目指すレポートの書き方」講習会を実施

且野原図書館では、6月に「S を目指すレポートの書き方」講習会を実施しました。対象は、初めてレポートを書く1年生やレポートに自信のない2年生以上の本学学生で、講師は、学術情報拠点長の宮町良広経済学部教授と学術情報室室長の工学部中島誠教授が行いました。

内容は、①出典と引用編と②情報検索編に分かれていて①を2回②を1回行いました。

参加者は34名のほかライティング・サポート・デスクの研修として、チューターも受講しました。

終了後のアンケートには、「理解を深めることができました。」「出典と引用を書くことの大切さが分かりました。」「CiNii で論文を調べられることを知ることができたのは良かった。」との声が聞かれました。また、「学部別にレポートのテクニックを教えて欲しい」など、より詳しい講座を行って欲しいとの声も上がり、学生がレポートを書く意欲が高まり充実した講習会になりました。



2. 医学図書館リニューアルオープン

医学図書館は、7月1日（水）リニューアルオープンしました。バリアフリーを考慮して玄関を2階から1階に変更し、新たにエレベーターを設置しました。館内には自然光が多く入り、ラウンジやエレベーターホールは開放的な雰囲気になりま

した。また、ラーニング・コモンズの新設、学習スペースやグループ学習室も増設し、学習環境を更に充実させた図書館になりました。



3. ライティング・サポート・デスク開設

且野原図書館では、7月1日（水）よりライティング・サポート・デスクを開設しました。対象は学部1・2年生で、構成の仕方、文章の書き方等基本的なライティング作法を教えることを目的に、3年生1名、院生6名、計7名がチューターとして科目別学習支援ブースで月～金の各2コマ～3コマを対応しました。



4. 学生選書ツアー&学生選書ツアー展示「ブンダイ生が選ぶ132冊」

7月と8月に希望者15名が参加し、市内の大型

書店2か所で選書ツアーを行いました。選書した本が届いた後、特にオススメしたいと思う本を学生がピックアップし、銘々に工夫を凝らしたPOPを作成しました。

選書した本132冊とPOPは、10月13日(火)からブラウジングエリアに展示したところ、POPの書かれた作品から次々と借りられていき、人気の高い展示になりました。



5. Library Lovers' キャンペーン 2015 を開催

九州各地の大学図書館で同期間に行うLibrary Lovers' キャンペーンに本学も参加しました。今回は「ブックレシピ」です。本と本を組み合わせることで、「知のつながり」を生むという新たな読書の楽しみを提案するイベントです。

1階談話エリアに本学の「プロのレシピ」を中心に、各大学のレシピを展示し、本学に所蔵している本を展示しました。本学で作成されたレシピで所蔵がないものは、購入しました。学生から「みんなのレシピ」も集まりました。

貸出の際に「プロのレシピ」を配布したことで、1階談話エリアで展示を行っていることの認知度が高まり、レシピを興味深げに読んだり本を手にとったりする学生も多く見られました。



6. ビブリオバトルのチャンプ本は誰の手に

11月1日(日)、大学開放イベントに合わせて10:30~12:00、場所はラーニング・コモンズAで第2回ビブリオバトルを行いました。応募者23名中20名が予選に出場し、精鋭6名が本選に出場しました。

バトラーは、落ち着いた様子でオススメ本を手にとり体験などを交えながら本の紹介を行い、観覧者からの質疑に答えました。

クリッカー投票の結果、工学部4年長友健洋さんがオススメした『サイボーグ昆虫、フェロモンを追う』(神崎亮平著)が同点決戦の後、20票中12票を獲得し、「チャンプ本」の荣誉に輝きました。

高校生の観覧者も多く、アンケートには「ハキハキとしゃべってすてきでした!!」「難しい本でも、おもしろかった部分をわかりやすく説明されていて、読みたい気持ちにさせられ、良かったです。」などと書かれ、先輩方の勇姿を目に焼き付けたようです。

バトラー自身も「他の人の発表を聞いて、本をより多く読みたいと感じました。」「自分の視野が広がった。」と本に対する考え方が深まるとともに、「人に良さを伝える難しさがよく理解できた。」と人前で話すことの難しさを学ぶとともに「人前で話すことに抵抗がなくなりました。」「今までよりも緊張せずに発表できそうです」とビブリオバトルに参加したことでの印象の変化や自らの成長を感じたかという問いに、「感じた」、「少し感じた」という学生が予選、本選あわせて96%と高く、貴重な体験ができたという感想が多く寄せられました。



7. KENBUN を使おう！大分の歴史的・地域新聞ラッピングサービス

11月1日（日）10:00～16:00、大学開放イベントに合わせて行いました。KENBUNに入っている新聞データを記念品や贈り物として、印刷し、デコレーションしたり、ラミネート加工したりして来場者にプレゼントする企画です。

KENBUNは大分大学と大分県立図書館が共同で開発した、PC上で古い新聞紙面をブラウジングできるシステムです。大分県立図書館がマイクロフィルムで所有する1876年（明治9年）～1961年（昭和36年）までに大分県内で発行された新聞紙面約16万ページが印刷できます。

昭和36年ということ、55歳以上の方達の新聞しか印刷できないため、①おじいちゃん、おばあちゃんの生まれた日はどんな日だったのかな？②〇〇年前はどんな日だったのかな？というテーマで、データベースを作成した工学部中島教授と学生3名と図書企画係2名で行いました。

来場者は、31名（子ども8名、中学生1名、高校生3名、大人14名、高齢者4名）で、主な用途として孫から祖父祖母へのプレゼント、自分への記念品としてというのが多数でしたが、高校生はおしゃれな新聞を下敷きにしたいとラミネート加工して持って帰っていました。東京オリンピックの際の新聞や新年の挨拶が描かれた新聞や面白い広告などが載っているものなどの印刷を行っている方もいました。こちらで想像していたより多様なものになり、来場者の方たちが嬉しそうに、そして大事そうに持って帰るのが印象的でした。



【鹿児島大学附属図書館】

（1）南九州市との共同企画展「木村探元と武家のたしなみ」を開催

南九州市教育委員会との共催による合同企画展「木村探元と武家のたしなみ」を平成26年12月19日から平成27年3月15日までミュージアム知覧にて開催し、4,050名の入館者があった。

木村探元（たんげん）は、延宝7年（1679）に薩摩で生まれ、江戸狩野派に入門の後、薩摩藩の御用絵師として、数々の優れた作品を残した。また探元は絵画だけでなく、茶道・歌道にも通じた教養人でもあった。

本展示会は、ミュージアム知覧が所蔵する探元の絵画作品と鹿児島大学附属図書館が所蔵する茶道書「白鷺洲（はくろしゅう）」等の関連書物を展

示し、当時の武家の趣味生活を明らかにするものであった。

また、期間中の1月10日には、同ミュージアムにおいて、下原美保教授（教育学部・日本美術史）による講演会「江戸狩野と木村探元」が開催され、40名余りの市民の参加者は熱心に聞きいていた。ひきつづき展示会場で行われた高津孝教授（法文学部）によるギャラリートーク（実際の作品を目にしながらか解説）にも、参加者は解説を聞きながら興味深く作品を鑑賞していた。



下原美保教授による講演

(2) 学生協働の取組－図書館サポーター活動－

平成27年4月から本学学生を対象に図書館サポーターを募集し、19名の学部生・大学院生が応募した。5月20日にキックオフミーティングを行い、活動を開始した。図書館の利用方法やデータベース等の研修会を実施するとともに、ブックハンティングおよび図書の展示企画への協力とPOP作成、8月1日のオープンキャンパスでは来館した高校生や保護者への館内ツアーガイドの実施等、図書館活動に協働して取り組んだ。

9月8日～9日には梅光学院大学において開催された「大学図書館協働交流シンポジウム」に学生6名と職員1名が参加し、本学図書館サポーターの活動を報告するとともに、他大学の図書館サポーターと交流し、活動の取り組みや情報を共有した。

また図書館サポーターを中心とした実行委員会を結成し、ビブリオバトル首都決戦2015の九州Cブロックの地区決戦を11月28日に開催した。他



オープンキャンパスでのサポーターによる図書館ツアーガイド

にも、facebookによる図書館のイベントの紹介やサポーター活動の広報等、開始1年目ではあるが、学生協働活動を活発に展開している。

(3) 第6回中国・四国・九州地区大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナーを開催

第6回中国・四国・九州地区大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナーを9月11日から12日まで開催した。

このセミナーは、図書館職員として採用された職員が、職員としての第一歩を踏み出すにあたって必要な図書館業務の知識を修得することを目的としている。また、同地区の中国公私立の枠を越えてのセミナーであり、図書館間連携を必要とする新しい業務展開の基礎としての、若き大学図書館職員の人的ネットワークを形成することを目指すものである。

今回のセミナーには、大学図書館採用3年以内の若手図書館職員28名の参加があった。野呂鹿児島大学附属図書館長の基調講演に続き、同地区の6名の大学図書館職員が講師となり、図書館サービス業務、学修支援、学生協働、学術雑誌・データベース、目録情報と電子リソース、オープンアクセスと機関リポジトリのテーマで講義を行った。

また、「大学図書館の利用を活性化するには」、「これからの大学図書館職員に求められるもの」という課題についてそれぞれ5つのグループに分かれて討議を行い、相互に発表を行った。



野呂忠秀館長の基調講演

(4) EAJRS 第 26 回年次大会にて貴重資料に関する取り組みを報告

9月16～19日にかけてオランダのライデンで開催された、日本資料専門家欧州協会（European Association of Japanese Resource Specialists : EAJRS）第26回年次大会へ本学職員が参加し、発表を行った。EAJRSは欧州における日本分野資料

の専門家（司書や研究者等）から成るグループである。「日本近代化における薩摩藩の視座とその文化遺産の共有に向けた取り組み」と題した発表で、開催地に関わりの深い洋学資料の日本における受容という観点から本学の貴重資料である玉里文庫資料を紹介するとともに、貴重書展・デジタルアーカイブを通じた持続的な資料共有の取り組みについての事例報告を行った。

【鹿屋体育大学附属図書館】

1. 図書館利用者アンケート実施

平成27年10月に利用者アンケートを実施した。調査項目の主なものは、

- 図書館利用傾向（頻度、利用目的）
 - 読書傾向（頻度、あまり読書しない場合の理由）
 - 図書館サービスへの要望（開館時間、購入希望資料）
 - 図書館WEBサイトの利用傾向
- である。今後、分析結果を利用者サービス面での改善に反映させる予定である。

2. 企画展示

新入生向けに大学での勉強法、レポートの書き方などを紹介した「大学生におすすめの本」、「読書の秋、スポーツの秋」、「卒論の書き方、論文発表に役立つ本」など季節や学内行事等に配慮し、企画設置した。



3. Library Lovers' キャンペーン

Library Lovers' キャンペーン「ブックレシピ」に参加した。レシピ（3冊セットでの図書紹介）のうち、本学学生が関心を持ちそうなスポーツ小説、アスリートが書いたエッセイ集などについては、簡単な展示コーナーをつくり紹介された本を実際に手に取って読めるようにした。



4. 館内の環境整備

(1) グループ学習室改装

視聴覚システム室として利用してきた部屋を学生等の自学自習・グループ討議等で利用しやすいように改装した。



(2) 閲覧室

閲覧済みの図書について、返却台を設置し、

誤った場所への返本をなるべく少なくするようにした。

また、閲覧机に、消しゴム等のごみを回収す

る手作りの紙製ボックスを置き、きれいな机で利用者が読書等できるようにした。

【九州大学附属図書館】

Library Lovers'キャンペーン 2015 開催

九州大学では、今年度、参加館合同企画「ブックレシピー本を料理しろ」のほか、以下の本学独自企画を実施した。

- ・ Talking Night
 - 様々な分野の教員に「学生の私、現在（イマ）の私」をテーマに語ってもらう企画
 - 今年は3キャンパスに会場を拡大し、心理学、考古学、畜産学、医学教育学、情報デザイン、園芸学の研究者に登壇いただいた
- ・ 音楽の夕べ：SPレコード鑑賞会
 - 手回しの蓄音機でクラシック、昭和歌謡等のSPレコードを鑑賞（4キャンパスで開催）
- ・ 全国大学ビブリオバトル首都決戦 2015 九州大学予選会
 - 箱崎・伊都で開催し、6名の学生が北部九州地区決戦に出場
- ・ 九大100冊—Classic Books Library Cafe—
 - 図書館学習サポーターによる企画
 - 教員をナビゲーターとして『九大100冊』を読む読書会
- ・ キャンペーン特製しおり配布
 - 学生のデザインしたしおり15点を配布
- ・ 本のリユース



「Talking Night」

写真展「九大1968 —林崎价男(ともお)の写真で振り返る」を開催

文学部・大学文書館・附属図書館の共催により、平成26年11月21日から翌27年2月19日まで、写真展「九大1968 —林崎价男の写真で振り返る」を開催した。

写真は、当時、本学文学部の技官だった林崎价男(ともお)氏が、昭和43(1968)年6月の九州大学箱崎キャンパス米軍機墜落事故から、翌昭和44(1969)年10月の機動隊投入によるキャンパス封鎖解除までの一連の学内の動きを撮影し続けた大変貴重な記録で、全31点を5期に分けて図書館にて展示した。

会場には当時の学生や教職員、地域の人々が多く訪れ、じっくりと写真を眺めてはその頃を懐かしみ、アンケートに様々な思い出を綴っていった。また、現役の学生や教職員からは、九大の一時代の雰囲気を感じることができたという声が聞かれ、箱崎キャンパスの移転が進む中、改めてその歴史を振り返るよい機会となった。

会期中の2月3日には、林崎氏をお招きし、トークイベント「九大1968 —撮影者 林崎价男氏を囲んで」を開催し、対談形式で当時を振り返った。会場には、九大の元教職員や現役の学生、一般市民など約80名が来場し、全31枚の展示写真を見ながら、林崎氏の生きた証言に熱心に耳を傾けた。また、当時学生や教職員だった参加者からは、それぞれの立場での体験談も語られ、箱崎キャンパスの歴史を象徴する一時代の空気感を、世代を超えて共有する貴重な時間となった。



貴重文物展示「雅俗繚乱—中野三敏江戸学コレクションの世界—」を開催

5月11日から18日まで、中央図書館にて開催した本展示会では、江戸学の大家である中野三敏本学名誉教授の旧蔵コレクション「雅俗文庫」を中心に73点を展示した。

「雅俗文庫」の「雅」とは伝統文化すなわち和歌・漢詩・擬古文の類、「俗」とは新興文化すなわち俳諧・川柳・小説の類を指し、「雅俗文庫」はこの双方の融和こそが江戸文化の神髄という中野名誉教授の文化観が反映された、約6,000点にのぼるコレクションである。展示会には、学内外から約700名来場者があり、展示資料のくずし字を判読したり、多彩な挿絵を楽しんだりと熱心に見入っていた。

また5月16日には、関連講演会「江戸文化辻談義—中野コレクションから見えるもの」を開催し、中野三敏名誉教授ほかによる講演とトークセッションを行った。会場は200名を超える聴衆で満員となり、先生方のユーモアある語りに和やかな雰囲気包まれた。



教育の国際化に対応した学修支援環境の構築—アクティブ・ラーナー育成を推進する次世代の大学図書館をめざして—

教育改革の推進を目的とした学内プログラム「教育の質向上支援プログラム(Enhanced Education Program: EEP)」に、附属図書館のプロジェクト「教育の国際化に対応した学修支援環境の構築—アクティブ・ラーナー育成を推進する次世代の大学図書館をめざして—」が新たに採択された。

本プロジェクトでは、平成27年度から29年度までの3年間に渡り、様々な取組を通じて、グローバル化の観点から附属図書館全体の学修・教育支援体制を再構築していく。具体的には、附属図書館、付設教材開発センター、統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻が一体となって、他の関連する部局との連携を深めつつ、次の事業に取り組む予定である。①国際化拠点図書館の開館に向けた図書館学習サポーター事業の推進、②教育の国際化を支えるコンテンツ整備体制の構築、③教育の国際化に対応した図書館利用教育の拡充、④基幹教育支援の拡充、⑤学修支援を推進する人材育成。

新中央図書館基本計画の策定と整備スケジュール

平成22年度から関係部局の委員により組織する新中央図書館基本計画検討ワーキンググループと図書館職員を中心に検討をすすめてきた「新中央図書館基本計画」が27年3月に完成しました。

新中央図書館は、「いざなう (encourage)」「つなぐ (link)」「うみだす (create)」「はぐくむ (cultivate)」の4つをキーワードとする、九州大学における学修・教育・研究・国際化・社会貢献の拠点となる施設であり、面積約2万㎡、座席数約1,400席、収蔵能力約350万冊という、全国的に見ても最大規模の大学図書館となります。

建築的には、半円形4層の建物の内部に、ダイナミックな4層の吹き抜け空間と、その空間を取り囲む壁面書架が配され、大学のキャンパスモールドをブリッジを経由して建物内に取り込んだ特徴的なデザインの図書館となります。

平成26年度から開始されている建物工事は29年度まで続き、28年後期には建物全体の完成にさきがけアクティブラーニングスペースや自動書庫の運用を開始し、九州大学の伊都キャンパス移転事業が完了する平成30年後期に全面開館する予定です。

【九州工業大学】

1. 「九工大 夏の100冊」展示

夏季休業期間を前に、ラーニングコモンズサポーターの学生と図書館職員が所蔵図書から100冊を選んでそれぞれにPOPを作成し、「九工大 夏の100冊」として展示した。また、展示期間中に図書を2冊借りた学生には、トレーシングペーパーで作成したオリジナルブックカバーをプレゼントした。

100冊は貸出の少ない図書から選んだが、100冊中60冊が貸出され、POPの効果が感じられた。ブックカバーの配布も学生、職員から好評であった。夏季休業中は貸出期間が延長になるが、それに合わせて貸出の促進につなげることができた。

伊都図書館リニューアルオープン

伊都図書館では、平成27年度後半より建物の改修工事を行っています。この改修は、平成21年度より伊都図書館3階を講義室、院生室等に利用していた数理学研究院が、本学の理学系移転に伴い移転したことによるものです。今回の改修では、3階部分を図書館として改修するほか、図書館をめぐる学内外の環境の変化に対応して、1階にラーニングコモンズ、2階に国際交流ラウンジ、3階に附属図書館の付設組織である教材開発センターの教材作成用スタジオを新設します。全体の改修工事は平成28年2月に終了し、開館準備、理学系の資料移転等の後、平成28年4月にリニューアルオープンの予定です。



2. 図書館脱出ゲーム

Library Lovers' のオリジナル企画として、本館分館それぞれで図書館脱出ゲームを開催した。問題を解きながら館内を歩き回ることによって、配架場所や利用法について楽しく知ってもらおうと企画した。また、分館は学生スタッフ ALSA と連携して開催し、ALSA の認知度

アップにつなげた。

実施期間は10月26日～11月6日の2週間であったが、多くの学生が挑戦し、解き終わった学生からは「普段使うことのないエリアを探索できてよかった」「また開催して欲しい」などの声もあるなど好評であった。学生以外にも職員や教員の参加もあった。

参加した学生のTwitterを見て来館した学生もあり、ノンユーザーへ来館を促す手段として有効であると感じた。



3. ビブリオバトル in English

11月10日、本館ラーニングコモンズにおいて「ビブリオバトル in English」を開催した。プレゼンからその後のディスカッションまで全て英語で行うことで、英語でのコミュニケーションスキルを高めることを目的としている。本企画は学内で国際交流を行う部署(ランゲージ・ラウンジ、以下 LL)との協同企画で、図書館・LLの利用促進を図る狙いもあった。

バトラーを務めたのは日本人学生4名と留学生1名の計5名で、緊張した様子ながら、各自が持参した本を紹介した。プレゼン後のディスカッションでも、会場から積極的に質問があり、質問を受けたバトラーが、必死に言葉を探しながら自身の考えを伝えようとする姿勢が印象的だった。

学外・職員を含め30名近くの参加があり、「同じ学生が自信を持って英語でプレゼンテーションをしてすごく刺激になった」「久々に英語だけの空間を体験でき楽しかった」などイベントを楽しんだ感想が聞かれた。

当日たまたま図書館を利用していた学生の参加もあるなど、オープンスペースで行うメリットが生かされた。



4. ラーニングコモンズサポーター発信企画

当館では、学生の学修支援を目的として、学生・院生からなる“ラーニングコモンズサポーター”を配置している。サポーターは学習相談の他、自主企画のイベントを実施している。今回そのイベントのうち特に好評だった2件を報告する。

(1)「留学生との文化交流会/International Student Hang Out and Cultural Exchange」

留学生による日本留学の感想や自国との違いなどを発表してもらい、日本人学生と文化交流を図ることを目的に開催した。当日は、留学生3名と日本人学生1名が自国文化や留学して知った「日本」について英語で発表し、発表者からクイズが出題されたり、参加者からの質問があったりと活気に満ちたイベントとなった

(2)「3D CAD/3D プリンター 入門講座」

10月から11月にかけて、サポーターの学生が講師役となり、3D CADソフトの基本的な使い方を学ぶ全5回の講座を実施した。受講生各自が好きなものを設計し、最後に作成したデータを使って3Dプリンターで造形することを目標とした講座で、3Dプリンターの使用については、学生のものづくりを支援する学内施設「デザイン工房」の協力を得た。

毎回定員に近い参加があり、受講者からは

「サポーターの助言もあり分かりやすかった」「楽しんで CAD の学習ができた」と好評であった。

また、講師役の学生が通常の学習相談の勤務をする時間にも相談があるなど、サポーターの利用促進にもつながった。



【熊本大学附属図書館】

「学生選書員」による選書を実施

熊本大学附属図書館中央館では、平成 19 年度より学生のニーズに即した蔵書構成を確立し、図書館利用の促進を図るため、学生が図書の選定を行う「学生選書員」の募集を行っている。今年度は第 1 回を 6 月に実施し 17 名の選書員によるバラエティ豊かな 243 冊の図書が選書された。選書された図書は選書員自らおすすめ POP を作成し、11 月後半より図書と共に中央館ロビーに展示される予定である。なお、第 2 回については 19 名の選書員が決定し、現在、選書活動を実施中である。



Library Lovers' キャンペーン 2015 に参加

平成 27 年度は合同企画「ブックレシピ」と 4 つの独自企画を実施した。

【合同企画】

「ブックレシピ」(10 月 26 日～11 月 16 日)

事前に熊本大学の教職員から「プロのレシピ」を募集した。プロのレシピにレシピで紹介された図書を添えて中央館内の複数個所で展示した。併

せて、ブックレシピを館内の各所で配布した。



【独自企画】

1) 東光原文学賞アンケート結果大発表 (10 月 26 日～11 月 16 日)

7 月に図書館ウェブサイト上で実施した「東光原文学賞と小説に関するアンケート」の結果発表ポスターを中央館ロビーに展示し、リーフレットの配布を行った。

2) 本のリユース (11 月 9 日～13 日)

利用者が持ち込んだ本を他の利用者が持ち帰ることができるコーナーを中央館玄関ホールに設置した。

3) くまぼんを探そう (11 月 9 日～13 日)

中央館内の各所に隠れた熊本大学附属図書館公認キャラクター「くまぼん」を探し出すイベントを実施した。図書館の活用に関するクイズに解答するコースと「くまぼん」が手にしている食材を用いてできる料理名を解答するコースを設けた。

4) くまぼんと写真を撮ろう (11月16日)

中央館ラーニングコモンズ内に「くまぼん」と写真撮影ができる特設会場を設けた。

第8回「東光原文学賞」を実施

平成20年度に創設した「東光原文学賞」は今年度で8回目となる。本学の学生を対象とするもので、10月末までに短編小説の募集を行い、27年度は14編の応募があった。

本賞は、大学生の読書への関心を高め、創作という能動的な知的活動の機会を提供することを目的としている。また、広報も兼ねて文学賞に関するWebアンケート調査も実施した。

受賞作品は、学内外の審査員による選考、委員会の審議を経て大賞・優秀賞が決定される。受賞作品の発表は28年1月を予定している。

第31回貴重資料展「細川家臣・道家(どうけ)家の幕藩初期と明治維新」、公開講演会/第10回永青文庫セミナーを開催

本学の貴重資料では、熊本藩主細川家「永青文庫」が有名であるが、ほかにも旧臣家に伝来した文書群が保管されている。今年度新に寄贈された『道家家文書(どうけけもんじょ)』もそのひとつである。

第31回目となる貴重資料展では、『道家家文書』を中心に、天草島原一揆で活躍した道家左近、幕末維新时期に藩政の舵取り役となった道家之山らに関する古文書によって、激動期熊本の歴史を展示した。

【九州国際大学】

1. ラーニングコモンズ設置

2015年度、学生が自主的学習を行うための場として、2階にラーニングコモンズを設置しました。

講義や課題取組の時、学生が図書館の資料やイ

初日には、永青文庫研究センター長 稲葉教授「道家家三代と天草・島原一揆」と、文学部 三澤准教授「<肥後の維新>の支柱となった道家之山」の講演会・永青文庫セミナーが開催された。資料展・セミナーには『道家家文書』を寄贈いただいた道家一義氏とご家族の方々も遠方より来場された。

期間は11月1日(日)～3日(火)であるが、10月31日(土)には、本学のホームカミングデーも開催されたため、久しぶりに母校を訪れた卒業生たちには一日早く公開した。

貴重資料展には、一般市民を含む352名が訪れ盛況であった。



ンターネットで収集した情報を持ち寄って積極的にグループディスカッションできる場として、活用されています。今後は無線LANなど、利用者の利便性を考えたサービスの向上を目指しています。



2. 2014年度私立大学図書館協会 研究助成
「教職協働で作る学修支援ービブリオバトルを活用したグループワークと読書ノートの構築ー」と題して、教職協働による学修支援の構築と図書館スタッフによる学修支援の効果を目的として平成 26 年度に実践研究を行いました。研究成果については、第 76 回（2015 年度）私立大学図書館協会総会・研究大会（明治学院大学横浜校舎・8 月 27～28 日）にて発表を行いました。研究助成の報告・資料については <http://www.jaspul.org/ind/post-1.html> で公開されています。



3. 朗読会

昨年度から直方市図書館館長の野口和夫氏が講師として招き、取り組んでいます。

【佐賀大学附属図書館】

図書館サポーターによる学生協働活動

学生協働活動として、昨年度までの「学生選書委員会」という呼称を改め、今年度から「図書館サポーター(愛称:さりーず)」として活動を開始した。総勢 22 名の学生で様々な企画を行っている。

本館では、9 月に、ミステリーを中心にした芥

昨年度は、報道部の学生や朗読に興味がある学生が黒崎の朗読 Bar での朗読会に参加しました。今年度は、地域での活動を活発に行う事を目標に、八幡図書館（7 月 25 日）と八幡西区にある放課後児童クラブ(8 月 31 日)では本学学生が、大学祭（11 月 14 日）では本学学生と地域の方と協同で朗読会を行いました。



4. わたしの好きな本コンテスト

2010 年から本学の教員組織である教養学会との共催で 6 回目となる感想文コンテスト（応募期間 9 月 24 日から 11 月 14 日）では、応募者全員には参加賞（QUO カード）、また入賞者には 12 月 14 日に表彰式を行い、表彰状と賞品を授与する予定です。



川賞・直木賞受賞作品や気軽に洋書を楽しめる英語多読本などの展示を行った。

医学分館では、8 月のオープンキャンパスに合わせ、普段は利用者でもある図書館サポーター学生が来場した高校生に館内を案内して巡る図書館ツアーの実施、また実際に大学の講義や授業等で

使用している医学書の展示を行い、来館した高校生の興味をひいたイベントとなった。

また、8月の夏休み期間中に、選書ツアーをジュンク堂書店福岡店で行い約150冊の本を選書した。

今後も学生に主体的な発想をもって図書館活動に参加してもらうことで、図書館利用促進やサービスの満足度向上に役立てたい。



「秋の夜長に読みたい本」
(ミステリーを中心にした
芥川賞・直木賞受賞作品を展示)



オープンキャンパス時に
医学分館玄関前に設置した案内看板

Library Lovers' キャンペーン

今年も Library Lovers' キャンペーン 2015 に参加し、合同企画「ブックレシピ」の掲示や、オリジナル企画「谷崎潤一郎没後 50 周年記念 悪女イラストコンテスト」を行った。オリジナル企画の内容は、『痴人の愛』に登場するナオミをイメージしたイラストを募集し、人気投票するというもので、図書館サポーターが手掛けたものである。イラストの前で立ち止まる学生も多く、サポーター自身にとってやりがいを感じる事ができるいい機会となった。



【長崎大学】

1. 出前図書館の実施

図書館職員が学部の講義室付近に図書を運んで、その場を即席のミニ図書館とする取り組みである。

全学部を対象とし、各学部の講義に沿った内容の図書を各回 40～50 冊程度出前して、その場で貸出手続きを行っている。

また、教員からの申込みによって行う「出前図書館<オーダーメイド版>」も実施しており、希望のあった授業にも出前を行っている。運んでいく図書は教員と図書館職員が授業テーマに即した図書を選んでおり、教員と連携した授業支援を行うことで、学生の授業の理解が深まることや読書

意欲の増進といった効果が期待される。

中央図書館では、10月からこの取組を開始し、教養科目や水産学部の授業科目、そして薬学部等でのべ6回実施し、約40冊の図書の貸出があった。

経済学部分館では、同じく10月からアクティブラーニング形式の授業で出前図書館を実施し、図書が貸出だけでなく補助教材としても利用されている。

<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/use/cent/demae/>



2. 大学院生による学習相談の実施

大学院生が学部生の学習に関する質問・相談に答えるサービスとして、7月から「大学生による学習相談～学習びあ・サポート in 図書館～」を開始した。



中央図書館のラーニングcommons設置のサテライトカウンターに「相談員」の大学院生を1名配置し、レポートの書き方や履修関連、専門分野に関する質問に答える取組である。毎週月・水・金の16時～18時に実施している（休業期間は実施せず）。

前期（7月1日～8月5日）は14回実施し、のべ13名から相談があり、後期は9月後半から再開している。

相談員は、教育学研究科、工学研究科及び医歯薬学総合研究科の修士課程1年の大学院生3名である。



<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/use/cent/leaps/>

3. ワークスタディ・アシスタントの活動

長崎大学では、平成26年度より学生が有償で本学の教育研究活動及び修学環境整備にかかる補助的業務を行うワークスタディ・アシスタント制度を導入している。これに伴い、附属図書館では平成26年1月より図書館ワークスタディ・アシスタント（WA）の活動を行っている。

WAは、中央図書館、医学分館及び経済学部分館の3館で、平成27年1月から3月まで、NU-LibGuides（授業資料ガイド）の入力、カウンター補助及び書架整理等を行った（のべ15名採用）。

平成27年度は昨年度の業務に加え、図書館ガイドダンス補助も行っている（現在、9名活動中）。

4. 図書館サポーターの活動

- (1) 絵本展（図書館サポーター選書）の開催（7月）
- (2) ビブリオバトルの実施（5月及び6月、11月）
- (3) 選書ツアーの実施（9月）
- (4) 読書推進のための三角柱POPの更新（随時）

5. Library Lovers' キャンペーン2015への参加

恒例のLibrary Lovers' キャンペーン2015（10月20日～11月16日）に参加した。

本年の合同企画である「ブックレシピー本を、

料理しろ。」では、事前に本学の教職員からプロのレシピが 14 件集まり、開催期間中には学生から 13 件のレシピが集まり、来館者の注目を集めた。

本学の独自企画として、次の企画を実施した。

- (1) 学生選書ツアー 10月23日・24日
- (2) 学生リクエスト ～読書週間特別受付～
10月27日～11月9日
- (3) 脱出ゲーム：図書館の秘宝を探せ！
11月4日～11月13日
- (4) ビブリオバトル 11月12日

(3)の今年初めて企画した脱出ゲーム「図書館の秘宝を探せ！」では、参加者が5つの写真と怪文書を手がかりに図書館に眠る秘宝を探し出すという謎解きゲームで、楽しくゲームに取り組むうちに図書館サービスについての知識がついていた！という内容を目指した。このゲームには173名の参加があり、94名が脱出に成功した。参加者からは「無機（化学）並にムズかしい」や「図書館について知らなかったことを知るいい機会になりました」などの感想が寄せられた。



(4)のビブリオバトルは、昨年度から取組を始めているが、今年度は同キャンペーンの合同企画と連動して「ブックレシピ」図書3冊を題材として、職員2名、学生3名の計5名のバトルにより行われ（観覧者は10名）、水産学部1年生のものがチャンプレシピ（「伊藤計画を知るレシピ」）となった。

6. 学生用図書利用促進の取組

- (1) 中央図書館
 - ・レポート作成支援コーナーや小中高指定教科書コーナーの新設（9月）
 - ・中田館長の推薦図書の展示（6月～）

- ・本学のイベントに即した展示（例：「リレー講座 2015 講師陣著作」（5月～8月）や「戦後70周年戦争と平和の記録」（8月～9月）など）
- ・職員による常設展示（「有名人が書いた本」や「一度も借りられていない本」など、定期的に更新）



- (2) 医学分館
 - ・アフリカ関係図書の展示（10月～）
- (3) 経済学部分館
 - ・電子ブック紹介コーナー（9月～）
電子ブックアクセスカードとの併用により、経済学分野の電子ブックの利用促進を目的とする。
 - ・岡田経済学部長の推薦図書の展示（10月～）
 - ・戦後70周年にかかる図書の展示（7～10月）

7. 学外展示

- (1) 特別展「医は仁術」
期間：平成26年12月23日～平成27年2月11日
会場：長崎歴史文化博物館（長崎大学附属図書館共催）
- (2) 第3回ヒットネット（HITNET）ミニ企画展「はい、チーズ！写真の歩み－日本の産業技術－」
期間：平成27年2月17日～4月5日
会場：国立科学博物館（長崎大学附属図書館共催）

8. 学内展示

- (1) 中央図書館
 - ・「アートからみる医学史～『医は仁術』『医は長崎』そして『医は芸術』～」(平成26年1

月～平成 27 年 2 月)

- ・旧官立長崎師範学校図画教員 玉木鶴亭展～玉木学園所蔵品展 No. 3～ (2 月～3 月)
- ・第 2 回長崎大学フォトコンテスト入選写真展 (3 月～4 月)
- ・全学写真部新入生歓迎展 (4 月～5 月)
- ・「長崎から世界遺産を！」古写真展 (5 月～6 月)
- ・全学書道部「水無月展」(6 月)
- ・図書館サポーター絵本展 (7 月～8 月)
- ・被爆 70 年を考える現代美術展 2015 (8 月)
- ・アフリカ「ポレポレ」ウィーク写真展 (10 月)

・グラバー図譜展 (10 月～11 月)



水産学部との共催により、標本も展示

(2) 医学分館

・「医学は長崎から一受け取り、伝える医の心ー」
(平成 26 年 12 月～平成 27 年 2 月)

【福岡教育大学学術情報センター図書館】

1. 国立教育系大学図書館協議会研究部会の開催

7 月 16 日・17 日に、平成 27 年度 (第 46 回) 国立教育系大学図書館協議会研究部会を幹事館として開催した。当日は台風 11 号の接近により開催が危ぶまれたが、当初の予定を組み替えること等により、1 館の欠席はあったが無事に開催することができた。研究部会では、2 件の実践発表があり、3 件の協議事項及び 7 件の承合事項について意見交換が行われた。特に教師用指導書の購入や電子黒板・電子教科書の活用支援など教員養成大学ならではの図書館サービスについて、活発な意見交換が行われた。



スであり、図書館ツアーでは貴重書室や子ども図書室など新しくなった施設を見学していただいた。保護者からデータベースや電子ジャーナルの導入状況等について質問があり、電子的サービスへの関心の高さが窺われた。ミニ展示では、オープンキャンパスで来館する高校生が小学校 1 年時に使用していた国語教科書と昭和 30 年頃、昭和 60 年頃、平成 17 年及び最新平成 27 年の各教科の教科書の比較展示を行った。高校生や保護者の多くが、使っていた出版社の教科書を探したり、古い教科書の内容を見たりと足を止めていた。



2. 大学オープンキャンパス協賛

7 月 25 日 (土) 開催の大学オープンキャンパス行事に合わせ、図書館では図書館ツアーと小学校教科書のミニ展示を実施した。今回はリニューアルオープン後初のオープンキャンパ

3. 「教育大に行ってみよう！」協賛

11 月 15 日 (日)、大学主催イベントの“教育大に行ってみよう！”に参加し、「小さな仕掛け絵本とポストカードを作ろう！」という企画を実施した。これは、子ども図書室で絵本の読み

聞かせや手遊び、画用紙や色紙を使って自分だけの小さな仕掛け絵本やポストカードを作るというプログラムで、お話の世界と自分の表現の世界をゆったりと楽しむというものである。

未就学児から小学低学年までの約100名の子どもたちが、自分だけの仕掛け絵本を作ったり、幼児教育選修の学生による大型絵本の読み聞かせに耳を傾けたり、各自思い思いに楽しんでいる様子で、多くの参加者から「とても楽しかった」という感想が寄せられた。



4. 図書館における学習支援・研究支援プロジェクト

平成26・27年度学術情報センター研究プロジェクトの1つである「図書館における学習支援・研究支援プロジェクト」の一環で、パスファインダーの作成による学習支援を試験的に実施している。教育実習に役立つ項目についてプロジェクトの研究分担者により作成された約20種類のパスファインダーを図書館内に設置



し、利用者が手に取ることができるようにしている。また、教育実習の事前指導や授業においてパスファインダーを配付・活用することとしており、今後はその有効性を検証していく予定である。

【宮崎大学附属図書館】

1. リザーブブック制度

教員が指定した授業やレポート課題関連図書を専用棚に一定期間展示し、館内限定で利用に供する制度を拡充し、課題発見科目については、1タイトル複数冊の配架を可能とし、グループワークなどのアクティブラーニング学修支援を図った。



全国大学ビブリオバトル2015予選会

2. ビブリオバトル

全国大学ビブリオバトル2015予選会
10月22日、29日に全国大学ビブリオバトルの予選会を本館で開催した。両日ともにバトルの熱い思いに会場は盛り上がった。

3. 学生選書ツアー（第一回）

7月4日、市内の大型書店において学生選書ツアーを実施した。学生8名の参加があり、専門分野や興味のある本を選び、87冊を購入した。学生からは、図書館に置いてほしい本を選ぶことができ、有意義だったとの意見があった。



4. Library Lovers' キャンペーン

九州地区の国公立大学等図書館による合同企画「ブックレシピ - 本を、料理しろ。」に参加した。図書館館内の掲示板のみならず、館外の掲示板にもポスターやレシピを掲示し、宮崎大学の学生および教職員へ広く周知を行った。



学生食堂付近の掲示板の様子

5. 大学開放事業

「平成27年度 みやたいWakuWaku 体験Day」

11月14日～15日に大学開放事業が実施され、図書館の開放とともに、廃棄図書のリサイクル市を実施した。訪れた一般市民・学生・教職員へ図書を無償配布した。



本館 リサイクル市

また、本館では「芥川賞・直木賞 候補作・受賞作」及び「本屋大賞受賞作」の展示、医学分館では、「高木兼寛」についての企画展示を実施した。



医学分館企画展示

11月14日(土)午後13時30分から、図書館3階視聴覚室において映画「キャッツ&ドッグス」の上映会を行うに当たり、企画等に参加した学生サポーターの協力を得て、好評のうちに終了した。

6. 本館の改修

平成26年度中に閲覧室を改修し、ラーニングコモンズエリアを拡大、アクティブラーニング支援のためのセミナーラームを3室整えた。新たなラーニングコモンズ、セミナーラームに視聴覚機器、ホワイトボード、可動式机、無線LAN等を設置し、学修環境のさらなる充実を図った。



【宮崎学園図書館（宮崎国際大学・宮崎学園短期大学）】

平成 27 年度の活動から

4月の全新入生対象図書館ツアーに始まり、学生図書委員会、教員要請による情報検索指導、図書館実務体験授業、古本市、九州Cブロック地区予選出場者決定ビブリオバトル、手作りおもちゃ学生作品展、職場体験学習、企画展示等の、様々な活動を行ってきました。この中から2件について詳しく紹介いたします。

(1) 2015 年度私立大学図書館協会研究助成採択

研究テーマは、「大学図書館における漫画コーナーの設置とその効果～郷土（宮崎県）出身漫画家との接点を求めて～」です。「図書館は学生に使用されてこそ存在意義がある」をモットーに様々な活動を行い、活性化を図ってきました。その結果、学生への貸出数は飛躍的に伸びてきました。そうした中で目に付いたのが漫画を読む学生の多さです。当時図書館で購入している漫画は極めて少なく、殆どが寄贈によるものでした。「漫画は、大学図書館にふさわしくない」との意見も学内にはありましたが、「排除するのではなく、良質の漫画を提供し、活字本の読書へとつなげていくことが必要なのでは」と考え、漫画の導入を決意しました。周囲の理解を得るためにも「研究助成」を受けることが必要と考え、申請し、採択されました。研究内容は「漫画関連資料コーナーを設置し、宮崎県出身漫画家の作品を中心に収集、作家の協力を仰ぎサイン入り色紙やコメントを展示、漫画に関するエッセイ・評論等も収集し、学生から漫画論・エッセイを募集する。これらにより、大学図書館が如何ほどの活性化を見せるか、漫画コーナーの設置が活字本貸出への増加へとつながっていくのか、漫画導入の効果を探る」というものです。この研究結果は、平成28年8月下旬の研究会で発表、協会のホームページにも掲載予定です。

漫画関連資料コーナーを7月にオープンした際は、地元紙に複数回にわたり大きく紹介していただきました。

下写真は、7月オープン前後の様子です。



(2) テレジン強制収容所に残された「子どもの絵画」展開催～戦後70年特別企画～

平成26年に学生・教職員を対象に館内に飾る絵の募集をしました。その際、大学の教員からテレジン強制収容所に収容されていた子どもたちの絵の話聞き、戦後70年特別企画として次年度開催（関連資料の蔵書展示も同時実施）を決定しました。テレジン(チェコ)は、アウシュビッツ強制所ほどは、広く知られていません。これを機に、学生・教職員だけではなく、広く広報活動を行い、一人でも多くの方々に来館いただき、絵を通して戦争の悲惨さと平和の尊さを深く感じていただきたいと思いました。

平成27年8月に連携協定を締結したばかりの宮崎大学との職員交流の一環として、宮崎大学附属図書館の館員と、テレジンに関する合同研修会を展示会前に実施しました。短時間でしたが、テレジン以外の今後の連携活動についても、幅広く活発な意見交換がなされました。両大学学生サポーターの連携の話も出て、早速、宮崎国際大学の学生が、数名、サポーターに名乗りを上げてくれました。宮崎大学附属図書館には、数枚、テレジンの絵画の貸出を行い、ホームページやツイッター、パスファインダーでの紹介も行っていただきました。絵画展は、地元紙に写真付きで紹介されると、学外の方が遠方からも多く来館されました。

下写真は、宮崎大学附属図書館との合同研修会の様子です。※於宮崎学園図書館



【琉球大学附属図書館】

■本館改修工事期間中のサービス

琉球大学附属図書館（本館）では、平成 27 年 8 月より耐震補強・機能改善のための改修工事を行っていることから、改修工事対象エリア外である新館部分にて、サービス規模を縮小して図書館サービスを提供している。

図書館資料については、従来、開架閲覧室に配架していた一般図書、沖縄開架資料等を新館 1 階集密書庫に配架し、参考図書や新聞資料を新館 3 階閲覧室に配架して、利用に供している。

館内の座席数が約 30 席と限られているため、貸出冊数・貸出期間を従来の 2 倍に変更するなど、貸出中心のサービスを実施している。

また、改修工事に伴い館外に移動し利用ができなくなった資料については、学内者に限定して、図書取り寄せ及び文献複写の無料化を実施している。

ニーズの高いパソコン 60 台については、共通教育棟 1 号館 1 階スタディールームへ移設し、当日の新聞閲覧、大学院生による学修支援、ノート PC の貸出、17 時以降の資料の受け渡しを行うサービス窓口も併せて設置している。

■EU 資料展

琉球大学附属図書館は琉球大学 EU 資料センターとして、例年 5 月から 6 月の間に、駐日欧州委員会代表部が主催する日本と欧州連合

(EU) の友好週間イベント「日・EU フレンドシップウィーク」の一環として、EU に関する理解を深めることを目的に「EU 資料展」を開催しています。

今年は 6 月 1 日（月）から 6 月 14 日（日）までの 2 週間、本館 2 階情報ラウンジにおいて「EU 資料展 ～ブルガリアってどんな国？～」を開催しました。

EU の紹介とともに、EU 加盟国の一つであるブルガリアを紹介するパネル、留学生からのメッセージ、ブルガリアに関する図書等を展示しました。

また、併せて EU の広報資料も展示・配布しました。



■コラム「きじむんのどうーちゅいむにー」

昨年度に引き続き、沖縄資料担当の職員によるコラム「きじむんのどうーちゅいむに（訳：きじむんの独り言）」を展示しています。利用

者に沖縄資料の特性を知ってもらい、図書館の利用促進を図ることを目的としています。

今年度のテーマは「琉球・沖縄の妖怪・幽霊」です。沖縄の古文獻に残る、妖怪や幽霊、その他不思議な話をご紹介します。本館内にてパネル掲示をするほか、PDF データをバックナンバーとしてHPにて公開しています。



■平成 27 年度附属図書館・博物館（風樹館）企画展「宮古諸島のくらしと風景」

昨年度より附属図書館では博物館（風樹館）と合同企画展を開催し、今年度は宮古島市教育委員会との共催により「宮古諸島のくらしと風景」を開催しました。

本企画展では、通常一般公開をしていない附属図書館所蔵の写真資料や博物館（風樹館）所蔵のわら算標本を展示し、ギャラリートークや講演会等のイベントも開催しました。

展示資料には宮古島にゆかりのある資料や1960年頃の宮古諸島の写真パネル、博物館が所蔵するわら算（文字の代わりに税や反物の量を記録したもの）やマータ（畑の魔除けや豊作祈願に使われているススキの草標）を展示しました。



Library Lovers' キャンペーン 2015 実施報告

Library Lovers' キャンペーン 2015 ワーキンググループ
大分大学学術情報拠点 (図書館) 立花 志保
鹿児島大学附属図書館 中野 里香
熊本大学附属図書館 上原 秀平

1. はじめに

1-1. Library Lovers' キャンペーン 2015 の概要

2015年10月20日(火)～11月16日(月)の約1ヶ月間、秋の読書週間に合わせ、九州地区の大学図書館が合同で Library Lovers' キャンペーン 2015 を実施した。九州地区大学図書館協議会(以下、「協議会」とする。)の3ヵ年事業としての最終年度、キャンペーンとしては通算6年目となる今年度は、国公私立の41大学が参加した。

本キャンペーンは、「主として学生を対象とした図書館の利用促進、読書推進」、「イベントを企画、運営することによる、図書館職員のスキル向上」、「大学を超えた人的ネットワークの形成」、「九州地区大学図書館間での取り組み事例やアイデアの共有」、「図書館活動の学内外へのアピール」という5つを目的としている。

キャンペーンの内容は、例年、参加館が協力して行う合同企画と、各参加館が実施する独自企画で構成されている。今年度の合同企画は、あるテーマについてのおすすめ本を複数冊組み合わせ合わせたオリジナルレシピを募集・共有・展示する「ブックレシピー本を、料理しろ。」を実施した。

1-2. 実施体制

キャンペーンの企画運営は、九州大学に事務局を置き、協議会加盟館から募集したメンバー6名で結成されたワーキンググループ(以下「WG」という。)で行った。WGメンバー決定後、事務局から過去の資料等がWGメンバーに提供され、事前にキャンペーンの概要や進め方を把握した。

その後、九州大学にて1.5日間のWG会議が開催され、実施内容の検討及び準備作業を行った。会議後は、主にグループウェア上で情報共有しながら作業を行った。参加館にはメーリングリストやクラウドサービスを用いて情報共有を行った。

1-3. 全体スケジュール

キャンペーン全体のスケジュールは以下のとおりである。

日程	内容
5/1～5/29	協議会加盟館からキャンペーン企画案及びWGメンバー募集
6/17	WGメンバー決定
7/9～7/10	WG会議開催 キャンペーン合同企画決定
8/20～8/31	参加館募集
9/2	合同企画のマニュアルと広報物テンプレートを参加館に配布
9/2～10/2	教職員による「プロのレシピー」を事前募集
10/6～	キャンペーン予告広報開始
10/13～	各参加館で募集した「プロのレシピー」を集約して参加館に配布
10/20～ 11/16	キャンペーン期間

2. キャンペーンの企画・準備

2-1. 合同企画の決定

九州大学にて行われたWG会議において、協議会加盟館から事前に募集していた企画案を基に検討を行い、今年度の合同企画を「ブックレシピー 一本を料理しろ。」に決定した。

これは、複数の図書を組み合わせることで「知のつながり」を生み、新たな読書の楽しみを提案するというコンセプトの下、九州の各大学の教職員・学生を対象に、あるテーマについてのおすすめ本を3冊組み合わせ合わせた「本のレシピー」を募集する企画である。

「本のレシピー」は、事前に募集する教職員の「プロのレシピー」とキャンペーン期間中に募集する学生の「みんなのレシピー」からなり、集まったレシピーを参加館で共有・展示・配布

することとした。

過去に実施した投稿募集型の企画では、学生からの投稿が少ない館ではなかなか展示が充実しない例があったため、今年はキャンペーン開始とともに一斉公開する「プロのレシピ」をメインコンテンツとすることで、どの館でも終始展示がにぎわう企画となることを狙った。

2-2. 実施準備

合同企画の決定後、まずは具体的作業の洗い出しを行った。今回は WG のメンバーが少ないため担当を「総括班」「デザイン班」などのように明確に分けるのではなく、作業ごとに担当を決めた。続いて、キャッチコピー、テーマカラー、ロゴなどを決め、Web ツールの運用方法についても検討した。ポスターは人物 (WG メンバー) を入れることになり、別日に撮影することにした。

会議後は、主にグループウェア上で情報共有をしながら各メンバーがレシピテンプレートやポスター作成、Web ツールの準備等の作業を行った。

2-3. 参加館募集

1-3 のスケジュールに則り、九州地区の大学・短大・高専図書館宛てにキャンペーン参加館の募集を行った。参加スタイル及び参加大学数は、以下のとおりである。

1. 合同企画に参加 26 校
2. 合同企画(展示のみ)に参加 9 校
3. 広報協力 6 校

3. キャンペーンの実施

3-1. 合同企画

昨年度に引き続き、今年度も予告広報を実施した。この段階では企画名を明かさず、利用者の期待感を高めることが狙いである。キャンペーン開始日の2週間前から、各参加館で予告広報用ポスターの掲示や、キャンペーン Web サイト及び SNS 上での告知を行った。

キャンペーン開始に先立ち、各参加館が自大学の教職員にレシピ執筆を依頼し、150 点にもものぼる「プロのレシピ」が集まった。その「プロのレシピ」を、WG メンバーが PDF ファイルに加工してレシピカードとして参加館全体へ配布した。キャンペーン開始と共に各館での展示や配布、及び Web サイトでの公開を行った。

キャンペーン期間中は、それぞれの図書館でブックレシピの投稿を受け付けるとともに、Web フォームからも投稿ができるようにした。

展示は、各図書館の状況に応じて行ない、キャンペーン期間中に投稿されたレシピも随時参加館に共有して展示に追加できるようにした。

3-2. 広報

前述の予告広報を含み、期間中は以下の通り実施した。なお、過去のキャンペーン広報に比べ、特に SNS (Facebook、Twitter) に力を入れた。

① 予告ポスター (10/6～10/19)

キャッチコピー: 「この秋、あなたもシェフになる。」



WG が用意した 2 種類のデザインを、各参加館が自由に掲示した。

② 本番用ポスター (10/20～11/16)

キャッチコピー: 「本を、料理しろ。」



WG が用意した 3 種類のデザインを、参加館が自由に掲示した。大学名などの内容は、各参加館で編集できるように予告ポスター同様にパワーポイントで配布した。

参加館によっては、自館の公認キャラクターを登場させるなど独自に編集を加えた館もあった。

(例：熊本大学の「くまぼん¹」、熊本県立大学の「ぶくにゃん²」)

③キャンペーン Web サイト

キャンペーン Web サイトでは、全ての「ブックレシピ」を公開した。キャンペーン期間中に投稿のあったレシピも、順次追加した。



(<http://librarylovers2015.blog.jp/>)

④Facebook

昨年度までは、Web サイトで各参加館の取り組みの紹介を行っていたが、今年度は、より拡散することを狙って Facebook に移行した。参加館の担当者も直接投稿できるよう、ガイドラインを作成し、配布した。

また、参加館の Facebook ページの記事を「シェア」することで、キャンペーンと参加館の両方の Facebook ページで同時に取り組みの紹介ができ、参加館の投稿の負担も減らすことができた。

その他、キャンペーンがより多くの人目に留まるように、各参加館に対してページや投稿への「いいね！」を依頼した。



(<https://www.facebook.com/LibraryLoversKyushu>)

¹熊本大学付属図書館の公認キャラクター

[<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/about/outline/character/>]

(最終検索日：2015年12月3日)

²ぶくにゃんの部屋

[http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~tosho/r_puknyan.html]

(最終検索日：2015年12月3日)

⑤Twitter

更新頻度を高くしてフォロワー数を増やすため、WG メンバーで曜日ごとに担当を決め、キャンペーン2ヶ月前からキャンペーン紹介や WG メンバーの日常等をツイートした。併せてキャンペーン期間中は、投稿されたレシピを紹介するツイートを毎日行い、キャンペーン Web サイト上の該当 URL を掲載して、他のブックレシピへも誘導した。

また、他アカウントを積極的にフォローする、キャンペーンに関するツイートに「いいね！」をする、参加館の Twitter アカウントによるキャンペーンに関するツイートをリツイートする、ハッシュタグを用いて、「#ブックレシピ」でツイートするなど積極的に交流を図った。



(https://twitter.com/library_lovers)

⑥プレスリリース

任意の参加館で、WG で作成した文案をもとにキャンペーン開始日に一斉プレスリリースを行った。その結果、以下の2つのメディアで本キャンペーンが紹介された。

<新聞>

・熊本日日新聞 (2015/11/13 朝刊：12面「学生のページ」)

熊本県内の各参加館の取り組みとして紹介された。

<テレビ>

・RKB 毎日放送「今日感テレビ」(2015.11.2)九州大学で行われたビブリオバトルの様子が紹介された。

⑦その他

担当者が広報したことにより以下のメディアでも本キャンペーンが紹介された。

<WEB サイト>

・CENTRAL (大分の地域情報サイト)

大分県内のイベントとして紹介された。

(<http://centralmedia.jp/2015/10/26/boo-recipe/>)

また、今年度は予算等も無かったためキャンペーングッズは作成しなかったが、レシピの投稿促進等を目的に、独自でオリジナルバッグやしおり、ブックカバーなどのグッズを配布する参加館もあった。

3-3. 独自企画

今年度は16大学が独自企画を実施した。各企画の詳細については、別表で紹介する。

このうち、長崎大学の「ビブリオバトル」と、長崎県立大学の「みんなのレシピ大賞」は、合同企画に関連した内容で行われた。

また、ビブリオバトル（及びそれに準ずるおすすめ本の紹介企画）に関しては、「本のリユース」や「脱出ゲーム」と並んで、複数の参加館で類似した独自企画が実施された。

4. 総括

キャンペーン終了後、参加館及びWGメンバーに対しアンケートを実施した。以下、回答内容を分析し考察していきたい。また今年度で3ヶ年の事業終了ということで振り返りも併せて行う。

4-1. 合同企画について

レシピ総数は、471件で、内訳は、プロのレシピ207件、みんなのレシピ264件（うちウェブ掲載可190件）であった。各参加館が学長や図書館長、中には全教員に依頼する等意欲的にレシピ募集を行った結果、研究分野に関する専門性の高いものや独自性に富んだものなど数多くの「プロのレシピ」が集まった。

学生に対しては、より多くの「プロのレシピ」を見てもらうことに主眼を置き、投稿については多くを期待していなかったが、予想以上に多くの「みんなのレシピ」が集まった。授業でレシピの投稿を取り入れてもらったり、プレゼントを用意したり、1冊から投稿できるようにしたりと各参加館による投稿促進の工夫も効果的だったと思われる。

こうして集まったレシピを共有したことで、キャンペーン開始の時点から、各参加館で充実した内容の展示・配布を行うことができた。実際にアンケートでは、レシピを共有したことを「とてもよかった」「よかった」と回答した参加館が100%であった。特に、「プロのレシピ」は自大学のものだけではなく、他大学の教職員が書いたものも積極的に展

示・配布されることが多かったようで、学生だけでなく教職員も興味を示すなど共有したことによる効果は大きかったと言える。

展示を見ている学生の反応についての参加館からの回答は、「とてもよかった」「よかった」が72%だった。アンケートには、「レシピを見て本を借りていったり、写真を撮ったり配布用のレシピを持って行ったりする学生や、「組み合わせで読むという面白さを初めて知った」とレシピに興味を持つ学生の姿がみられた。」との回答があった。また、「声をかけたことで、思いがけず本好きだった学生を発掘できた」などの効果を生んだ参加館もあった。

企画への感想としては、「見応えがあった。」「教員からの反応が特に良かった。」という声が寄せられた。

4-2. キャンペーン広報について

今年度特に力を入れた3つについて述べる。

①ポスターについて

今年度は、ポスターに初めて図書館職員を起用した。図書館職員自身が出ることには珍しい試みであり、従来の図書館のイメージを覆す「外に出る図書館員」像で意外性や広報効果を狙いとした。また、テーマカラーを親しみやすいようオレンジ、白、茶色と温かみのある色に設定した。

参加館からは、「今までにない感じで学生・職員共に好評でした。」「デザインが可愛らしく親しみやすかった。」と好評だった。意外性があり、人目を引く効果は高かったと考える。また、学生と年齢が近い職員がポスターに出たことで、近寄りがたい図書館のイメージも払拭できたのではないだろうか。

②プレスリリースについて

学外へのアピールとして、参加館一斉プレスリリースを企画した。WGで作成した文案を提供し参加館に呼びかけたところ、5館が大学からプレスリリースを行った。その結果、各メディアで取り組みが紹介された。

③SNSやWebサイトについて

3-2で述べたとおり、今年度はSNSでの広報に力を入れた。ユーザーからの反応は下表のとおりである。

Facebookは、個別記事への「いいね！」数

は、前年度比2倍以上であった。これは、参加館が直接投稿したことで、記事が参加館の関係者の目に触れる機会が増加したのではないかと推測できる。

Twitter は、フォロワーの増加数・ツイート数・被ツイート数ともに前年度に比べ2倍以上となり、狙い通りの効果があった。

アンケートではSNSで「すぐに情報の共有ができたことがよかった」という意見があった一方、Facebook に不慣れな参加館からは、「ログインしないと見られないと思っていたため、期間中の他大学のイベントの様子を把握していなかった」「Facebook のアカウントを持っていない館としては、少し使いづらかった」という意見もあった。担当者間での知識やスキルに差があり、WG からより細かいフォローが必要だったと考えている。

Web サイトについては、ユニークユーザー数は前年度とほぼ変わっていないが、総アクセス数が大幅に伸びた。これは、何度もブックレシピを見に来るリピーターが多かったということ、すなわち「ブックレシピ」への関心の高さを示したものであると思われる。

<Facebook>

	27年度	26年度
いいね！増加数	59	57
投稿数	46※	42
投稿記事への「いいね！」数	728	276

※うち8件は参加館の記事をシェアしたもの

<Twitter>

	27年度	26年度
フォロワー増加数	32	114
ツイート数※	86	196
被リツイート数	41	89

<Web サイト>

	27年度	26年度
アクセス数	22,200	8,211
ページユニークユーザー数	2,924	2,921

4-3. 独自企画について

アンケート中の「他館の独自企画で、今後参考にしたいものはあったか」という問いに対して、「あった」と回答した参加館は全体の65%だった。

そのうち、とび抜けて多くの関心が寄せら

れたのは、長崎大学及び九州工業大学で実施された「脱出ゲーム」であった。近年、図書館を舞台にした脱出ゲームが注目されているが、今回のキャンペーンでも口コミで多くの学生に広まり大好評だったようだ。

その他、複数の参加館で類似企画が実施された「本のリユース」「トークイベント」や、佐賀大学の「谷崎潤一郎没後 50 周年記念悪女イラストコンテスト」にも、脱出ゲームに次いで、参考にしたいという意見が多く集まった。

4-4. キャンペーンの実施体制と運営について

WG による会議日程は、1.5 日で変更はなかったが、昨年度より1ヶ月早かったため、会議後の作業をより効率的に行うことができた。

班分けをせず全ての内容をグループ内で共有し円滑に進められたことは、少人数だった利点といえる。

また、グループウェアを活用したことで、各資料の修正や、ポスター案の投票、マニュアル作り等が効率的にでき、かつ活発なディスカッションが行われた。

例年どおりキャンペーンのポスターやロゴ、合同企画に使用するレシピカード等のテンプレートは、WG で準備を行い参加館へ配布した。これらの各テンプレートについて、キャンペーン準備作業の負担軽減になったかとアンケート中で尋ねたところ、「大いに役立った」「役立った」という回答がそれぞれ約70~100%を占めた。また、参加館からはレシピの共有や Facebook の利用方法に関する問い合わせがしばしばあり、これに対する WG の回答や情報共有が迅速であったとの評価もいただいた。

4-5. 今年度のまとめ

以下キャンペーンの5つの目的を達成できたか検証していきたい。

①図書館利用促進・読書推進

図書館の利用促進・読書推進への効果は測りにくいものではあるが、合同企画に対し「内容自体が非常に見応えがあった」「学生に訴えるものが充分にあった」「熱心に読んでいる学生の姿が見られた」という意見が寄せられるなど、学生の知的好奇心を十分に刺激しうる内容であったということは言えるだろう。また、ポスターや各館の創意工夫に

より図書館のイメージアップが図られたり、授業で活用されたりしたことは、図書館を身近な存在にし、また図書館との新たな接点を生み、今後の利用促進につながることを期待される。

②図書館職員のスキル向上

参加館からは、イベントを企画・運営するノウハウ・スキル、図書館内での連絡や調整、意思決定のスキルが向上したという回答が多くみられた。

WGメンバーでは、ウェブツール活用のノウハウ・スキルが向上したという回答が、最も多くみられた。また、今回培ったスキルが今後の業務に活かせると全てのメンバーが回答した。

様々な環境の大学から集まったメンバーが共通のキャンペーンに取り組むことで、互いの考えや業務への取り組み方に触れ、今後の業務に還元できるスキルを身につけたと実感できているのではないだろうか。

③図書館職員の人的ネットワークの形成

ある参加館より、「小さな孤立した図書館でもキャンペーンを通じて一体感を得ることができた。」という回答があり、キャンペーンを行うことで参加館とのつながりを感じてもらえることができたようだ。

また、他大学の事例を参考にし、参加館同士で交流を図るなど、キャンペーンを通じて新たな人的ネットワークの形成がみられた。

WGメンバーにおいては、合同企画の成功を目標に掲げ、会議で顔合わせをし、数ヶ月の間協働作業を行った。全員が共通の目的に向かい合同企画に取り組んだことで有益かつ深い人的ネットワークが生まれたと感じている。

④九州地区大学図書館の事例・アイディア共有

SNSにおける活動紹介では、参加館同士で情報を共有することで、新たに自館の企画に還元する例もみられた。また、参加館の情報を一元化して公開することが、広報のみならず各館のモチベーションを高めることにつながったと思われる。

今年度の独自企画においても、多くの企画に対し自館の参考にしたいという声が挙がり、今後の事例・アイディアの活用が期待される。

⑤学内外へのアピール

学外へのアピールとしては、先述したプレスリリースの結果として、新聞に県単位の取り組みとして掲載されたほかテレビで放映された。また、地域の情報発信サイトにも取り上げられた。

学内のアピールとしては、ポスターを館内や館外に掲示したり、大学のウェブサイト、図書館のSNSを活用するほか、食堂に依頼したりポスティングしたりしている大学もあった。

学内でアピールするには、教員を巻き込むことが重要だが、今回のキャンペーンでは、「プロのレシピ」を全教員に依頼した館や、学長や理事に書いてもらった館もあった。特筆すべきは、ある参加館が教員に依頼し授業の中でレシピを書くことに取り組んでもらったことである。

キャンペーンを通じて、「他部局や教員とのコミュニケーションがとれ、今後の業務にも活かせるような人脈を構築できた」という回答があるように、キャンペーンに協力してもらうことが図書館活動をアピールする好機となったようだ。

4-6. 終わりに

本キャンペーンは、2013年度から2015年度の九州地区大学図書館協議会3ヶ年事業としての最終年度の活動であった。

3年間で、本キャンペーンに国立11大学、公立7大学、私立44大学、および鹿児島県大学図書館協議会が参加し、WGには10大学のべ26名が参加した。

時間や業務の制約がある中キャンペーンに参加した参加館も多かったと思うが、ここまで継続できたことは、利用者のために、そして図書館のためにという思いによるものであろう。

大学には、多くの学生が在籍しているが、全学生が図書館を利用するわけではない。

ライトユーザーの図書館利用促進や、読書推進をどうすればいいか、図書館ではこれらの問題が常に論じられてきた。実際の効果は目に見えづらいものかもしれないが、本キャンペーンが少しでも学生と本との出会いのきっかけとなり、図書館利用促進や読書推進に貢献できていれば幸いである。

アンケートでは来年も継続を希望するというコメントが多く寄せられた。本年度で事

業終了というのは大変残念だが、九州全体の知を共有し、ひとつの目的に取り組んだ参加館、WGメンバーにとっては、密度の濃い経験となったに違いない。本キャンペーンで磨いたスキルや形成した人的ネットワークを礎に、未来の新たな活動へとつながっていくことを期待したい。

最後にこの場を借りて、九州地区大学図書館協議会の方々、本キャンペーンに際してWGメンバーの活動をサポートして下さった九州大学の事務局の方々、キャンペーンにご理解、ご協力頂き、創意工夫して下さった参加館の皆さま、そしてキャンペーンに参加して下さった教職員の皆さま、学生達に感謝の意を表したい。

参考文献：

・堀優子 (2014) 「Library Lovers' キャンペーン 2014 実施報告」

<http://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/recordID/1500370>

・室井万穂 (2014) 「かけだし図書館員からみた Library Lovers' キャンペーン」

<http://archive.mag2.com/001260410/20150113174149000.htm>

・大学図書館利用促進事例発表会「そのアイデア、いただきます！」関連資料 (2014)
<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/events/1452>

島光朗 (2014) 「Library Lovers' キャンペーン 2013 実施報告」, 『九州地区大学図書館協議会誌』 56, pp. 52-56

<http://hdl.handle.net/2324/1458340>

・堀優子 (2013) 「Library Lovers' キャンペーンを通じた利用促進の取り組み」

<http://hdl.handle.net/2324/1456064>

・北島光朗 (2013) 「Library Lovers' キャンペーンに期待される、大学図書館の存在の再認識-図書館総合展フォーラム 2013 in 熊本での活動報告」

<http://archive.mag2.com/001260410/20130223192413000.html>

・廣田桂・大田海 (2012) 「九州・沖縄の大学図書館が連携した「Library Lovers' キャンペーン 2011」実施報告」, 『大学図書館研究』 95, pp. 75-82

<http://ci.nii.ac.jp/naid/110009593143>




・井川友利子・稲永晶子ほか (2011) 「Library Lovers' キャンペーン：九州地区における大学を超えた新たな取り組み」

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/publications/53>

Library Lovers'キャンペーン 2015 独自企画一覧

・実施館オススメの企画には、先頭に★がついています

九州工業大学	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館脱出ゲーム「消えた文豪を探せ」(本館)、「図書館からの挑戦状」(分館) <p>資料の配架場所や利用法など、図書館に関する問題を解きながら館内を回るクイズラリー。本の作者を探し出さなければ、図書館から脱出できない」というシナリオで脱出ゲームを行った。図書館の利用方法について、学生から問い合わせを受けることの多いものを選んで、問題を作成した。本館での参加者数 46 名、脱出成功者は 30 名。 分館では所属の学生サポーター組織「ALSA」のスタッフが協力して企画の運営を行った。</p> 
福岡教育大学	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルしおりの配布 ・本のリサイクルコーナー ・図書館くじ
九州大学	<ul style="list-style-type: none"> ★Talking Night サイエンスカフェ方式で先生に「学生の私、現在(イマ)の私」をテーマに話をしてもらった。 ★音楽のタベ 蓄音機による SP レコードの鑑賞会。 ・ビブリオバトル首都決戦 九州大学予選会 ・あなたのデザイン、しおりにします! オリジナルしおりのデザインの募集と図書館内での配布 ・本のリユース ・九大百冊—Classical Books Library Cafe— 九大百冊の一つ『阿Q 正伝』をテーマにした読書会。 
中村学園大学	<ul style="list-style-type: none"> ・読書感想文コンテスト 大学独自の展示や POP コンテストを実施した。
純真学園大学	寄贈図書 200 冊の無料配布
筑紫女学園大学	<ul style="list-style-type: none"> ・Oh! be impressed!!—一本(きみ)に会う秋、帯をつくってみた。小さな本の説明書、あなたの心を動かすフレーズ <p>学生図書委員がおすすめの本を数点選び、オリジナルの帯を作製して本(図書館所蔵)に巻いて図書館内に展示。本は貸出可とした。(帯は貸し出さない)</p>
福岡国際大学・福岡女子短期大学	<ul style="list-style-type: none"> ★「読書ガールのレビュー合戦」 テーマにそった自分のオススメ本を紹介し合い、その中で一番読みたくなった本」を決めるイベント(投票制) ※ビブリオバトルほど本格的なものではない ★「貸出ランキング」 図書部門とキャンペーン応募ポイントとの総合部門で上位 10 名に表彰するもの ★「ミニ講座」 内外部のその道のプロの方に簡単な講座をお願いするもの (今回はブリザードフラワーでクリスマス飾りを作成) 
久留米大学	職場体験で来た中学生に作成してもらった POP とその本を展示
佐賀大学	<ul style="list-style-type: none"> ・「谷崎潤一郎没後 50 周年記念 悪女イラストコンテスト」 『痴人の愛』に登場するナオミをイメージしたイラストを募集し、その後シールを使って人気投票するというもの。 

<p>長崎大学</p>	<p>★脱出ゲーム：図書館の秘宝を探せ！</p> <p>脱出ゲームは、「5つの謎を解いて図書館に眠る秘宝を探し出すゲーム」という設定。学生は用意した冊子を手がかりに謎を解き、館内各所に職員が仕込んだシールを5つ集めて脱出成功。脱出に成功した学生には、カウンターでプレゼント(特製デコチョコレート)を配布。参加者数137名、脱出成功者は94名。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビブリオバトル 参加者が自分で作成したレシピをもとに3冊の本を紹介した(通常のビブリオバトルは1人1冊)。 ・学生選書ツアー ・学生リクエスト～読書週間特別受付～ 	
<p>長崎県立大学</p>	<p>みんなのレシピ大賞(レシピに投票して上位入賞者を表彰する)</p>	
<p>活水女子大学</p>	<p>★本の縁結び—リユースブックがあなたを待っている—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特設・読書のススメ(読書術などに関する本のコーナー設置) ・学長講演「読書の楽しみ 小説の活用法」 ・活水読書プロジェクトのロゴ・ポスターの展示会 	
<p>大分大学</p>	<p>下記イベントは、大学開放イベントにあわせて実施</p> <p>★KENBUNを使おう！大分の歴史的地域新聞ラッピングサービス</p> <p>大分の歴史的地域新聞を探して読めるシステムKENBUNを使って、欲しい紙面を印刷し、飾り付けやラッピングを行う。時間内は自由に印刷、ラッピングができ、学生が随時サポート。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビブリオバトル 	
<p>熊本大学</p>	<p>★くまぼんと写真を撮ろう</p> <p>公認キャラクターの「くまぼん」のぬいぐるみと、学生が図書館内で写真撮影ができるという企画。「くまぼん」の顔出しパネルも設置。撮影可能な場所は、館内のラーニングcommonsの一部に限定した。職員が自作した装飾品を並べて、学生にはそれらを自由に使って写真を撮ってもらった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★本のリユース ★くまぼんを探そう ・東光原文学賞アンケート結果大発表 	
<p>九州ルーテル学院大学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックリユース 自由に本を置いたり、持ち帰ることのできるコーナーを設置した。図書館の古くなった問題集なども置いた。 ・ブックトーク 好きな本を持ち寄って紹介し合い、自由におしゃべりする企画。 	
<p>志学館大学</p>	<p>ライブラリーフェスタの実施(ビブリオバトル・クイズラリー・オリジナルしおりづくり・ポップコンテスト・地域のこどもたちを招いてのおはなし会・クラフト体験・ライブラリーガール&ボーイコンテスト・図書館で記念撮影のサービス)</p>	

図書館活動報告

福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会

【平成 26 年度 第 2 回研究会・総会】

日 時：平成 27 年 2 月 20 日（金）13：30～16：10

会 場：久留米大学御井図書館 3 階館長室

出席者：10 館（16 名）

当番館：久留米大学御井図書館

議 事

1. 協議事項

(1) 平成 27 年度研究テーマについて

- 1) 図書館の利用マナーの向上にむけての取り組み
- 2) 図書館の利用促進について

(2) 承合事項

- 1) 参考図書 of 保存及び保存期間について
- 2) 利用者のマナーについて
- 3) 電子媒体資料の利用促進について
- 4) 学生からの意見聴取の方法について

2. 講 演

演 題：「ローカル・イニシアティブと地域大学--地域文化資源の活用をめぐって」

講 師：久留米大学非常勤講師
藤村 一郎 氏

3. その他

平成 26 年度南部地区研究会のまとめについて

4. 総 会

- 1) 平成 26 年度決算について
- 2) 決算書の監査について
- 3) 平成 27 年度予算（案）について

4) 平成 27 年度幹事館および当番館の選出について

5) 平成 27 年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会理事館・幹事館について

※研究会終了後、希望者に図書館の案内をした。

【平成 27 年度 第 1 回研究会】

日 時：平成 27 年 10 月 15 日（木）13：30～16：10

会 場：佐賀女子短期大学 4 号館 411 教室

出席者：11 館（17 名）

当番館：佐賀女子短期大学図書館

議 事

1. 研究テーマについて

- 1) 図書館の利用マナーの向上に向けての取り組み
- 2) 図書館の利用促進について

2. 承合事項について

- 1) 図書館報の発行について
- 2) 電子書籍について

3. 講 演

演 題：「韓国国立中央図書館（旧朝鮮総督府図書館蔵書）での利用について—科研費による資料調査より—」

講 師：佐賀女子短期大学 教授
長澤 雅春 氏

4. その他 次期当番館の確認

※研究会終了後、図書館見学が行われた。

平成 27 年度第 45 回九州地区国立大学図書館協会総会

日 時：平成 27 年 4 月 16 日（木）13:30～17:00

場 所：ニューウェルシティ宮崎
2 階「霧島の間」

出席者：11 大学 29 名

協議事項

- (1) 国立大学図書館職員の採用試験について
- (2) 九州地区国立大学図書館協会の代表館・副代表館選出について
 - ①代表館・副代表館選出について
 - ②その他
- (3) 九州地区大学図書館協議会等の運営について
 - ①平成 27 年度九州地区大学図書館協議会の役員館の選出について
 - ②平成 28 年度九州地区国立大学図書館協会総会の当番館について
 - ③その他
- (4) 国立大学図書館協会からの依頼事項について

①第 62 回総会の研究集会テーマについて

②ISO プロトコル変更に対する NACSIS-ILL の対応について

③国立情報学研究所教育研修事業の今後の方向性について

④NACSIS-CAT の新システムについて

(5) 今後の研修について

①平成 27 年度「大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナー」について

②平成 28 年度以降の九州地区における目録システム地域講習会について

③九州地区国立大学図書館職員研修ワーキンググループ設置について

(6) 国立大学図書館協会地区協会助成事業について

(7) その他

平成 27 年度国立大学図書館協会総会（熊本大学）への協力について

平成 27 年度九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議

第 1 日目

日 時：平成 27 年 11 月 5 日（木）13:30～17:00

場 所：宮崎大学附属図書館 3 階共同研究室

出席者：11 大学 16 名

1. 協議事項

- (1) 図書館が仕掛けるアクティブ・ラーニングについて
- (2) ラーニング・コモンズの利活用や人的学習支援の在り方について
- (3) オープンサイエンスへの大学としての対応状況と図書館の関わりについて
- (4) 選書について
- (5) 地域資料の収集について

2. 承合事項

- (1) 学習支援の一環としての学生スタッフの雇用について
- (2) 図書館における留学生への対応について

(3) 電子ブックの利用促進について

(4) 図書館に人をひきつける利用者サービス、特に、体験型のイベントについてお伺いしたい。工夫した点、効果があった（なかった）部分、苦勞されたところなどをご教示いただきたい。

(5) 機関リポジトリにおける JaLC DOI とハンドルシステムの採用状況と、今後の方針についてうかがいたい。

(6) ラーニングコモンズの運営体制について

(7) 図書館資料の不用決定（除却）判定基準について

(8) 貴重図書について

(9) 除籍後の資料（特に図書）の取扱いについて

(10) ライティング支援の実施状況について

(11) 学生サポーターについて

(12) ラーニングコモンズでの授業の実施び連携について

第2日目

日時：平成27年11月6日（金）9:00～12:00

場所：宮崎県立西都原考古博物館施設見学

参加者：14名

平成27年度 第66回九州地区大学図書館協議会公立大学部会

日時：平成27年4月16日（木）

場所：ニューウェルシティ宮崎 1階

「アンジェラスの間」

当番館：鹿児島県立短期大学

名桜大学

出席者：16大学等 31名

協議事項

(1) 公立大学図書館としての地域貢献策等
について

承合事項

- (1) 貸出した書籍の長期延滞者への督促について
- (2) 図書館の開館時間及び夜間の職員配置について
- (3) 古書の燻蒸及び廃棄について
- (4) 図書館費購入図書の選定方法について
- (5) 学生との協働について

私立大学図書館協会 西地区部会

2015（平成27）年度 九州地区協議会総会

日時：2015（平成27）年4月16日（木）

14:00～17:00

場所：ニューウェルシティ宮崎

当番館：鹿児島純心女子大学

出席者：39館 61名

I. 報告事項

(1) 九州地区協議会関係

- ①2014年度九州地区協議会及び決算報告
- ②第1回定例幹事会
- ③2014年度九州地区研究会及び決算報告
- ④研究会準備委員会
- ⑤第2回定例幹事会

(2) 九州地区大学図書館協議会関係

(3) 西地区部会関係

- ①2014年度西地区部会会務報告
- ②2015年度西地区部会事業計画（案）及び
予算（案）
- ③2015年度予算の暫定執行
- ④2015年度西地区部会総会開催概要（案）

⑤2015年度西地区部会研究会開催概要（案）

⑥西地区部会関連2015年度予定表

⑦役員校・当番校等一覧

(4) 私立大学図書館協会関係

- ①2014年度協会会務報告
- ②2014年度協会賞審査委員会・研究助成委
員会報告
- ③国際図書館協力委員会報告
- ④協会ホームページ委員会報告
- ⑤協会関連事項報告
- ⑥次期役員校、総会当番校の選出について
- ⑦第76回総会・研究大会の開催
- ⑧行事・会議予定

II. 協議事項

(1) 九州地区協議会関係

- ①九州地区協議会研究会について
- ②会費の徴収について

(2) 九州地区大学図書館協議会関係

①2015年度九州地区大学図書館協議会の役

員校について

Ⅲ. 確認事項

- (1) 九州地区協議会 HP 及び ML の運用について
- (2) 外国新聞分担保存について
- (3) 九州地区協議会役員校等ローテーション表
(2015 年度版) の解説
- (4) 九州地区協議会年度別幹事校

(5) 本会関係行事・会議等スケジュール

Ⅳ. その他

- (1) 2015 年度当番校・幹事校・役員校等の紹介

Ⅴ. 講演会

「教育の質向上へ貢献する大学図書館：教育工学からの示唆」

講師：九州大学基幹教育院 山田政寛氏

私立大学図書館協会 西地区部会 2015（平成 27）年度 第 1 回定例幹事会

日 時：2015（平成 27）年 6 月 5 日（金）

13：55～15：40

場 所：西南女学院大学 図書館会議室

当番館：西南女学院大学

出席者：6 館 8 名

Ⅰ. 協議事項

- (1) 2015 年度九州地区研究会企画（案）について
- (2) 2015 年度九州地区研究会予算（案）について
- (3) 2016 年度九州地区協議会（総会）での講演について

Ⅱ. 確認事項

- (1) 九州地区協議会年度別幹事校について
- (2) 九州地区協議会役員校等ローテーション表について
- (3) 2016 年度からの九州地区協議会年会費の徴収通知について
- (4) 次年度の九州地区大学図書館協議会総会の当番校について

私立大学図書館協会 西地区部会 九州地区協議会 2015（平成 27）年度 九州地区研究会

日 時：2015（平成 27）年 9 月 4 日（金）

10：00～16：00

場 所：西南女学院大学 6 号館 2 階 6206 大講義室

当番館：西南女学院大学

出席者：32 館 55 名

テーマ：今、図書館にもとめられるもの

Ⅰ. 講演

「The Last Castrato」

西南女学院大学教授 甲斐達男氏

Ⅱ. 事例発表

- (1) 「小規模大学と小規模図書館の学修支援活動」
熊本保健科学大学附属図書館司書
山崎栄子

- (2) 「中高・大学教職員協働による英語教育の学修支援」

福岡女学院大学図書館司書

小野未来子

- (3) 「学修支援活動の実践～西南女学院大学図書館の文献検索ガイダンス」

西南女学院大学図書館書記

石兼富子

- (4) 「本学図書館の取り組みと今後の課題」

別府大学附属図書館事務部次長

吉岡義信

※終了後意見交換会

北九州市小倉「アルモニーサンク」

私立大学図書館協会 西地区部会 九州地区協議会
2015（平成 27）年度 研究会準備委員会

日 時：2015（平成 27）年 11 月 6 日（金）
14：00～15：10

場所：沖縄大学 本館 4 階 会議室

当番館：沖縄大学

出席者：7 館 10 名

I. 協議事項

(1) 2015 年度九州地区研究会について

①研究会開催記録

②研究会収支報告

(2) 2016 年度九州地区研究会について

①研究会実施要項（案）

(3) その他

鹿児島県大学図書館協議会活動報告

1. 第 36 回鹿児島県大学図書館協議会総会

日 時：平成 27 年 5 月 29 日（金）15:00～17:00

会 場：鹿児島女子短期大学本館大会議室

出席者：11 館 22 名

議 事

- (1) 平成 26 年度会務報告
- (2) 平成 26 年度決算報告及び監査報告
- (3) 平成 27 年度事業計画
- (4) 平成 27 年度予算審議
- (5) 協議題審議
 - ・鹿児島県大学図書館協議会代表館及び副代表館と監査館の選出方法について
- (6) その他
 - ・研修委員会、広報委員会委員長の選出に

ついて

・「中国・四国・九州地区大学図書館職員フ
レッシュ・パーソン・セミナー」の開催に
ついて

2. 平成 27 年度鹿児島県大学図書館協議会講演会

日 時：平成 27 年 10 月 21 日（水）13:30～16:35

会 場：鹿児島大学附属図書館 5 階ライブラリー
ホール

出席者：26 名

演題 「国際的動向を踏まえたオープンサイエン
スの今後の展望と機関リポジトリの未来」

講師 佐藤義則氏（東北学院大学文学部教授）

熊本県大学図書館協議会

1. 平成 27 年度総会

日 時：平成 27 年 6 月 1 日（月）15:00～16:30

場 所：東海大学九州キャンパス熊本校舎
本館 6 階大会議室

出席者：14 館 25 名

議 題：

- (1) 平成 26 年度総会議事録の確認
- (2) 平成 26 年度事業報告について
- (3) 平成 26 年度収支決算並びに監査報告について
- (4) 平成 27 年度事業計画（案）及び予算（案）
について

(5) 次年度世話館について

(6) その他（照会事項等）

(7) 意見交換会

2. 平成 27 年度研修会・セミナー

日 時：平成 27 年 8 月 28 日（金）10:00～15:00

場 所：東海大学九州キャンパス熊本校舎
本館 3 階 CP 演習室イベントラボ

(1) 午前の部（講演会）

『大学図書館ができる学習支援を考える』

講 師：九州大学基幹教育院

准教授 山田 政寛 氏

出席者：11 館 20 名

(2) 午後の部（グループワーク）『図書館における学習支援を実質化するには何をすべきか』～意見交換と発表～

出席者：9 館 14 名

長崎県大学図書館協議会

1. 平成 27 年度総会

期 日：平成 27 年 7 月 7 日（火）15:00-17:00

会 場：長崎純心大学

出席者：11 館 20 名（外に長崎県公共図書館等協議会より 1 名）

議 題：

- (1) 平成 26 年度事業報告について
- (2) 平成 26 年度決算・監査報告について
- (3) 平成 27 年度事業計画(案)について
- (4) 平成 27 年度予算計画(案)について
- (5) 平成 27 年度役員館等の選出(案)について
- (6) その他

①県内大学図書館間の相互貸借と県立図書館配送車の利用について

②代表幹事館の会費について

報告等：

- (1) 会員館からのお知らせ
- (2) その他

2. 研修事業（平成 26 年 1 月～12 月）

(1) 実務研修会①

日 時：平成 27 年 2 月 24 日（火）13:00-16:30

会 場：長崎ウエスレヤン大学

テーマ：大学図書館の利用促進の工夫 - 学生が集う図書館って夢なのか？

講 師：喜多芳明氏（活水女子大学）

参加者：17 名

(2) 実務研修会②

日 時：平成 27 年 3 月 4 日（水）14:30-17:15

会 場：長崎大学附属図書館

テーマ：図書館利用ガイド作成ツール及び電子

Book パッケージの紹介

演題①：LibGuides の紹介及びデモ

講師①：石橋正久氏（プロクレスト日本支社）

演題②：ebrary の紹介及びデモ

講師②：三瓶愛子氏（プロクレスト日本支社）

参加者：11 名

(3) 実務研修会③

日 時：平成 27 年 6 月 12 日（金）14:30-17:00

会 場：長崎大学附属図書館

テーマ：図書館員のための PR 実践講座 - 味方づくり戦略入門 -

講 師：仁上幸治氏（図書館サービス計画研究所代表）

助言者：喜多芳明氏（活水女子大学）

山本みづほ氏（学校図書館研究者）

参加者：15 名

(4) 長崎県公共図書館等協議会との合同研修会

日 時：平成 27 年 9 月 7 日（月）

会 場：長崎大学 ICT 基盤センター

テーマ：NDL デジタル化資料送信サービスとデジタルコレクションの利活用

演題①：デジタルコレクション及びデジタル化資料送信サービスのご紹介

講師①：森本佳恵氏（国立国会図書館関西館電子図書館課）

演題②：デジタルコレクションを活用した演習

講師②：依田紀久氏（国立国会図書館関西館文献提供課）

参加者：76 名（大学 4 名，公共等 72 名）

(5) 実務研修会④

日 時：平成 27 年 9 月 15 日（火）13:00-17:30

会 場：長崎国際大学メディアルーム
テーマ：JAIRO Cloud による機関リポジトリの構築
講 師：前田朗氏（国立情報学研究所学術基盤
推進部学術コンテンツ課）
西村泰成氏（長崎総合科学大学学務室
入試課）
飯島芳典氏（長崎国際大学図書館）
参加者：15名

福岡県・佐賀県大学図書館協議会北部地区研究会目録講習小委員会 平成27年度 北部地区研究会目録講習会（図書コース）報告

1. 目的

講習会の目的は目録業務担当者が共通に理解しておくべき、総合目録所在データベースの構成、内容、データ登録の考え方を再認識し、各図書館員のスキルアップを目指す。

- ・書誌流用入力階層あり
- ・書誌流用入力出版物理単位
- ・セルフチェックテスト
- ・セルフチェックテスト 結果確認
- ・補講：書誌レコードの修正・削除

2. 実施状況

日時：平成27年8月5日(水)9:00～17:00
場所：九州女子大学・九州女子短期大学
附属図書館 3階 多目的学習室
参加人数：20名

講師・講師補助及びスタッフ

九州共立大学附属図書館 上井
九州工業大学図書館 羽賀
九州国際大学 坂田
九州歯科大学 原田
北九州産業学術推進機構 学術情報担当
棕毛
近畿大学産業理工学部図書館 白石
九州女子大学 矢崎
九州女子大学・九州女子短期大学
附属図書館 築地、坂田

初級・中級コースをなくし、図書1日コースとして実施した。テキストや登録課題、データベース環境は国立情報学研究所から提供を受け、基礎知識の再確認を重視した。

4. 実施結果

受講者の多くが目録初級者であったが、NACSIS-CAT/ILL セルフラーニング教材での事前学習後の目録講習会受講により知識が深まった。

5. 今後の課題

目録講習会の実施は、図書館職員のスキルアップのため、内容の充実と継続性が求められる。しかし、講習会を運営する会場校や目録小委員会メンバーの負担も少なくない。中長期的な目録担当者の人材育成や北部地区研究会の相互協力という観点から、今後の目録講習会の在り方を検討する必要がある。また、他の地区との共同開催等も模索し、講師担当者の人材育成にもつなげていきたいと考える。

3. 講習内容

- ・目録検索 ※実習中心
- ・登録総論/所蔵登録 補講：所蔵レコードの削除・修正
- ・書誌流用入力階層なし

沖縄県大学図書館協議会

1. 平成 27 年度 (第 43 回) 総会
- 日 時 : 平成 27 年 8 月 18 日 (火)
14 : 30 ~ 15 : 00
- 会 場 : 沖縄女子短期大学記念館
ホール<4 階>
- 出席者 : 30 名
- 議 題 : 平成 26 年度事業報告
平成 26 年度決算報告
平成 26 年度監査報告
平成 27 年度事業計画 (案)
平成 27 年度予算 (案)
平成 28 年度の当番館及び
平成 27 年度の監査館の選出
- 講 師 : 津留健二 氏 (沖縄女子短期大学 特任教授)
- 出席者 : 30 名
- (2) 平成 27 年度沖縄県大学図書館協議会研修会
- 日 時 : 平成 27 年 12 月 3 日 (木)
13 : 30 ~ 17 : 30
- 会 場 : 名桜大学学生会館
SAKURAUM
- テーマ : 「レポート作成支援 : 図書館に求められること、できること。」
- 講 師 : 真喜屋美樹准教授 (名桜大学リベラルアーツ機構ライティングセンター)
菅野敦志上級准教授 (名桜大学リベラルアーツ機構ライティングセンター長)
小嶋洋輔上級准教授 (名桜大学国際学群 国際学類)
吉植庄栄氏 (東北大学附属図書館 情報サービス課 参考調査係長)
- 出席者 : 28 名
2. 講演会・研修会
- (1) 平成 27 年度第 1 回沖縄県大学図書館協議会講演会
- 日 時 : 平成 27 年 8 月 18 日 (火)
15 : 15 ~ 16 : 15
- 会 場 : 沖縄女子短期大学記念館ホール<4 階>
- テーマ : 『沖縄県図書館行政の現状と方向性』 ~ 「読書県おきなわ」への取組み~

九州地区私立短期大学図書館協議会

2015(平成 27)年度夏期研修会

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1. 日 時 : 2015 (平成 27) 年 8 月 20 日 (木)
14:00~17:00 | 「大人の読み方子どもの読み方~なぜ
大人も絵本にはまるのか?」 |
| 2. 会 場 : 福岡こども短期大学図書館 隣校舎
日本経済大学図書館棟 4 階 424 室 | 6. 内容 : |
| 3. 当番館 : 福岡こども短期大学図書館 | (1)大人と子どもの絵本のとらえ方の違い |
| 4. 参加者 : 16 館 | (2)絵本からのメッセージ |
| 5. 講演 絵本セラピスト協会
岡田 達信 氏 | (3)セラピーとしての絵本 |
| | (4)質疑応答 |
| | 等 |

大分県大学図書館協議会

【平成 27 年度総会】

日 時 : 平成 27 年 9 月 10 日 (木) 14:50~17:00

当番館 : 別府溝部学園短期大学

会 場 : 別府溝部学園記念館 1F 会議室

出席者 : 8 館 12 名

協議事項

- (1) 平成 26 年度事業報告について
- (2) 平成 26 年度決算報告及び監査報告について
- (3) 平成 27 年度事業計画 (案) について
- (4) 平成 27 年度予算 (案) について
- (5) 平成 28 年度役員館 (案) 及び当番館 (案) について
- (6) 大分県大学図書館間相互利用実施要項改正について

承合事項

- (1) 図書館資料の不用決定(除却)判断基準について
- (2) 貴重図書について

講演

演 題 : 「大分の文学散歩 (2)」

講 師 : 田邊 勲氏 (別府溝部学園短期大学非常勤講師)

【平成 26 年度研修会】

日 時 : 平成 27 年 2 月 26 日 (木) 13:30~15:30

場 所 : 別府大学附属図書館 24 号館 3 階 302 教室

演 題 : 「沢柳政太郎の地方文化発展論から見る図書館の教育的機能 について」

講 師 : 石川 賀一 氏 (別府大学司書課程講師)

参加者 : 6 館 12 名

宮崎県大学図書館協議会

1. 平成 27 年度宮崎県大学図書館協議会総会

日 時 : 平成 27 年 9 月 15 日 (火) 14:30~16:00

場 所 : 宮崎公立大学附属図書館

(研究講義等 2 階 多目的演習室)

出席者 : 8 大学 22 名

議 事

- (1) 平成 26 年度決算報告及び監査報告について
- (2) 平成 26 年度事業計画及び収支予算について
- (3) 協議事項 :
 - ① 目録システム入門講習会について
 - ② 他大学研究紀要及び雑誌の取り扱いについて

③平成 28 年度以降の宮崎県大学図書館協
議会の当番館および幹事館ローテーシ
ョンについて

(4) 承合事項：

- ①学生サポーターについて
- ②ライティング支援の実施状況について
- ③図書館の非正規職員の各館の状況につい
て
- ④共同研究室（グループで利用出来る個室）
の設置、運用状況等について
- ⑤図書館活性化、利用拡大へ向けての取組
について

2. 平成 27 年度宮崎県大学図書館協議会職員等研修 会

日 時：平成 27 年 11 月 18 日（水）13:00～15:50

場 所：宮崎大学附属図書館

（図書館 3 階 共同研究室）

出席者：11 大学等 23 名

研修内容：

- ① 第一部：
「情報検索の基礎知識」
- ② 第二部：
「情報検索」～オープン・データベースの紹
介等
- ③ 講師：楠 哲二 氏
（紀伊國屋書店 学術情報商品部）

平成 27 年度 福岡県・佐賀県大学図書館協議会 福岡地区研究会記録

日 時：平成 27 年 11 月 13 日（金）

13:30～16:30（受付 13:00～）

会 場：福岡大学中央図書館 1 階 多目的ホール

出席者：12 館 18 名

当番館：福岡大学図書館

第一薬科大学図書館

福岡国際大学・福岡女子短期大学図書館

テーマ：「図書館から情報を発信する」

※大学と利用者、大学と地域をつなぐ情報発
信について

1. 研究会開会

・当番館挨拶：福岡大学図書館

事務部長 井口 紀子 氏

2. 講 演

(1) 「生命(いのち)のメッセージ展を図書館で」

福岡女子短期大学 教授 白根 一夫 氏

(2) 「学びの未来、図書館のミライをデザインする」

富士通デザイン株式会社 森下 晶代 氏

3. 事例報告

(1) 「図書館からの情報発信

— 第一薬科大学図書館の場合」

第一薬科大学図書館

司書 野中 麻有 氏

(2) 「広報の手段としての SNS の活用について」

福岡国際大学・福岡女子短期大学図書館

司書 石丸 絵里 氏

4. 承合事項

(1) 資料保存スペースの狭隘化対策と廃棄等について

（提案大学：福岡女学院大学）

(2) 大学図書館における SNS を利用した広報について

（提案大学：福岡国際大学・福岡女子短期大学）

5. その他

・平成 28 年度福岡地区研究会当番大学の紹介

※閉会后、福岡大学図書館見学

平成 27 年度九州地区国立大学附属図書館館長懇談会

日 時：平成 27 年 11 月 20 日（金）13:30～15:00

会 場：九州大学附属図書館会議室（新館 4 階）

出席者：7 大学 7 名

懇談会

・テーマ

1. 図書館が直面している課題について
2. その他

平成 27 年度九州地区国立大学附属図書館事務（部・課）長会議

日 時：平成 27 年 11 月 20 日（金）13:30～15:00

会 場：九州大学附属図書館視聴覚ホール
（新館 4 階）

出席者：11 大学 18 名

議 事

・報 告

1. 国立大学図書館協会理事会報告
2. 平成 27 年度九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議報告
3. 第 6 回中国・四国・九州地区大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナー報告
4. その他

・協議題

1. 平成 28 年度九州地区国立大学法人等職員採用合同図書系二次専門試験について
2. Library Lovers'キャンペーンについて
3. 九州地区目録システム講習会について
4. 九州地区国立大学図書館職員研修ワーキンググループについて
5. その他

平成 27 年度九州地区国立大学附属図書館館長・事務（部・課）長会議

日 時：平成 27 年 11 月 20 日（金）15:30～17:00

会 場：九州大学附属図書館視聴覚ホール
（新館 4 階）

出席者：11 大学 25 名

議 事

・報 告

1. 館長懇談会報告
2. 事務（部・課）長会議報告
3. 国立大学図書館協会理事会報告
4. その他

・協議題

1. 九州地区国立大学図書館協会総会当番校及び九州地区大学図書館協議会役員館の選出について
2. Library Lovers'キャンペーンについて
3. 九州地区目録システム講習会について
4. 九州地区国立大学図書館職員研修ワーキンググループについて
5. 第 3 期中期目標計画期間に向けた課題について
6. その他

私立大学図書館協会 西地区部会 九州地区協議会
2015（平成 27）年度 第 2 回定例幹事会

1. 日 時：2015（平成 27）年 12 月 4 日（金）
13：55～15：05
2. 会 場：福岡工業大学
α 棟 4 階 多目的ホール
3. 当番館：福岡工業大学
4. 参加者：7 館 10 名
5. 内 容：
 - I. 協議事項
 - (1) 2015 年度九州地区協議会総会の報告について
 - (2) 2015 年度九州地区協議会・研究会の会計報告について
 - (3) 2016 年度九州地区協議会総会の実施
 - 計画（案）について
 - (4) 西地区部会 2016 年度研究会研究発表者の推薦について
 - (5) 2016 年度九州地区大学図書館協議会の私立大学部会の表彰委員館・編集委員館の選出について
 - (6) 2016 年度からの九州地区協議会年会費の徴収方法について
 - II. 確認事項
 - (1) 本会関係の次年度以降の役員校・当番校について
 - (2) 次年度協議会（総会）講演について
 - (3) その他

事務局報告

平成27年度九州地区大学図書館協議会 幹事館・副幹事館会議

平成28年2月1日(月)に書面回議により開催の結果、「第66回九州地区大学図書館協議会総会議事要録(案)」について、13(3)私立大学部会報告の字句等の修正依頼があり、修正ののち承認された。

議題

1. 第66回九州地区大学図書館協議会総会議事要録(案)について 今年度当番館 宮崎大学附属図書館から第66回九州地区大学図書館協議会総会議事要録(案)の提出がありました。(資料1)

内容をご確認ください。

2. その他

①九州地区大学図書館協議会総会における講演、協議事項等について

ご意見等がございましたらお知らせください。

なお、協議事項等は、別途当番大学から照会済みです。

②副議長について

総会における副議長は、平成11年度からの副幹事館制度の発足により、副幹事館の図書館長により次の順番で執り行われておりますので、平成28年度につきましても、副幹事館のうちのいずれかの図書館長にお願いいたします。

<参考>

平成11年度(公立大学部会副幹事館長)

福岡女子大

平成12年度(私立大学部会副幹事館長)

鹿児島国際大学

平成13年度(私立短大部会副幹事館長)

沖縄キリスト教短期大学

平成14年度(国立大学部会副幹事館長)

福岡教育大学

平成15年度(公立大学部会副幹事館長)

宮崎公立大学

平成16年度(私立大学部会副幹事館長)

筑紫女学園大学・短期大学

平成17年度(私立大学部会副幹事館長)

九州東海大学

平成18年度(国立大学部会副幹事館長)

長崎大学

平成19年度(国立大学部会副幹事館長)

熊本大学

平成20年度(公立大学部会副幹事館長)

宮崎県立看護大学

平成21年度(私立大学部会副幹事館長)

九州産業大学

平成22年度(国立大学部会副幹事館長)

大分大学

平成23年度(私立大学部会副幹事館長)

熊本学園大学

平成24年度(公立大学部会副幹事館長)

長崎県立大学

平成25年度(私立大学部会副幹事館長)

久留米大学

平成26年度(公立大学部会副幹事館長)

鹿児島県立短期大学

平成27年度(私立大学部会副幹事館長)

沖縄国際大学

③表彰委員館、編集委員館の交代について

表彰委員館、編集委員館の任期は1年間

(再任は妨げない。)ですので、各部会で当

番館の検討を併せてお願いします。

なお、幹事館、副幹事館は、交替の年度ではありません。(任期:H27~H28)

第 66 回九州地区大学図書館協議会総会記録

日 程 表

1. 期 日 平成 27 年 4 月 17 日 (金)
2. 会 場 ニューウェルシティ宮崎 2 階 「高千穂・霧島の間」
〒880-0879 宮崎市宮崎駅東 1 丁目 2 番地 8
TEL 0985-23-3311
FAX 0985-25-1262
<http://www.nwc-miyazaki.co.jp/>
3. 日 程
9 : 3 0 開始
1 0 : 0 0 1. 開会
2. 当番館長挨拶
3. 幹事館長挨拶
4. 会議日程・配布資料等の説明
5. 議長、副議長の選出
6. 議長、副議長の挨拶
7. 新任館長等紹介
8. 表彰式
9. 幹事館報告
10. Library Lovers' キャンペーン 2014 実施報告
11. 平成 26 年度決算及び監査報告
12. 平成 27 年度予算 (案)
1 1 : 4 0 13. 国立、公立、私立、私立短大各部会報告
1 2 : 0 0 昼食
1 3 : 0 0 14. 講演
講師：北郷 泰道 (ほんごう ひろみち)
演題：「日向神話の史実と魅力」
1 4 : 4 5 15. 協議事項
16. 承合事項
1 5 : 3 0 17. 次期役員館の選出
18. 次期当番館の挨拶
19. 議長、副議長の解任
1 6 : 0 0 20. 閉会

出席者名簿（○は新任者）

【国立大学】

九州工業大学附属図書館

附属図書館長 鶴田隆治
図書館・情報推進課長 ○岩村哲也

福岡教育大学附属図書館

学術情報センター長 大坪靖直
学術情報課主 豊村雅義

九州大学附属図書館

附属図書館長 ○宮本一夫
事務部長 益森治巳
図書館企画課長 郷原正好
図書館企画課長補佐 ○藤川眞一
利用支援課図書館専門員 堀優子
図書館企画課庶務係 ○河鍋浩明

佐賀大学附属図書館

附属図書館長 富田義典
学術研究協力部長 寺田浩一
情報図書館課長 ○河野泰久

長崎大学附属図書館

学術情報部長 ○上野恒信
学術情報サービス課長 小川稔

熊本大学附属図書館

教育研究推進部長 山崎雅彦
図書館ユニット長 ○澤田敬
附属図書館長 ○山尾敏孝

【公立大学】

北九州市立大学図書館

図書館係長 鈴木吉美

九州歯科大学附属図書館

学務部長 赤嶺勇司

大分大学学術情報拠点(図書館)

学術情報拠点長 宮町良広
研究・社会連携部長 ○安倍武司
学術情報課長 ○瓜生照久

宮崎大学附属図書館

附属図書館長 岩本俊孝
情報図書部長 上村茂樹
図書課長 黒木俊弘

鹿児島大学附属図書館

附属図書館長 野呂忠秀
学術情報部長 渡邊俊彦
情報管理課長 二石章

鹿屋体育大学図書館

学術図書情報課副課長 的場学

琉球大学附属図書館

附属図書館長 ○花城梨枝子
事務部長 飯田昇平
情報サービス課長 岡田高志

出席館 11館 31名

欠席館 なし

北九州学術研究都市 学術情報センター

学術情報担当課長 竹下誠次
学術情報担当主任 ○森田亜希子

福岡女子大学学術情報センター(図書館)

学術情報センター図書館部門長 大久保順子

福岡県立大学附属図書館

図書館長 細井 勇
学務部長 猪口 憲行

長崎県立大学附属図書館

佐世保校附属図書館長 柳田 芳伸
シーボルト校図書館グループリーダー 本村 保彦
佐世保校附属図書館グループリーダー 石橋 和弘

熊本県立大学学術情報メディアセンター

学術情報メディアセンター事務長 ○坂本 誠也

大分県立芸術文化短期大学附属図書館

図書館長 根之木 英二
企画情報課長 三好 民郎

大分県立看護科学大学附属図書館

司書 白川 裕子

宮崎公立大学附属図書館

企画総務課長 ○鈴木 和彦
主査 赤澤 央臣

宮崎県立看護大学附属図書館

総務課 副主幹 赤江 貢一

鹿児島県立短期大学附属図書館

図書館長 木戸 裕子
副館長 山之内 俊文

沖縄県立看護大学附属図書館

附属図書館長 神里 みどり
主査 金城 勝
主査 ○桃原 樹雄

沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館

主査 ○新城 秀樹

名桜大学附属図書館

館長 住江 淳司
課長 赤嶺 達也
係長 神谷 順子
係員 城間 重臣

出席館 15館 27名

欠席館 なし

【私立大学】

西南女学院大学図書館

図書課長 西川 忍

福岡女学院大学図書館

図書館課長 ○吉村 球夫

九州共立大学附属図書館

館長 松田 高史

九州産業大学図書館

図書館長 渡邊 雄二
事務室長 宮丸 由美子

九州女子大学・九州女子短期大学附属図書館

業務課長 松尾 伸二

福岡大学図書館

図書館長 則松 彰文
事務部長 井口 紀子

福岡工業大学附属図書館

図書館長 阿山 光利
事務長 中島 良二
主任 久我 薫

中村学園大学図書館

図書館長 島内 博行
図書課長 辻原 陽一

西南学院大学図書館		長崎純心大学早坂記念図書館	
図書館 事務部長	岩 佐 俊 司	図書館長	田 中 芳 彦
図書館情報課長	○吉 田 進	図書館事務室長	岩 崎 由希子
純真学園大学図書館		長崎国際大学図書館	
図書館員	○末 益 清 美	図書館長	飯 島 芳 典
第一薬科大学図書館		崇城大学図書館	
司書	野 中 麻 有	課長	原 みゆき
九州情報大学附属図書		九州ルーテル学院大学図書館	
附属図書館長	○大 浦 洋 子	課長	坂 本 美 樹
筑紫女学園大学・短期大学部附属図書館		熊本学園大学附属図書館	
課長	徳 田 孝	図書館情報課長	○石 川 知 子
福岡国際大学・福岡女子短期大学図書館		東海大学附属図書館熊本・阿蘇図書館	
課長	大 橋 祐 子	館長	岩 橋 正 國
久留米工業大学学術情報センター		副主事	福 田 則 勝
学術情報センター室長	○小 林 敬 二	主査	古 場 哲 也
久留米大学附属図書館		九州看護福祉大学附属図書館	
館長	○江 藤 彰彦	図書館長	熊 本 俊 秀
課長	二 又 紅美子	図書館課長	山 崎 貴 士
国際医療福祉大学 九州地区キャンパス図書館		日本文理大学図書館	
図書館長	藤 城 直 二	主任	渡 辺 ひろえ
活水女子大学図書館		別府大学附属図書館	
図書館長	○高 橋 敬 一	図書館事務部次長	吉 岡 義 信
図書館課長	森 茂 樹	九州保健福祉大学附属図書館	
長崎総合科学大学附属図書館		附属図書館長	倉 内 紀 子
課長	山 川 邦 子	事務室主任	内 田 ゆかり
長崎外国語大学教育研究メディアセンター		宮崎産業経営大学附属図書館	
マルチメディアライブラリー事務室長補	別 所 佐和子	図書館長	田 代 裕 子
		図書館員	山 口 清 美

南九州大学・南九州短期大学図書館
主任 岩重麻未

志學館大学図書館
図書館長 ○新内康子
総務課長代理 内村勇蔵

宮崎国際大学・宮崎学園短期大学
図書館長 菅邦男
図書館課長 小橋智子

沖縄国際大学図書館
図書館長 新垣勝弘
図書館課長 金城智子
図書館課長補佐 山城篤男

鹿児島国際大学附属図書館
図書館次長 ○藤田淳二

出席館 37館 57名
欠席館 11館

鹿児島純心女子大学附属図書館
図書館長 三間晶生
図書館課長 岩永眞佐子
図書館課長代理 森山学

【私立短期大学】

九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学図書館
司書 八野梓

鹿児島純心女子短期大学図書館
館長 三島盛武
課長 西眞知子

東九州短期大学図書館
司書 釘丸知子

出席館 4館 8名
欠席館 なし

鹿児島女子短期大学附属図書館
館長 ○瀬戸博幸
総務課長 南谷久
課長代理 濱田みゆき
司書 徳永加奈

第 66 回 九州地区大学図書館協議会総会議事要録

1. 開会

当番館の宮崎大学情報図書部図書課黒木課長より、開会宣言があった。

2. 当番館長挨拶

当番館である宮崎大学附属図書館岩本館長より、挨拶があった。

3. 幹事館長挨拶

幹事館である九州大学附属図書館宮本館長より、挨拶があった。

4. 会議日程・配付資料の説明

黒木課長より、日程説明・配付資料について説明があった。

5. 議長の選出、挨拶

「九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則」第 2 項に基づき、当番館の館長である宮崎大学附属図書館の岩本館長が選出され、続いて挨拶があった。

6. 副議長選出、挨拶

議長より、副幹事館である沖縄国際大学の新垣館長が副議長として指名され、続いて挨拶があった。

7. 新任館長等紹介

今年度は新任者が多数のため、資料 1 の出席者名簿に基づき、確認された。

8. 表彰式

「九州地区大学図書館協議会表彰規定」に基づき、16 名が表彰された。
被表彰者を代表して、久留米大学附属図書館の二又紅美子氏へ表彰状が授与された。

(1) 勤務期間 20 年以上の者で退職または転職した者（表彰規定第 2 条第 2 項）

(所属機関、氏名の 50 音順)

	表彰の区分	所属大学名	氏名
1	第 2 条第 2 号	久留米大学附属図書館	熊谷まゆみ
2	〃	九州工業大学附属図書館	小川裕子
3	〃	九州大学附属図書館	澤井寛
4	〃	九州大学附属図書館	高原秀典
5	〃	九州大学附属図書館	諸岡静児
6	〃	熊本学園大学附属図書館	津村秀夫
7	〃	熊本大学附属図書館	安陪光恭
8	〃	熊本大学附属図書館	米田幸子
9	〃	佐賀大学附属図書館	木村伸子
10	〃	長崎大学附属図書館	馬場清子

(2) 勤務期間 20 年に達した者（表彰規定第 2 条第 1 項）

（所属機関、氏名の 50 音順）

	表彰の区分	所属大学名	氏名
1	第 2 条第 1 号	久留米大学附属図書館	ふたまた くみこ 二 又 紅美子
2	〃	九州産業大学図書館	なかの さえこ 中 野 佐枝子
3	〃	九州大学附属図書館	たてぞの えみこ 立 園 恵巳子
4	〃	熊本大学附属図書館	ますい みほみ 栴 井 眞祐美
5	〃	佐賀大学附属図書館	もりあき こ 森 暁 子
6	〃	琉球大学附属図書館	よきみ つおと 興 儀 実津雄

9. 幹事館報告

幹事館の九州大学郷原図書館企画課長より、以下の 4 点について報告があった。

1) 加盟館数について

平成 26 年度の新規加盟館はなしであった。平成 27 年度 4 月 1 日現在の加盟館は、国立 11 館、公立 15 館、私立 48 館、私立短大 4 館の、合計 78 館である。

2) 九州地区大学図書館協議会誌について

平成 27 年 2 月に「九州地区大学図書館協議会誌第 57 号」を刊行し、既に加盟館には発送済みである。大分大学の宮町館長の巻頭言に加え、大分大学、北九州市立大学より各 1 点の論文が寄せられ、リニューアルや開学等による大学図書館の紹介等、充実した協議会誌となった。

3) Library Lovers' キャンペーンについて

大学図書館の利用促進と学生の読書促進を目的とし、九州地区の大学図書館が合同で実施しているものである。平成 27 年度の実施については、この後協議題「Library Lovers' キャンペーン 2015 の実施について」にて協議いただく。

4) フレッシュ・パーソン・セミナーの開催について

九州地区、中国・四国地区の国立大学図書館協会が合同で隔年開催しているもので、新規に採用された図書館職員を対象とし、国公立の枠を超えた大学図書館員の人的

ネットワークを形成することを目的としている。今年度は、鹿児島大学を会場として 9 月上旬に開催するため、参加を検討いただきたい。

10. Library Lovers' キャンペーン 2014 実施報告

九州大学附属図書館の堀優子氏より、資料 3 に基づき、活動報告が行われ、参加館合同企画「衝撃のワンフレーズ—このひと言が、あなたを変える」を実施したこと、別紙 2 のとおり参加館独自企画を実施したこと等について説明があり、今年度に向けた WG の体制やスケジュールについて提言があった。本キャンペーンが定着し、合同企画・独自企画ともに様々な工夫がなされ洗練されてきた一方で、コメントなどの情報共有方法や広報についてさらに検討の必要があるため、WG 会議を前倒しし、ワーキンググループメンバーの多数参加を呼びかけたいとの報告があった。

11. 平成 26 年度決算及び監査報告

幹事館より、資料 4 に基づき報告があった。続いて、監査館である九州産業大学より、監査の結果、通帳・出納簿ともに適切な会計処理が行われているとの報告があり、審議の結果、承認された。

12. 平成 27 年度予算（案）

幹事館より、資料 5 の予算案に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

13. 国立、公立、私立、私立短期大学部会報告

(1) 国立大学部会報告

宮崎大学附属図書館の岩本館長より、九州地区国立大学図書館協会総会の報告があった。7 件の協議事項のうち、次の 6 点について報告があった。

協議事項

1) 国立大学図書館職員の採用試験について
今年度の試験日程、実施方法、経費負担等が承認された。

2) 九州地区国立大学図書館協会の代表館・副代表館選出について

代表館に九州大学、副代表館に長崎大学が選出された。

3) 九州地区大学図書館協議会等の運営について

平成 28 年度九州地区国立大学図書館協会総会の当番館には九州大学が選出された。

4) ISO プロトコル変更に対する NACSIS-ILL の対応について

エージェント方式による対応について、今後も継続して審議することとなった。

5) 平成 27 年度「大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナー」について

実施について協議し、原案通り承認された。各大学図書館において、新任職員の参加を是非検討していただきたい。

6) 九州地区国立大学図書館職員研修ワーキンググループ設置について

職員の資質・能力の向上を図るための職員研修を企画立案するワーキンググループを設置する方向で検討をすすめ、今秋に決定する予定である。

(2) 公立大学部会報告

鹿児島県立短期大学より、九州地区大学図

書館協議会公立大学部会の報告があった。

協議事項

1) 公立大学図書館としての地域貢献施策等について

学外利用者に対するサービスの現状について、また図書の延滞等、利用マナーの悪い学外者への対応等について、情報交換を行った。

承合事項

1) 貸出した書籍の長期延滞者への督促について

2) 図書館の開館時間及び夜間の職員配置について

3) 古書の燻蒸及び廃棄について

4) 図書館費購入図書の選定方法について

5) 学生との協働について

今回は、特に地域に関連する大学の抱える問題について情報交換を行い、大変有意義な協議会となった。

(3) 私立大学部会報告

鹿児島純心女子大学より、私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会の報告があった。

報告事項

九州地区協議会関係、九州地区大学図書館協議会関係、西地区部会関係、私立大学図書館協会関係について、了承いただいたとの報告があった。

協議事項

1) 九州地区協議会関係

2015 年度研究会について、当番校の西南女学院大学より説明があり承認された。

また、理事校の沖縄国際大学より説明があり、2016 年度より 1 校あたり年会費 5,000 円徴収することが承認された。

2) 九州地区大学図書館協議会関係

2015 年度九州地区大学図書館協議会の役員館について、提案があり承認された。

確認事項

- 1) 九州地区協議会 HP 及び ML の運用について
 - 2) 外国新聞分担保存について
 - 3) 九州地区協議会役員校等ローテーション表(2015 年度版)及び解説について
 - 4) 九州地区協議会年度別幹事校
 - 5) 本会関係行事・会議等スケジュール
- 以上の 5 点について、確認された。

その他

- 1) 2015 年度の当番校・幹事校・役員校等の紹介があった。

(4) 私立短期大学部会報告

鹿児島純心女子短期大学より、九州地区私立短期大学図書館協議会総会等の報告があった。

- 1) 総会では、平成 26 年度事業報告、平成 26 年度決算報告及び監査報告、平成 27 年度事業計画及び予算について審議され、承認された。
- 2) 研修会においては、鹿児島女子短期大学教授・学内ネットワーク室長・瀬戸博幸氏に講演して頂いた。

承合事項では、①休学者に対する図書の貸出に関する事、②館報作成に関する事について各館の報告を確認した。

その他として、夏の研修会についての案内があり、これを機に九州地区の協議会加盟館への参加を呼びかけることについて、全会一致した。

14. 協議事項

協議題 1「Library Lovers' キャンペーン 2015 の実施について

九州大学より提案理由について説明があり、実施要領を例年 5 月にメールにて照会しているが、2015 年度はキャンペーン準備期間を長く取るために本総会にて提案する旨説明があった。本キャンペーンの目的、

実施体制、実施内容、キャンペーン期間、WG、スケジュール、予算、報告等について説明があり、準備期間に余裕を持たせるため、準備スケジュールを約一ヶ月前倒ししたいとの提案があった。副議長より承認について諮られ、審議の結果、承認された。

15. 承合事項

承合事項 1「視聴覚資料の保存状況について」

提案大学の鹿屋体育大学より説明があり、この件について持ち帰り今後の参考としていただくこととなった。

承合事項 2「ILL の休止期間について」

提案大学の北九州市立大学より説明があり、この件について持ち帰り今後の参考としていただくこととなった。

承合事項 3「図書館利用に関する罰則規定の有無と過去 5 年間に図書館で罰則を適用した事のある事例について」

提案大学の北九州市立大学より説明があり、この件について持ち帰り今後の参考としていただくこととなった。

承合事項 4「学生や市民に対する『プリント用カード』『コピー機用カード』の使い分けについて」

提案大学の北九州市立大学より説明があり、この件について持ち帰り今後の参考としていただくこととなった。

承合事項 5「雑誌の製本と廃棄について」

提案大学の九州情報大学より説明があり、この件について持ち帰り今後の参考としていただくこととなった。

承合事項 6「電子ジャーナルの ILL 提供について」

提案大学の筑紫女学院大学より説明があり、この件について持ち帰り今後の参考としていただくこととなった。

承合事項 7「大学図書館に漫画(学習漫画を含む)を置くことの是非について」

提案大学の宮崎国際大学・宮崎学園短期

大学より説明があり、この件について持ち帰り今後の参考としていただくこととなった。

承合事項 8「雑誌の価格高騰による今後のコレクション形成及び予算編成戦略について」

提案大学の西南学院大学より説明があり、この件について持ち帰り今後の参考としていただくこととなった。

(昼食)

16. 講演

「日向神話の史実と魅力～記紀編纂 1300 年に際して～」

宮崎県教育庁文化財課専門主幹・南九州大学 非常勤講師 北郷泰道氏

宮崎大学附属図書館情報図書部図書課黒木課長より講師の紹介があり、北郷氏による講演が行われた。

17. 次期役員館の選出

副議長より、「九州地区大学図書館協議会会則」第 6 条に基づき、幹事館の選出について説明があり、議長及び副議長案により、幹事館に九州大学が推薦され、承認された。また昨日の各部会での検討の結果、副幹事館は鹿屋体育大学、九州歯科大学、沖縄国際大学、鹿児島純心女子短期大学が推薦され、承認された。

幹事館の九州大学より、監査館は幹事館に近い福岡市内の大学が望ましく、中村学園大学にお願いして内諾を得ているとの説明があり、承認された。

幹事館の九州大学より、昨日の各部会での検討の結果、表彰委員館は琉球大学、鹿児島県立短期大学、九州情報大学、福岡国際大学・福岡女子短期大学が推薦され、編集委員館は熊本大学、北九州学術研究都市学術情報センター、西日本工業大学、福岡国際大学・福岡女子短期大学が推薦され、

承認された。

幹事館の九州大学より、次期当番館の選出について今年度は福岡地区から選出することになっており、九州大学が引き受けるとの説明があり、承認された。

18. 次期当番館の挨拶

次期当番館の九州大学附属図書館の宮本館長より、挨拶があった。

19. 連絡事項

第一薬科大学より、承合事項 4 の自館の回答について、学生の「プリント用カード」「コピー機用カード」欄をいずれも×へと訂正する旨連絡があった。

20. 議長・副議長の解任

予定していた議事が全て終了したため、議長・副議長が解任された。

21. 閉会

当番館の黒木課長より、閉会宣言があった。

平成26年度決算

一般会計

(単位：円)

科 目	収 入 の 部			支 出 の 部			備 考
	予 算	決 算	備 考	目 的	予 算	決 算	
会 費	468,000	468,000	6,000×78館	總會運営費	300,000	300,000	当番館：大分大学
協議会誌代	122,400	122,400	56号:153部	協議会誌発行費	216,000	216,000	57号 (2014) 200部
広告掲載料	220,000	160,000	10社	事務費	20,000	15,909	会誌送料、送金手数料、消耗品費
広告掲載料	130,000	130,000	8社	積立金会計へ繰入	404,400	348,491	総会関係研修事業補助
小 計	940,400	880,400		小 計	940,400	880,400	

積立金会計

(単位：円)

科 目	収 入 の 部			支 出 の 部			備 考
	予 算	決 算	備 考	目 的	予 算	決 算	
前年度繰越金	219,265	219,265		表彰経費	83,000	82,320	16名 (1号該当8名、2号該当8名)
預金利息	100	64	8月28日、2月36日	研修会経費	50,000	50,000	総会講演謝金等
一般会計から繰入	404,400	348,491		研修会補助費	180,000	180,000	各県協議会 (9地区) 研修経費補助
小 計	623,765	567,820		次年度繰越金	310,765	255,500	
				小 計	623,765	567,820	

平成27年3月27日

監査館 九州産業大学図書館

事務室長 宮 丸 由美子



監査済

平成27年度予算(案)

一般会計

(単位：円)

科目	収入の部		支出の部	
	予算	備考	予算	備考
会費	468,000	@6,000×78館	300,000	当番館：宮崎大学
協議会誌代	122,400	57号(2014)@800円×153部	216,000	58号(2015)200部
広告掲載料	220,000	13社	20,000	会誌送料、送金手数料、消耗品費
広告掲載料	70,000	4社 26年度分	344,400	総会関係研修事業補助
小計	880,400		880,400	

積立金会計

(単位：円)

科目	収入の部		支出の部	
	予算	備考	予算	備考
前年度繰越金	255,500		85,000	16名(1号該当6名、2号該当10名)
預金利息	100		50,000	総会講演謝金等
一般会計から繰入	344,400		180,000	各県協議会研修経費補助(9地区×20,000円)
小計	600,000		285,000	
小計	600,000		600,000	

九州地区大学図書館協議会会則

昭和25年11月27日施行
昭和32年9月12日改正
昭和41年6月2日改正
昭和51年4月23日改正
昭和55年5月9日改正
平成9年4月25日改正
平成10年4月24日改正
平成20年4月18日改正

(名 称)

第1条 本会は九州地区大学図書館協議会と称する。

(会 員)

第2条 本会は別に定める資格を有する九州地区の大学図書館等（以下「大学図書館」という。）をもって組織する。

会員は大学等の機関をもって一会員とする。

本会に入会するには、所定の入会申込書を提出し、総会の議決を経るものとする。

(目 的)

第3条 本会は会員の緊密な連絡と協力によって、大学図書館の施設、管理及び運営等の健全な進歩発達をはかり、会員相互の親睦をはかることを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は前条の目的を達するためにつきの事業を行う。

1. 図書館の研究・調査に関する事項
2. 研究会・講習会等の開催に関する事項
3. 日本図書館協会等の連絡提携に関する事項
4. 学術図書文献の調査及び総合目録の調整に関する事項
5. 学術図書文献の収集、保存及び活用に関する事項
6. その他必要とする事項

(役 員)

第5条 本会に幹事館、副幹事館及び監査館を置く。

幹事館は会務を総括し、本会を代表する。

副幹事館は、幹事館とともに会務を処理する。

監査館は、会計を監査する。

第6条 幹事館は、総会で互選し、その任期は2年とする。但し、再選を妨げない。

副幹事館は、国立大学、公立大学、私立大学及び私立短期大学の各部会からそれぞれ1館を総会で互選し、その任期は2年とする。但し、再選を妨げない。

監査館は、総会で互選し、その任期は1年とする。但し、再選できない。

(事務所)

第 7 条 本会の事務所は幹事館内におく。

(会議)

第 8 条 本会は毎年 1 回総会を開催する。但し必要に応じ会員の 3 分の 1 以上から請求があった場合は、臨時総会を開くことができる。

第 9 条 総会の運営は、輪番に定められた当番館が幹事館と協議してこれに当たる。

第 10 条 総会は次の事項を行う。

1. 事業計画
2. 決算の承認
3. 予算の決定
4. 幹事館、副幹事館及び監査館の選任及び当番館の決定
5. その他必要な事項の決定

第 11 条 総会の票決権は 1 大学等の機関につき 1 票とし、議決は多数決による。可否同数の時は幹事館の決するところによる。

(会計)

第 12 条 本会の経費は会費その他をもってあてる。

第 13 条 会費は年額 6,000 円とし、毎会計年度始めに幹事館に納入するものとする。

第 14 条 本会の予算は毎年総会の議決を経て決定し、決算は監査を受け次の総会において承認を得なければならない。

第 15 条 本会の会計年度は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終る。

(会則変更)

第 16 条 本会則の変更は総会にはからなければならない。その決定には出席会員の 3 分の 2 以上の賛成を必要とする。

九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則

昭和 32 年 9 月 12 日決定

昭和 37 年 10 月 2 日改正

昭和 48 年 5 月 11 日改正

昭和 53 年 5 月 12 日改正

平成 11 年 4 月 23 日改正

平成 26 年 4 月 18 日改正

1. 本協議会総会の運営は簡素を尊重し、輪番に当番を引受け易くするためにこの細則を定める。
2. 総会の議長は当番館の館長とする。
3. 議長は副議長を指名することができる。
4. 当番館は幹事館及び副幹事館と協議の上、2ヶ月前に会員宛日程・場所等を通知し、出席者の職氏名及び協議事項・承合事項の提出を求める招請状を送ること。
但し、緊急を要する臨時総会等の場合はこの限りでない。

5. 当番館は協議事項をまとめ、議題として提案理由、又は簡単な説明を付して、出席者に配付し、調査研究の余地を充分与えるように努めること。
6. 当番館は総会の議事録を作成し、会員に配付するものとする。
7. 幹事館及び副幹事館は当番館と協力して、総会で決議された要求事項を貫徹するよう努力する。
8. 総会と同時に会員のための研修会を行うものとする。
9. 会員以外の出席を許すことがある。但し票決権はない。
10. 当番館は加盟館の所属県を次の三地区に分け、地区ごとに等しく持ち廻る。

福岡地区	福岡県
中部地区	長崎県、佐賀県、熊本県、大分県
南部地区	鹿児島県、宮崎県、沖縄県
11. 総会の経費は主として会費及び出席者から徴収する金員より支出し、総会の議決を経た予算案によって実行するものとする。
12. 研修会の講師招聘に要する旅費、謝礼等の費用は、毎年会費の内から積立てて支弁する。

九州地区大学図書館協議会入会に関する細則

昭和 32 年 9 月 1 日施行
平成 9 年 4 月 25 日改正
平成 20 年 4 月 18 日改正

1. 本協議会へ入会を希望する大学図書館（以下「入会申込館」という。）は、最寄りの本協議会 会員の紹介書（別記様式 1）により、入会申込書（別記様式 2）を、総会の 3 ヶ月前までに幹事館に提出する。
2. 紹介を依頼された会員は、総会において入会申込館の概略を説明する。
3. 入会資格の基準は下記のとおりとする。
 - (1) 大学、短期大学又はこれに準じる教育研究機関の図書館施設であること。
 - (2) 本協議会の目的及び事業に賛同し、熱意が十分認められること。
4. 入会申込館は、総会当日は、入会承認まではオブザーバーとして出席することができる。

別記様式 1

九州地区大学図書館協議会入会紹介書

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会 殿

大学名

図書館名

図書館長名

公印

下記の図書館は、本協議会の目的及び事業に賛同され、また熱意が十分認められますので、本協議会への入会を紹介します。

記

1. 学校（法人）名：
2. 大 学 名：
3. 図 書 館 名：
4. 図 書 館 長 名：
5. 所 在 地：

別記様式 2

九州地区大学図書館協議会入会申込書

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会 殿

大学名

図書館名

図書館長名

公印

貴協議会の趣旨に賛同し、平成 年度からの入会を申し込みます。

記

1. 学校（法人）名：
2. 大 学 名：
3. 大 学 設 置 年：
4. 学 生 数：
5. 図 書 館 名：
6. 所 在 地：
(電話、FAX 番号)
7. 図 書 館 長 名：
8. 図 書 館 の 概 要：(別紙)
9. 紹 介 館 名：

別紙

図 書 館 の 概 要

図 書 館 名			
事務責任者職・氏名	(電話番号)		
図 書 館 職 員 数	人 (内、司書数 人)		
図 書 館 延 床 面 積	m ²	閲覧座席数	席
蔵 書 冊 数	冊 (内 和書 冊、洋書 冊)		
年間受入図書冊数	冊	年間受入雑誌種数	種
年 間 開 館 日 数	日	通常開館時間	時 分～ 時 分
土 曜 開 館	1 実施 2 未実施		
日 曜 祝 日 開 館	1 実施 2 一部実施 3 未実施		
奉 仕 対 象 学 生 数	人	奉仕対象教職員数	人
年 間 貸 出 冊 数	冊		
図 書 館 相 互 協 力	図書貸借	1 実施 2 未実施	
	文献複写	1 実施 2 未実施	
学 外 者 へ の サ ー ビ ス	1 実施 2 未実施		
コ ン ピ ュ ー タ の 導 入	1 導入済 2 未導入		
コ ン ピ ュ ー タ の 適 用 業 務	1 貸出 2 図書受入 3 図書整理 4 雑誌管理 5 OPAC		
ネ ッ ト ワ ー ク 環 境	1 学内 LAN 接続済 2 インターネット接続済		
国 立 情 報 学 研 究 所 と の 接 続	1 接続 (1 NACSIS-CAT/ILL 2 NACSIS-IR 3 その他) 2 未接続		

九州地区大学図書館協議会誌編集に関する内規

平成 2 年 4 月 20 日施行

平成 5 年 4 月 23 日改正

平成 11 年 4 月 23 日改正

1. (1) 本協議会誌は、総会記事のほか各部会報告、ニュース等を掲載し、九州地区大学図書館間の情報誌としての機能を果たすこととする。
(2) 本協議会誌編集のために編集委員会を設ける。
2. (1) 編集委員会は、国立、公立、私立及び私立短大の各部会からの推薦により選出された編集委員館で構成する。
(2) 幹事館及び総会当番館は、業務上の必要から編集委員館として参加することとし、上記 2-(1)の編集委員館を兼ねることができる。
(3) 各部会の編集委員館は、幹事館の近隣地区から選出されることが望ましい。
(4) 編集委員館の任期は 1 年とし再任を妨げない。
3. (1) 編集委員館は、それぞれの所属する各部会の記事の提出を担当する。
(2) 総会当番館は、総会記事を担当する。
(3) 幹事館は、編集に関する事務を担当する。
4. 本協議会誌発行のため、印刷代、送料、編集会議費、原稿執筆等謝礼は、毎年会費の内から支弁する。
5. 本協議会誌に掲載された論文・記事は、九州地区大学図書館協議会ホームページに掲載することとする。

九州地区大学図書館協議会表彰規程

(目 的)

第 1 条 この規程は、九州地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に加盟の大学図書館職員を表彰するため、必要な事項を定めることを目的とする。

(表彰を受ける者)

第 2 条 表彰は、次の各号の 1 に該当し、かつ勤務成績が良好である者について行う。

- (1) 勤務期間 20 年に達した者
- (2) 勤務期間 20 年以上の者で退職または転職した者
- (3) 図書館学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者

(表彰状の授与)

第 3 条 表彰は、協議会が別紙様式による表彰状を授与することによって行う。

2 第 2 条に該当する者については、前項の表彰状にあわせて記念品を贈呈することができる。

(被表彰者の選考)

第 4 条 表彰をうける者は、所属図書館長の推薦（別紙様式による）に基づき、表彰委員会が選考し、協議会の総会の承認を経て決定する。

(表彰委員会)

第5条 表彰委員会は、国立、公立、私立及び私立短大の各部会からの推薦により選出された表彰委員館各1館で構成し、任期は1年として再任を妨げない。

(表彰の日)

第6条 表彰は、協議会の総会において行う。

(勤務期間の計算)

第7条 第2条第1号および第2号の勤務期間は、国公立大学図書館およびその他の図書館等に在職した期間とし、10年以上を加盟の大学図書館等に勤務したものでなければならない。

2 次の各号に掲げる期間は、勤務期間から除算する。

(1) 休職の期間（公傷病の期間は除く）

(2) 懲戒処分により停職された期間

(雑 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、表彰の実施に関する必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、昭和42年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、昭和55年5月9日から施行する。

附 則

この規程は、平成9年4月25日から施行する。

附 則

この規程は、平成11年4月23日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月18日から施行する。

文書番号

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会幹事館

〇〇大学附属図書館長 殿

〇〇大学（附属）図書館長

〇 〇 〇 〇

平成 年度表彰者の推薦について

下記の者を本年度の総会における被表彰者として推薦しますのでよろしくお取り計らい願います。
なお、別紙のとおり表彰者調書を提出します。

表彰者調書

〇〇大学（附属）図書館

職名		ふりがな 氏名		生年月日	年 月 日
表彰の区分	第2条第1号 第2条第2号 第2条第3号				
勤務成績					
第7条第2項第2号該当の有無 有 ・ 無					
履 歴 事 項					
年 月 日	勤 務 内 容 等	勤 務 期 間			
		加盟館での勤務期間	その他の図書館等 での勤務期間		
～		年 月 日	年 月 日		
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
計					
		合 計 年 月 日			

- 注 (1) 勤務期間の計算は暦日数によるものとし日を月に換算するときは30日をもって1月とすること。
- (2) 第7条第2項各号の除算期間は朱書すること。
- (3) 第2条第3号に該当する場合は、「勤務成績」欄は「業績」と書きかえて記入し、参考となる資料等を添付すること。

表彰状様式（1）第2条第1号および第2号該当者

表 彰 状

殿

あなたは 年のがい間大学図書館関係の業務に精励されその功労はまことに大きいものがあります。

よってここに記念品を贈り表彰します。

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

表彰状様式（2）第2条第3号該当者

表 彰 状

殿

あなたは図書館学の研究調査に精励されその向上発展に貢献されたことはまことに顕著なものがあります。

よってここに記念品を贈り表彰します。

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

研修会の補助に関する申合せ

平成6年9月20日決定
平成7年9月 1日改正
平成8年4月24日改正
平成9年4月25日改正
平成10年4月25日改正
平成15年4月25日改正
平成24年4月20日改正
九州地区大学図書館協議会

地区の大学図書館活動を発展させるため、研修会、講演会等（以下「研修会」という。）の経費を補助する申合せ事項を次のとおり定める。

1. 研修会経費を補助する対象は、九州地区大学図書館協議会に加盟している大学図書館が主体となって構成する県又は地区単位の組織とし、別紙のとおりとする。
2. 補助する経費の金額は、年間1組織に対して2万円を限度とする。
3. 研修会に要する経費の補助を受けようとするときは、別記様式による申請書を幹事館に提出するものとする。
4. 経費の補助を受けた組織は、本協議会誌に活動報告を掲載するものとする。
5. 経費の支出は、積立金会計を適用する。
6. 新たな組織から経費の補助の申し出があったときは、総会において承認を得るものとする。
7. これに関する事務は、幹事館で行う。

別 紙

経費を補助する県又は地区単位の組織

1. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（北部地区）
2. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（福岡地区）
3. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（南部地区）
4. 長崎県大学図書館協議会
5. 熊本県大学図書館協議会
6. 大分県大学図書館協議会
7. 宮崎県大学図書館協議会
8. 鹿児島県大学図書館協議会
9. 沖縄県大学図書館協議会

別記様式

平成 年度九州地区大学図書館協議会・研修会経費補助申請書

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

幹事館 殿

組織名
代表者
(所属大学)

九州地区大学図書館協議会の研修会経費の補助を受けたく、下記のとおり申請します。

記

研 修 会 名 及 び 内 容	
開 催 期 間	自 平成 年 月 日 () 時 分 至 平成 年 月 日 () 時 分
開 催 場 所	
参 加 機 関 数	
参 加 人 数	
必 要 経 費 (具体的に)	ア. 講 師 謝 金 _____ イ. 資 料 代 金 _____ ウ. 会 場 借 上 費 _____ エ. そ の 他 _____ 合 計 _____
連 絡 担 当 者	氏名 職 電話

* 研修内容は、大学図書館活動を促進させるテーマであること。

副幹事館の役割

平成 10 年 8 月 31 日

幹事館・副幹事館会議

1 通常時

1. 年度の事業・活動についての立案・協議
2. 所属部会との連絡調整と情報の提供
3. 入会の勧誘等、協議会の広報（特に所属部会の各大学に対して）
4. ホームページ充実のための提言案、意見具申

2 会誌発行時

- 各部会から編集委員館は選出されているため、特に役割はないと思うが
- ・所属部会の情報（研究発表等、原稿情報）の提供等

3 総会時

1. 副議長職に館長を選出等、当番館及び幹事館と協力しての総会運営
2. 前日決定された各部会における役員館の事務局への連絡
3. 総会終了後、当番館作成の議事録の確認

4 その他

- 別段ある場合は、適宜副幹事館から提案

九州地区大学図書館協議会ホームページの運用について

平成 10 年 8 月 31 日

平成 20 年 1 月 30 日改正

幹事館・副幹事館会議

1. 九州地区大学図書館協議会ホームページ（以下、「ホームページ」という。）は、九州大学附属図書館のサーバに置く。

（URL <http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/>）

2. ホームページの管理、維持（デザイン・構成を含む）は、九州地区大学図書館協議会事務局（以下、「事務局」という。）が行う。
3. ホームページに掲載する事項は当面以下のものを中心に構成するものとし、それぞれ以下の館が作成する。

- ・トピックス&NEWS

加盟館、各設置部会毎協議会、各県毎協議会等からの原稿に基づき事務局が作成

総会議事録は総会当番館が原稿を作成

- ・加盟館一覧 事務局が作成
 - ・役員館一覧 事務局が作成
 - ・当番館一覧 事務局が作成
 - ・九州地区大学図書館協議会誌
事務局が作成（論文等執筆者に対しては原稿依頼時にホームページ掲載方の承諾を得るものとする。）
 - ・地区内の図書館活動
各設置部会毎の図書館協議会等及び各県毎協議会が作成
 - ・各種関連資料集 事務局が作成
 - ・関連サイトへのリンク集 事務局が作成
 - ・地区内各館の相互利用案内 各加盟館からの原稿に基づき事務局が作成
 - ・フォーラムページ
協議会が設定するテーマに対する加盟館からの自由な意見・回答のページで、投稿は直接電子メールによる
4. 「3.」のほか、ホームページに文書・記事等の掲載を希望する副幹事館及び加盟館は、HTML形式等で原稿を作成し、事務局に送付するものとする。
事務局は内容を確認のうえ、ホームページに掲載する。

九州地区大学図書館協議会加盟館一覧

28.1.1 現在

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号
国 立	九州工業大学 附属図書館 (館長 鶴田隆治, 図書館・情報推進課長 岩村哲也)	804-8550	北九州市戸畑区仙水町1の1	093-884-3072 (093-884-3075)
	福岡教育大学 学術情報センター図書館 (センター長 大坪靖直, 学術情報課長 栗林陸生)	811-4192	宗像市赤間文教町1番5号	0940-35-1268 (0940-35-1705)
	九州大学 附属図書館 (館長 宮本一夫, 事務部長 益森治巳)	812-8581	福岡市東区箱崎6丁目10の1	092-642-2325 (092-642-2330)
	佐賀大学 附属図書館 (館長 富田義典, 学術研究協力部長 寺田浩一)	840-8502	佐賀市本庄町1	0952-28-8902 (0952-28-8909)
	長崎大学 附属図書館 (館長 中田英昭, 学術情報部長 上野恒信)	852-8521	長崎市文教町1の14	095-819-2193 (095-819-2196)
	熊本大学 附属図書館 (館長 山尾敏孝, 教育研究推進部長 山崎雅彦)	860-8555	熊本市中央区黒髪2丁目40の1	096-342-2213 (096-342-2210)
	大分大学 学術情報拠点 (拠点長 岸田哲子, 研究・社会連携部長 安部武司)	870-1192	大分市大字旦野原700	097-554-7482 (097-554-7488)
	宮崎大学 附属図書館 (館長 兒玉 修, 情報図書部長 上村茂樹)	889-2192	宮崎市学園木花台西1丁目1	0985-58-7759 (0985-58-2896)
	鹿児島大学 附属図書館 (館長 野呂忠秀, 学術情報部長 渡邊俊彦)	890-0065	鹿児島市郡元1丁目21の35	099-285-7415 (099-285-7413)
	鹿屋体育大学 附属図書館 (館長 川西正志, 学術図書情報課長 山西秀幸)	891-2393	鹿屋市白水町1	0994-46-4874 (0994-46-4157)
	琉球大学 附属図書館 (館長 花城梨枝子, 事務部長 飯田昇平)	903-0214	中頭郡西原町字千原1	098-895-8153 (098-895-8154)
公 立	北九州市立大学 図書館 (館長 松尾太加志, 学術情報課長 江上照明)	802-8577	北九州市小倉南区北方4丁目2の1	093-964-4404 (093-964-4437)
	九州歯科大学 附属図書館 (館長 鱒見進一, 学務部長 赤嶺勇司)	803-8580	北九州市小倉北区真鶴2丁目6の1	093-582-1131 (093-583-7388)
	北九州学術研究都市 学術情報センター (総務企画部長 甲山乙也, 学術情報担当課長 竹下誠次)	808-0135	北九州市若松区ひびきの1番3号	093-695-3150 (093-695-3152)
	福岡女子大学 学術情報センター(図書館) (館長 向井 剛, 経営管理部長 初山 宏)	813-8529	福岡市東区香住ヶ丘1丁目1の1	092-661-2416 (092-661-2416)
	福岡県立大学 附属図書館 (館長 細井 勇, 学務部長 猪口憲行)	825-8585	田川市伊田4395	0947-42-1760 (0947-42-9457)
	長崎県立大学 附属図書館 (館長 森田茂樹, 佐世保校館長 柳田芳伸, 佐世保校図書館課長 松尾信哉, シーボルト校図書館課長 川原光次)	858-8580	佐世保市川下町123	0956-47-5958 (0956-26-2100)
	熊本県立大学 学術情報メディアセンター図書館 (センター長 半藤英明, 事務長 坂本誠也)	862-8502	熊本市東区月出3丁目1番100号	096-321-6614 (096-383-2999)
	大分県立芸術文化短期大学 附属図書館 (館長 根之本英二, 企画情報課長 三好民郎)	870-0833	大分市上野丘東1の11	097-545-4235 (097-545-4235)
	大分県立看護科学大学 附属図書館 (館長 藤内美保, 総務グループリーダー 橋本満男)	870-1201	大分市大字廻栖野2944-9	097-586-4330 (097-586-4373)
	宮崎公立大学 附属図書館 (館長 山口裕司, 事務長 鈴木和彦)	880-8520	宮崎市船塚1丁目1番地2	0985-20-4814 (0985-20-4806)
	宮崎県立看護大学 附属図書館 (館長 串間敦郎, 総務課長 古場昭良)	880-0929	宮崎市まなび野3-5-1	0985-59-7756 (0985-59-7773)
鹿児島県立短期大学 附属図書館 (館長 木戸裕子, 副館長 山之内俊文)	890-0005	鹿児島市下伊敷1丁目52番1号	099-803-4475 (099-803-4473)	

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号
公立	沖縄県立看護大学 附属図書館 (館長 神里みどり, 主事 新垣 聡)	902-8513	那覇市与儀1-24-1	098-833-8806 (098-833-5134)
	沖縄県立芸術大学 附属図書・芸術資料館 (館長 波多野 泉, 主査 新城秀樹)	903-8602	那覇市首里当蔵町1-4	098-882-5038 (098-882-5068)
	名桜大学 附属図書館 (館長 住江淳司, 図書課参与 又吉 純)	905-8585	沖縄県名護市字為又1220-1	0980-51-1062 (0980-51-1065)
私立	西日本工業大学 図書館 (館長 大木正彦, 事務部長 山崎倫明)	800-0394	福岡県京都郡荏田町新津1-11	0930-23-7729 (0930-24-7900)
	西南女学院大学 図書館 (館長 甲斐達男, 課長 西川 忍)	803-0835	北九州市小倉北区井堀1丁目3の5	093-583-5959 (093-592-1885)
	九州国際大学 図書館 (館長 島浦一博, 事務室長 増田恵次郎)	805-8512	北九州市八幡東区平野1丁目6の1	093-671-8919 (093-671-8920)
	九州共立大学 附属図書館 (館長 松田高史, 業務課長 岡部憲宗)	807-8585	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8	093-693-3036 (093-603-2260)
	九州女子大学・短期大学 附属図書館 (館長 青山優子, 業務課長 松尾伸二)	807-8586	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-1	093-693-3124 (093-603-0494)
	福岡工業大学 附属図書館 (館長 阿山光利, 事務長 中島良二)	811-0295	福岡市東区和白東3-30-1	092-606-0691 (092-606-7389)
	福岡女学院大学 図書館 (館長 二階堂 整, 課長 吉村球夫)	811-1313	福岡市南区日佐3丁目42の1	092-575-6402 (092-575-4605)
	九州産業大学 図書館 (館長 渡邊雄二, 事務部長 中尾和弘)	813-8503	福岡市東区松香台2丁目3の1	092-673-5382 (092-673-5999)
	福岡大学 図書館 (館長 有岡律子, 事務部長 井口紀子)	814-0180	福岡市城南区七隈8丁目19の1	092-871-6631 (092-865-3794)
	中村学園大学 図書館 (館長 島内博行, 図書課長 辻原陽一)	814-0198	福岡市城南区別府5丁目7の1	092-851-2573 (092-841-7762)
	西南学院大学 図書館 (館長 古田雅憲, 事務部長 岩佐俊司)	814-8511	福岡市早良区西新6丁目2の92	092-823-3426 (092-823-3480)
	純真学園大学 図書館 (館長 加藤 亮二, 係長 山本 哲也)	815-8510	福岡市南区筑紫丘1丁目1番1号	092-541-1527 (092-541-1542)
	第一薬科大学 図書館 (館長 福田直通, 職員 原 直好)	815-8511	福岡市南区玉川町22の1	092-541-0161 (092-542-9776)
	九州情報大学 附属図書館 (館長 大浦洋子, 図書館司書 井上理恵子)	818-0117	太宰府市宰府6丁目3番1号	092-928-4000 (092-928-3200)
	筑紫女学園大学・短期大学部 附属図書館 (館長 大津忠彦, 課長 徳田 孝)	818-0192	太宰府市石坂2丁目12の1	092-925-9910 (092-925-3318)
	福岡国際大学・福岡女子短期大学 図書館 (館長 鈴木敏英, 課長 大橋祐子)	818-0193	太宰府市五条4丁目16-1	092-922-3604 (092-922-3596)
	久留米工業大学学術情報センター (館長 森 和典, センター室長 小林敬二)	830-0052	久留米市上津町2228-66	0942-22-2345 (0942-22-2385)
	聖マリア学院大学 図書館 (館長 井手 信, 司書 山口真由美)	830-8558	久留米市津福本町422番地	0942-37-1138 (0942-37-1138)
	久留米大学 附属図書館 (館長 江藤彰彦, 課長 二又紅美子)	839-8502	久留米市御井町1635	0942-44-4015 (0942-43-0348)
	保健医療経営大学 情報メディアセンター図書館 (センター長 伊達卓二, 図書係 古澤亜紀)	835-0018	みやま市瀬高町高柳960-5	0944-67-7007 (0944-63-3003)
	国際医療福祉大学 九州地区キャンパス図書館 (館長 藤城直二, 司書 北島麻美)	831-8501	大川市榎津137-1	0944-89-2143 (0944-86-6000)
	西九州大学 附属図書館 (館長 進藤直文, 課長 中島哲男)	842-8585	神崎市神埼町尾崎4490-9	0952-37-9299 (0952-53-7869)
	活水女子大学 図書館 (館長 高橋敬一, 課長 森 茂樹)	850-8515	長崎市東山手町1の50	095-822-4107 (095-823-3701)

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号	
私	長崎総合科学大学 附属図書館 (館長 プライアン・F・パークガフニ, 図書課長 山川邦子)	851-0193	長崎市網場町536	095-838-5142 (095-838-2072)	
	長崎外国語大学 教育研究メディアセンター (センター長 マラ クラウディア, 事務室長補佐 別所佐和子)	851-2196	長崎市横尾3-15-1	095-840-2005 (095-840-2205)	
	長崎純心大学 早坂記念図書館 (館長 田中芳彦, 事務室長 岩崎由希子)	852-8558	長崎市三ツ山町235	095-846-0084 (095-845-4279)	
	長崎ウエスレヤン大学 附属図書館 (館長 菅原良子, 司書 植松久子)	854-0082	諫早市西栄田町1212-1	0957-26-8203 (0957-26-0244)	
	長崎国際大学 図書館 (館長 山本経之, 図書課長 飯島芳典)	859-3298	佐世保市ハウステンボス町2825-7	0956-20-5560 (0956-39-4894)	
	崇城大学 図書館 (館長 井芹浩文, 課長 高吉夕香)	860-0082	熊本市西区池田4丁目22の1	096-326-3419 (096-359-3002)	
	九州ルーテル学院大学 図書館 (館長 三城大介, 課長 坂本美樹)	860-8520	熊本市中央区黒髪3丁目12-16	096-343-2494 (096-343-0354)	
	熊本学園大学 附属図書館 (館長 堀 正広, 図書情報課長 石川知子)	862-8680	熊本市中央区大江2丁目5の1	096-364-5161 (096-362-5967)	
	東海大学 附属図書館 熊本・阿蘇図書館 (館長 岩橋正國(熊本), 権田聖孝(阿蘇))	862-8652	熊本市東区渡鹿9-1-1	096-386-2634(熊本) 0967-67-3907(阿蘇)	
	熊本保健科学大学 附属図書館 (館長 飯山準一, 司書 山崎栄子)	861-5598	熊本市北区和泉町325	096-275-2264 (096-275-2265)	
	九州看護福祉大学 附属図書館 (館長 熊本俊秀, 図書課長 山崎貴士)	865-0062	玉名市富尾888	0968-75-1840 (0968-75-1873)	
	日本文理大学 図書館 (館長 松下乾次, 課長補佐 小平正典)	870-0397	大分市大字一木1727	097-524-2711 (097-593-5166)	
	立命館アジア太平洋大学 ライブラリー (総合情報センター長 李 燕, アカデミック・オフィス課長 大澤芳樹)	874-8577	別府市十文字原1-1	0977-78-1140 (0977-78-1141)	
	別府大学 附属図書館 (館長 佐藤瑠威, 事務次長 吉岡義信)	874-8501	別府市大字北石垣82	0977-66-9633 (0977-66-9632)	
	九州保健福祉大学 附属図書館 (館長 倉内 紀子, 主任 内田ゆかり)	882-8508	延岡市吉野町1714-1	0982-23-5562 (0982-23-5560)	
	宮崎産業経営大学 附属図書館 (館長 田代裕子, 課長 政野光弘)	880-0931	宮崎市古城町丸尾100	0985-52-3205 (0985-50-4699)	
	南九州大学・南九州短期大学 図書館 (館長 隈元正行, 学務部長 中村 稔)	880-0032	宮崎市霧島5-1-2	0985-83-3430 (0985-83-3431)	
	立	宮崎学園 図書館 (宮崎国際大学・宮崎学園短期大学) (館長 菅 邦男, 図書課長 小橋智子)	889-1605	宮崎市清武町加納丙1415	0985-85-1410 (0985-85-8189)
	鹿児島国際大学 附属図書館 (館長 小川英司, 図書館事務室長 濱田照美)	891-0197	鹿児島市坂之上8-34-1	099-263-0732 (099-261-1198)	
	鹿児島純心女子大学 附属図書館 (館長 三間晶生, 図書課長 岩永眞佐子)	895-0011	薩摩川内市天辰町2365	0996-23-5311 (0996-23-5030)	
志学館大学 図書館 (館長 新内康子, 課長代理 内村勇蔵)	890-8504	鹿児島市紫原一丁目59-1	099-812-8509 (099-257-0308)		
沖縄国際大学 図書館 (館長 新垣勝弘, 課長 金城智子)	901-2701	宜野湾市宜野湾2丁目6番1号	098-892-1111 (098-893-3274)		
沖縄大学 図書館 (館長 ティリップ・チャンドラール, 事務長 糸数 晃)	902-8521	那覇市宇国場555	098-832-5577 (098-834-1127)		
沖縄キリスト教学院 図書館 (館長 内間清晴, 課長 仲間末美)	903-0207	沖縄県中頭郡西原町字翁長777	098-946-1236 (098-946-1237)		
沖縄科学技術大学院大学 図書館 (館長 ケン・ピーチ, 司書 上原藤子)	904-0495	沖縄県国頭郡恩納村字茶谷1919-1	098-966-8436 (098-966-8817)		

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号
私立 短大	九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 図書館 (館長 山田千秋, 図書課長 小林由憲)	803-8511	北九州市小倉北区下到津5の1の1	093-561-3541 (093-592-6184)
	東九州短期大学 図書館 (館長 有吉英樹, 司書 釘丸知子)	871-0014	中津市大字一ツ松2 1 1	0979-22-2425 (0979-25-3935)
	鹿児島女子短期大学 附属図書館 (館長 瀬戸博幸, 課長 南谷 久)	890-8565	鹿児島市高麗町6-9	099-254-9195 (099-254-5914)
	鹿児島純心女子短期大学 図書館 (館長 三島盛武, 課長 西 真知子)	890-8525	鹿児島市唐湊4丁目2 2 の1	099-253-2677 (099-254-5247)

九州地区大学図書館協議会役員館一覽

年次 (回数)	幹事館	監査館	表彰委員館			編集委員館
昭和48年度 (24)	九州大学	福岡女子短大	国 公 私	福岡教育大学 長崎国際経済大学 福岡大学	佐賀大学 長崎県立女子短大 西南大学	
昭和49年度 (25)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	九州工業大学 長崎国際経済大学 西南大学	九州芸術工科大学 長崎県立女子短大 福岡大学	
昭和50年度 (26)	九州大学	西南大学	国 公 私	佐賀大学 北九州大学 久留米大学	長崎大学 大分県立芸術短大 熊本商科大学	
昭和51年度 (27)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 九州歯科大学 久留米大学	大分大学 長崎国際経済大学 西南大学	
昭和52年度 (28)	九州大学	福岡大学	国 公 私	福岡教育大学 福岡女子大学 西南大学	鹿児島大学 熊本女子大学 九州産業大学	
昭和53年度 (29)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	佐賀大学 長崎県立女子短大 西南大学	九州芸術工科大学 長崎国際経済大学 久留米大学	
昭和54年度 (30)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 北九州大学 九州産業大学	佐賀大学 九州歯科大学 久留米大学	
昭和55年度 (31)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	宮崎大学 福岡社会保育短大 西南大学	九州工業大学 大分県立芸術短大 熊本商科大学	
昭和56年度 (32)	九州大学	西南大学	国 公 私	福岡教育大学 熊本女子大学 九州産業大学	熊本大学 鹿児島県立短大 福岡大学	
昭和57年度 (33)	九州大学	福岡大学	国 公 私	長崎大学 北九州大学 八幡大学	鹿児島大学 福岡女子大学 熊本商科大学	
昭和58年度 (34)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	琉球大学 福岡社会保育短大 鹿児島経済大学	宮崎医科大学 鹿児島県立短大 八幡大学	
昭和59年度 (35)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	佐賀医科大学 長崎国際経済大学 中村学園大学	大分医科大学 長崎県立女子短大 西日本工業大学	
昭和60年度 (36)	九州大学	中村学園大学	国 公 私	宮崎大学 熊本女子大学 鹿児島経済大	九州工業大学 大分県立芸術短大 西日本工業大学	
昭和61年度 (37)	九州大学	福岡女子短大	国 公 私	熊本大学 北九州大学 長崎総合科学大学	大分大学 福岡社会保育短大 第一薬科大学	
昭和62年度 (38)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	宮崎医科大学 福岡女子大学 九州東海大学	大分医科大学 九州歯科大学 沖縄国際大学	

年次 (回数)	幹事館	監査館	表彰委員館			編集委員館
昭和63年度 (39)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	佐賀医科大学 長崎国際経済大学 福岡大学	琉球大学 鹿児島県立短期大学 八幡大学	
平成元年度 (40)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 長崎県立女子短期大学 西南大学	佐賀大学 熊本女子大学 中村学園大学	
平成2年度 (41)	九州大学	中村学園大学	国 公 私	福岡教育大学 北九州大学 九州産業大学	長崎大学 大分県立芸術文化短期大学 熊本商科大学	九州大学 大分医科大学 福岡女子大学 福岡大学 福岡女子短期大学
平成3年度 (42)	九州大学	福岡大学	国 公 私	九州工業大学 福岡県社会保育短期大学 久留米大学	鹿児島大学 長崎県立大学 西日本工業大学	九州大学 鹿屋体育大学 九州歯科大学 中村学園大学 筑紫女学園短期大学
平成4年度 (43)	九州大学	福岡女子短期大学	国 公 私	宮崎大学 福岡女子大学 鹿児島経済大学	大分大学 九州歯科大学 活水女子大学	九州大学 福岡教育大学 北九州大学 九州国際大学 東筑紫短期大学
平成5年度 (44)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	宮崎医科大学 熊本女子大学 活水女子大学	大分医科大学 鹿児島県立短期大学 鹿児島経済大学	九州大学 熊本大学 福岡女子大学 西南学院大学 筑紫女学園短期大学
平成6年度 (45)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	熊本大学 大分県立芸術文化短期大学 活水女子大学	佐賀医科大学 宮崎公立大学 鹿児島経済大学	九州大学 宮崎大学 福岡県立大学 九州産業大学 筑紫女学園短期大学
平成7年度 (46)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	鹿屋体育大学 北九州大学 第一薬科大学	琉球大学 長崎県立大学 南九州大学	九州大学 九州工業大学 九州歯科大学 久留米大学 筑紫女学園短期大学
平成8年度 (47)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	九州芸術工科大学 福岡女子大学 九州東海大学	佐賀大学 九州歯科大学 熊本学園大学	九州大学 大分大学 北九州大学 九州共立大学 西南女学院短期大学
平成9年度 (48)	九州大学	福岡教育大学	国 公 私	九州工業大学 熊本県立大学 九州女子大学	宮崎大学 鹿児島県立短期大学 久留米工業大学	九州大学 佐賀大学 九州歯科大学 福岡大学 西南女学院短期大学

年次 (回次)	幹事館	副 幹 事 館		監 査 館	表彰委員館	編集委員館
平成10年度 (49)	九州大学	国 公 私 短	九州芸術工科大学 福岡女子大学 九州国際大学 中九州短期大学	中村学園大学	福岡教育大学 長崎大学 福岡県立大学 長崎県立女子短期大学 西日本工業大学 筑紫女学園大学	九州大学 佐賀医科大学 福岡女子大学 第一薬科大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成11年度 (50)	九州大学	国 公 私 短	九州工業大学 大分県立芸術文化短期大学 鹿児島経済大学 沖縄キリスト教短期大学	福岡大学	鹿児島大学 大分県立芸術文化短期大学 別府大学 中九州短期大学	九州大学 佐賀大学 長崎大学 福岡県立大学 熊本工業大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成12年度 (51)	九州大学	国 公 私 短	九州工業大学 大分県立芸術文化短期大学 鹿児島国際大学 沖縄キリスト教短期大学	福岡女子大学	大分大学 宮崎県立大学 宮崎国際大学 中九州短期大学	九州大学 沖縄国際大学 宮崎医科大学 北九州大学 西南女学院大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成13年度 (52)	九州大学	国 公 私 短	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 九州大谷短期大学	福岡教育大学	宮崎医科大学 北九州市立大学 筑紫女学園大学 沖縄キリスト教短期大学	鹿児島大学 九州歯科大学 西九州大学 活水女子短期大学 九州大学 九州女子大学
平成14年度 (53)	九州大学	国 公 私 短	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 九州大谷短期大学	福岡工業大学	大分医科大学 熊本県立大学 九州情報大学 九州大谷短期大学	琉球大学 福岡県立大学 鹿児島純心女子大学 活水女子短期大学 九州大学 大分大学
平成15年度 (54)	九州大学	国 公 私 短	佐賀大学 北九州市立大学 九州共立大学 筑紫女学園大学・短期大学	筑紫女学園大学・短期大学	鹿屋体育大学 宮崎県立看護大学 九州ルーテル学院大学 筑紫女学園大学・短期大学	九州工業大学 福岡女子大学 九州看護福祉大学 西南女学院大学・短期大学 九州大学 宮崎大学
平成16年度 (55)	九州大学	国 公 私 短	佐賀大学 北九州市立大学 九州共立大学 筑紫女学園大学・短期大学	西南学院大学	熊本大学 福岡女子大学 志學館大学 東九州女子短期大学	福岡教育大学 九州歯科大学 南九州大学・南九州短期大学 西南女学院大学・短期大学
平成17年度 (56)	九州大学	国 公 私 短	長崎大学 熊本県立大学 九州東海大学 鹿児島純心女子短期大学	九州産業大学	琉球大学 沖縄県立看護大学 西南女学院大学 鹿児島純心女子短期大学	熊本大学 北九州市立大学 西日本工業大学 鹿児島純心女子短期大学
平成18年度 (57)	九州大学	国 公 私 短	長崎大学 熊本県立大学 九州東海大学 鹿児島純心女子短期大学	福岡国際大学・ 福岡女子短期大学	佐賀大学 鹿児島県立短期大学 福岡女学院大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	鹿屋体育大学 福岡県立大学 筑紫女学園大学・短期大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学

年次 (回次)	幹事館	副 幹 事 館	監 査 館	表彰委員館	編集委員館
平成 19 年度 (58)	九州大学	国 熊 本 大 学 宮 崎 県 立 看 護 大 学 福 岡 大 学 私短 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	中村学園大学	九州工業大学 九州歯科大学 久留米工業大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	福岡教育大学 福岡女子大学・短期大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
平成 20 年度 (59)	九州大学	国 熊 本 大 学 宮 崎 県 立 看 護 大 学 福 岡 大 学 私短 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	福岡教育大学	宮崎大学 大分県立看護科学大学 別府大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	長崎大学 九州歯科大学 鹿児島国際大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
平成 21 年度 (60)	九州大学	国 大 分 大 学 福 岡 県 立 大 学 九 州 産 業 大 学 九 州 大 谷 短 期 大 学 私短	福岡女子大学	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡国際大学・福岡女子短期大学 鹿児島女子短期大学	鹿児島大学 北九州市立大学 西南女学院大学 中九州短期大学
平成 22 年度 (61)	九州大学	国 大 分 大 学 福 岡 県 立 大 学 九 州 産 業 大 学 九 州 大 谷 短 期 大 学 私短	福岡大学	長崎大学 福岡女子大学 鹿児島純心女子大学 鹿児島女子短期大学	九州工業大学 北九州学術研究都市学術情報センター 活水女子大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
平成 23 年度 (62)	九州大学	国 宮 崎 大 学 長 崎 県 立 大 学 熊 本 学 園 大 学 私短 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	福岡工業大学	鹿児島大学 大分県立芸術文化短期大学 福岡女学院大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	佐賀大学 福岡県立大学 九州国際大学 九州大谷短期大学
平成 24 年度 (63)	九州大学	国 宮 崎 大 学 長 崎 県 立 大 学 熊 本 学 園 大 学 私短 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	筑紫女学園大学・短期大学	大分大学 沖縄県立看護大学 九州東海大学 九州大谷短期大学	琉球大学 福岡女子大学 沖縄国際大学 鹿児島女子短期大学
平成 25 年度 (64)	九州大学	国 鹿 児 島 大 学 鹿 児 島 県 立 短 期 大 学 久 留 米 大 学 鹿 児 島 女 子 短 期 大 学 私短	西南学院大学	鹿屋体育大学 北九州市立大学 九州共立大学 鹿児島純心女子短期大学	宮崎大学 九州歯科大学 聖マリア学院大学 鹿児島純心女子短期大学
平成 26 年度 (65)	九州大学	国 鹿 児 島 大 学 鹿 児 島 県 立 短 期 大 学 久 留 米 大 学 鹿 児 島 女 子 短 期 大 学 私短	九州産業大学	熊本大学 熊本県立大学 九州保健福祉大学 東九州短期大学	大分大学 北九州市立大学 西九州大学 東九州短期大学
平成 27 年度 (66)	九州大学	国 鹿 屋 体 育 大 学 九 州 歯 科 大 学 沖 縄 国 際 大 学 鹿 児 島 純 真 女 子 短 期 大 学 私短	中村学園	琉球大学 鹿児島県立短期大学 九州情報大学 福岡国際大学・福岡女子短期大学	熊本大学 北九州学術研究都市学術情報センター 西日本工業大学 福岡国際大学・福岡女子短期大学
平成 28 年度 (67)		国 公 私 短			

九州地区大学図書館協議会総会当番館一覧

回次	年度	県別	大 学
1	25	福岡	九州大学
2	26	熊本	熊本大学
3	27	長崎	長崎大学
4	28	佐賀	佐賀大学
5	29	鹿児島	鹿児島大学
6	30	宮崎	宮崎大学
7	31	大分	大分大学
8	32	福岡	西南学院大学
9	33	福岡	九州大学
10	34	熊本	熊本大学
11	35	福岡	九州工業大学
12	36	長崎	長崎大学
13	37	福岡	福岡大学
14	38	佐賀	佐賀大学
15	39	福岡	福岡教育大学
16	40	宮崎	宮崎大学
17	41	福岡	八幡大学
18	42	鹿児島	鹿児島大学
19	43	福岡	九州大学
20	44	熊本	熊本商科大学
21	45	福岡	久留米大学
22	46	大分	大分大学
23	47	福岡	北九州大学
24	48	長崎	長崎大学
25	49	福岡	九州産業大学
26	50	佐賀	佐賀大学
		"	佐賀龍谷短期大学
27	51	沖縄	琉球大学
28	52	福岡	九州大学
29	53	大分	大分大学
30	54	宮崎	宮崎大学
31	55	福岡	九州歯科大学
		"	福岡女子大学
		"	福岡県社会保険短期大学
32	56	熊本	熊本女子大学
33	57	鹿児島	鹿児島大学
		"	鹿児島県立短期大学
		"	鹿児島経済大学

回次	年度	県別	大 学
34	58	福岡	西日本工業大学
35	59	長崎	長崎大学
36	60	宮崎	宮崎医科大学
		大分	大分県立芸術短期大学
		宮崎	南九州大学
		長崎	純心女子短期大学
37	61	福岡	九州芸術工科大学
38	62	佐賀	佐賀医科大学
39	63	沖縄	琉球大学
40	平成元	福岡	北九州大学
41	2	大分	大分医科大学
42	3	鹿児島	鹿屋体育大学
43	4	福岡	西南学院大学
44	5	熊本	九州東海大学
45	6	宮崎	宮崎産業経営大学
46	7	福岡	九州工業大学
47	8	長崎	長崎大学
48	9	鹿児島	鹿児島経済大学
49	10	福岡	福岡女子大学
50	11	佐賀	佐賀大学
51	12	沖縄	沖縄国際大学
52	13	福岡	九州女子大学
53	14	大分	大分大学
54	15	宮崎	宮崎大学
55	16	福岡	福岡教育大学
56	17	熊本	熊本大学
57	18	鹿児島	鹿屋体育大学
58	19	福岡	九州大学
59	20	長崎	長崎大学
60	21	沖縄	琉球大学
61	22	福岡	福岡県立大学
		"	九州歯科大学
		"	北九州学術研究都市(学術情報センター)
62	23	佐賀	佐賀大学
63	24	鹿児島	鹿児島大学
64	25	福岡	福岡教育大学
65	26	大分	大分大学学術情報拠点
66	27	宮崎	宮崎大学

回次	年度	県別	大 学
67	28	福 岡	九 州 大 学

伊藤伊の **ここが違う!**

スチール製ブックトラック

完全溶接止め

ノックダウン（組立方式）と違い、ビスを使わないので大変丈夫です。また、ビスの所の隙間がないので本体がグラグラしたり、ビスが緩んだりする心配がありません。

安全で握りやすい 完全丸パイプ

角を丸くし、お子様にも安全な設計になっています。

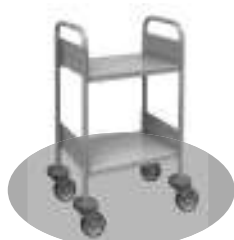
安全な丸加工の棚板

棚板も安全な丸加工。

余裕の耐荷重と十分な 静音性

積載量に対して余裕を持った耐荷重のキャスターを採用。強度抜群のスチールホイールと走行音の静かなゴム車を使用しています。

ガード付



小型ブックトラック 水平 2段
7425 | ￥42,000 (税抜き) W465×D320×H840



ブックトラックB型 水平 3段
7417 | ￥56,000 (税抜き) W800×D350×H970



ブックトラックC型 水平 3段
7405 | ￥80,000 (税抜き) W800×D430×H1070

他にも、スチール製カラーや、木製ブックトラック等、豊富なラインナップ!



小型ブックトラック 傾斜片面 2段
7426 | ￥47,400 (税抜き) W550×D340×H965



小型ブックトラックS型 傾斜片面 2段
7498 | ￥34,000 (税抜き) W550×D340×H940



ブックトラックA型 傾斜片面 3段
7416 | ￥61,000 (税抜き) W700×D340×H1166



ブックトラックY型 傾斜片面 4段
7410 | ￥68,000 (税抜き) W700×D340×H1166



ブックトラックH型 傾斜両面 3段
7406 | ￥80,000 (税抜き) W700×D470×H1070



ブックトラックM型 傾斜両面 3段
7408 | ￥92,000 (税抜き) W700×D520×H1070



ブックトラックD型 水平 1段 + 傾斜両面 2段
3409 | ￥68,000 (税抜き) W700×D470×H1070



株式会社 伊藤伊

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-10
TEL (03)5689-6230(代) FAX (03)5689-6232

九州・山口地区 代理店 TEL (092) 863-0128
(L・キスト) FAX (092) 863-0127

アイデアを生み出す多彩なしつらえで
アクティブラーニングを加速する。



見渡しやすい低めのテーブル高さ

天板上の情報が俯瞰しやすい620mmのテーブル高さ。低めのテーブルを囲んでの作業は、チームの一体感につながります。



ホワイトボード天板

座ったまま書けるため、アイデアの共有がしやすく、グループ全員で活発なアイデア出しが行えます。



しっかりした個人作業天板

個人作業はチェアの手板で行います。A3サイズで天板強度があり、荷物が落ちにくいエッジ形状で安心して作業に取り組みます。

SCRUM[®] スクラムシリーズ

「アクティブラーニング」を実現する教育施設用家具シリーズ。
グループワークには一体感を演出し、レクチャー・演習・プレゼンなどの
講義スタイルにもフレキシブルに、スピーディーに対応します。



チェア 天板付タイプ



チェア 天板なしタイプ

NALIS

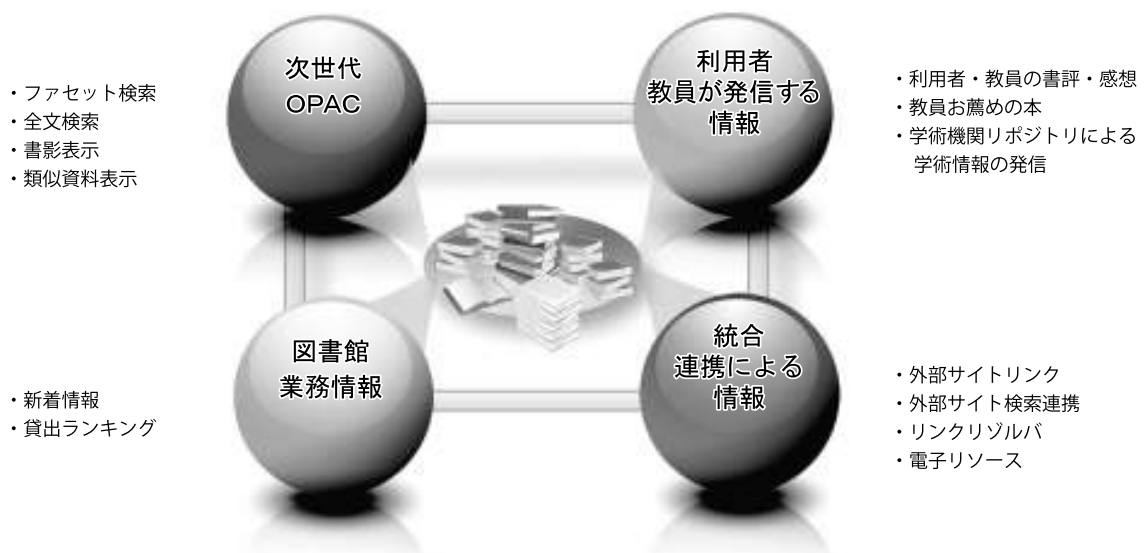
NTT Data
Global IT Innovator

図書館の全業務をカバーする
「図書館情報システム」
規模や運用に応じて、
柔軟かつ拡張性に優れた構成が可能です。

利用者の資料入手を強力にサポート



NALISは『次世代OPAC』、『利用者・教員が発信する情報』、『図書館業務情報』、『統合・連携による情報』の4つを柱として利用者を強力にサポートします。



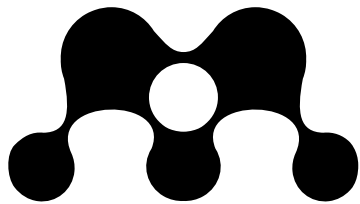
お問い合わせ・ご相談は下記までどうぞ

株式会社 NTT データ九州

公共基盤事業部 文教ビジネス部 営業担当

Tel : 092-475-5145 Fax:092-475-5152

HP: www.nttdata-kyushu.co.jp



MENDELEY

無料の文献管理ツール & 研究者ネットワーク



Organize. Collaborate. Discover.

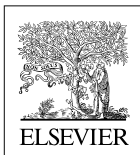
www.mendeley.com

Mendeley (メンデレー) は、学术论文の管理とオンラインでの情報共有を目的とした無料の文献管理ツールです。

Windows・Mac・Linuxに対応するデスクトップ版と、オンラインでどこからでも利用できるウェブ版を組み合わせで使用します。

iOS・Androidにも対応するモバイル版もあります。

- ライブラリに追加したPDFから書誌情報を自動的に抽出
- Web Importerで各種データベースから文献をインポート
- Wordへの参考文献の挿入
- グループ機能で他の研究者と文献を共有
- ハイライト、注釈機能を備えたPDFビューア
- 強力なPDF管理機能
- 世界のユーザーが登録したオンラインカタログを検索
- 研究者ネットワーク、個人プロフィールの公開



エルゼビア・ジャパン株式会社

〒106-0044 東京都港区東麻布1-9-15 東麻布一丁目ビル4階

TEL: 03-5561-5034 E-mail: jp.pr@elsevier.com

<http://www.elsevier.com/jp/mendeley>



MENDELEY

空間をデザインする



Library
図書館



Museum
文化施設



Hospital
病院



Office
オフィス



School·
Laboratory
学校・研究所



Warehouse
物流倉庫



金剛株式会社

www.kongo-corp.co.jp

福岡支店 / 福岡市東区名島3丁目2-10 TEL (092)681-6286 (代)

熊本本社 / 熊本市西区上熊本3丁目8-1 TEL (096)355-1111 (代)

支店・営業所 / 仙台・東京・静岡・名古屋・金沢・大阪・岡山・広島・高松・北九州・福岡・大分・佐賀・長崎・熊本・八代・天草・宮崎・鹿児島・沖縄・台湾



電子ジャーナルホスティングサイト

PierOnline ピアオンライン

PierOnlineは国内の学術出版社が発行する医学・薬学・看護系の学術誌を電子ジャーナルとして提供するホスティングサイトです。ご利用は、提供される電子ジャーナル1誌ごとに年間購読が可能です。冊子体(本誌)の非購読者は論文単位でのPayPerViewで購読が可能です。

「癌と化学療法」がオンライン版のみでご購読いただけます



PierOnlineでは、通常冊子体の年間購読がご契約の条件となっておりますが、「癌と化学療法」は、冊子体のご購読は必要なく、PierOnlineでオンライン版のみのご契約が可能です。

「癌と化学療法」は日本のがん研究に関するトップクラスの論文を掲載する専門誌

本誌編集委員会により厳重に審査された、わが国のがん研究に関するトップクラスの論文を掲載。癌化学療法に関心を持っているものが、この雑誌さえみていれば、癌化学療法に関して少なくとも大きな目こぼしはしないと言われる癌専門誌。

癌と化学療法をオンライン版で最新号から読めるのはPierOnlineだけです!

南江堂オンライン Journal に「最新の治療シリーズ」10誌が追加!

「外科」「内科」「胸部外科」「整形外科」「別冊整形外科」「がん看護」の6誌セットがエンバ
ルゴ無しで閲覧できる南江堂オンラインJournalに「最新の治療シリーズ」が10誌追加されます。



「南江堂オンライン Journal」の特長

- ・エンバロゴはありません。いつでも最新号から閲覧できます。
- ・増刊号や増大号ももれなく閲覧できます。
- ・同時アクセスは無制限です。複数人が同時に利用することができます。
- ・写真や図も大変鮮明にご覧いただけます。
- ・全文検索により、もれの無い検索を実現。
- ・気になった論文をブックマークして、好きな時に簡単に閲覧できます。

トランザクション利用ができます

- ・論文単位で購読したいけど機関のクレジットカードが無い
- ・必要な論文だけを購読したい
- ・支払いは請求書でまとめてほしい...



そんな時は、利用した論文数に応じた金額を
まとめてお支払いいただくトランザクション
利用が便利です!

※ トランザクション利用の対象誌や、詳しいご利用方法につきましては
pier@sunmedia.co.jp までお問い合わせください。



new!

システムアップデート

システムをアップデートし、検索機能の強化など
より使いやすいプラットフォームになりました!

価値ある 50 誌を収録

★癌と化学療法社「癌と化学療法」「ENDOSCOPIC FORUM for digestive disease」「Liver Cancer」「Biotherapy」★最新医学社「最新医学」
★メディカルレビュー社「ゲノム医学」「Pharma Medica」★医歯薬出版「医学のあゆみ」★ライフサイエンス出版「Therapeutic
Research」「薬理と治療」「治療学」★メディカ出版「インフェクションコントロール」「エマージェンシー・ケア」「オペナーシング」「サーキュ
レーション・アップ・トゥ・デート」「ナーシングビジネス」「ニュートリションケア」...その他、価値ある雑誌が多数収録されています!

アクセスはこちらから ▶▶▶ <http://www.pieronline.jp/>

欲しい文献をPDFで すみやかに入手できます！

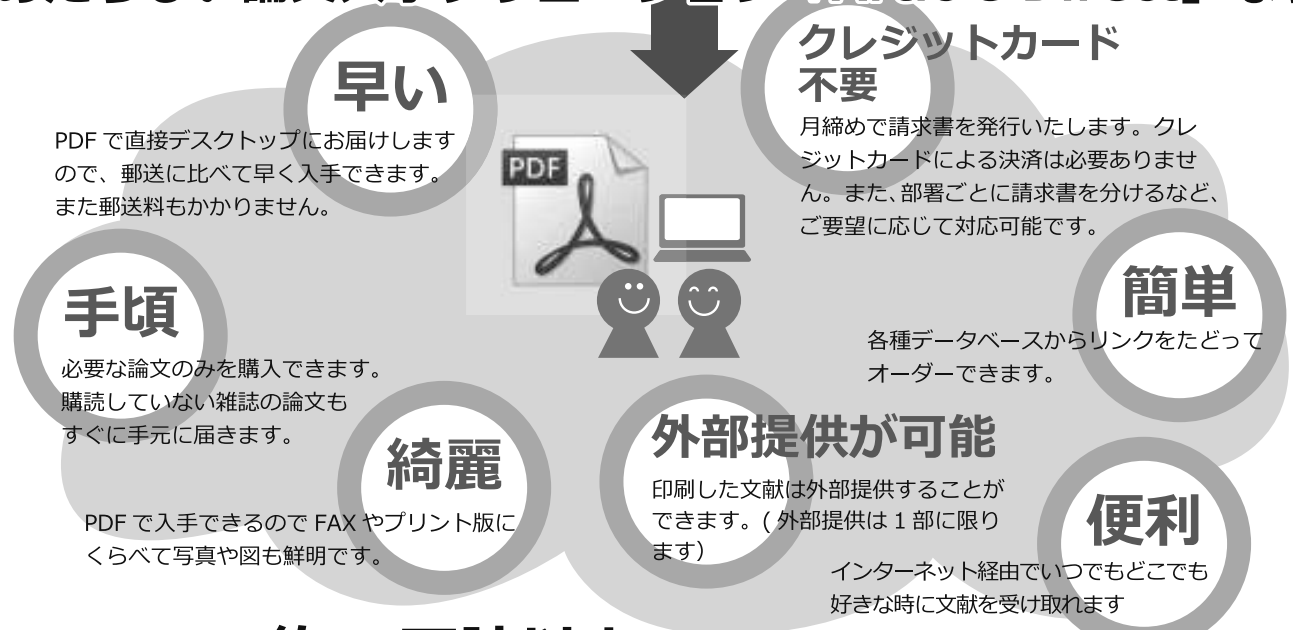
Article Direct は、出版社から許諾を得た論文をPDFファイルでデスクトップに直接お届けするサービスです。郵送に比べてお届けまでの時間が短縮されるので急に文献が必要になった時などに大変便利にご利用いただけます。

たとえばこんなことはありませんか？

- ▶ 急ぎで必要な文献だから、郵送されるのを待っている時間が無い
- ▶ 機関で購読していない雑誌を1論文単位で入手したい
- ▶ クレジット決済ではなく請求書による支払いで購入したい。請求書は部署ごとに分けたい
- ▶ FAXで受け取ると、細かい文字や写真が見つらい…
- ▶ 届いた文献を取りに行くのが面倒…



あたらしい論文入手ソリューション「Article Direct」なら



対象雑誌は約2万誌以上！

Elsevier、Springer、KARGER、Thieme、Bentham Scienceなどの海外学術出版者が発行する学術誌や、ingenta connectに掲載されている学術誌、PierOnlineに掲載されている国内学術誌など約2万誌以上を対象としています。

IOP Publishing, Taylor and Francis, Wiley, Wolters Kluwer, Informa Health Care, OUP, etc.

国内の定期刊行物2,000誌を含む、4万点を超える国内資料も対象になりました！

利用価格： 文献価格は雑誌によって異なります。Neoplanetsの雑誌情報画面にてご確認くださいことが出来ます。

セミナー開催のお知らせ

来年の学術情報ソリューションセミナーの日程が決まりました
スケジュールに入れておいて下さい！

東京会場 2016年6月14日(火)
日本橋三井ホール
東京都中央区日本橋室町2-2-1COREDO室町5F

大阪会場 2016年6月22日(水)
ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター
大阪府大阪市北区大深町3-1グランフロント大阪ナレッジキャピタルB2

※その他の会場につきましては、決まり次第ホームページ等でお知らせいたします





図書館ソリューション営業部プロフィール

図書館を取り巻く環境が大きく様変わりするなか、ナカバヤシはソフト・ハードの両面から、図書館の持つ可能性を最大限に生かすためのご提案を続けます。

製 本

創業以来の豊富なノウハウと高い技術力で、さまざまな製本に小ロットから大量発注まで柔軟に対応します。

雑誌合冊製本 論文製本 新聞製本 カルテ製本 簡易製本 図書改装製本
 貴重書・古書修理製本 行政文書製本 和綴じ製本 帙・四方帙

資料保存

資料の劣化・保存状況、目的・ご要望に合わせて適切な保存処置・環境の整備をご提案しています。

中性紙保存箱の作製 脱酸性化処理 裏打ち・すきはめ 軸装・額装の再仕立て
 劣化要因の除去 カビ・紫外線対策 環境調査・除塵防黴施工・燻蒸

図書館サービス

図書館のパートナーとして、業務の効率化、図書館サービス・利用者満足度の向上に取り組みます。

雑誌受入整理・選及入力 製本準備・受入 図書受入整理・選及入力 装幀
 閲覧・カウンター業務 蔵書点検 書籍移動・配架シミュレーション 指定管理

デジタル・ソリューション

コンテンツづくりから公開・運用まで、情報資産の保存・有効活用をサポートしています。

画像データ作成 テキストデータ作成 閲覧・公開システム・ホームページの構築
 機関リポジトリサービス 電子書籍の制作

図書館システム・サプライ

運用に欠かせないシステム・アイテムを数多く取り揃えています。

図書館システム 自動貸出装置 無断持出し防止装置 磁気テープ
 RFIDシステム 什器・図書館用品 ラベル・カード作成 オンデマンド印刷

N-CLASS

カメレオンコードを活用した、効果的・柔軟な図書館サービスの提供できる、
 新しい蔵書管理ソリューションをご提案しています。

ナカバヤシ株式会社 図書館ソリューション営業部

東京本社 〒174-8602 東京都板橋区東坂下2丁目5-1 TEL:03-3558-1251 FAX:03-3558-1260
 大阪支社 〒536-0005 大阪市城東区中央2丁目1-23 TEL:06-6930-6668 FAX:06-6935-2667
 名古屋支店 〒456-0053 名古屋市熱田区一番2丁目2-6 TEL:052-661-3771 FAX:052-661-3775
 福岡支店 〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭5丁目7-11 TEL:092-641-3661 FAX:092-641-3699
 札幌営業所 TEL:011-846-7884 仙台営業所 TEL:022-284-3045 横浜営業所 TEL:045-279-7884
 広島営業所 TEL:082-536-0250 高松出張所 TEL:087-831-5825

HP:<http://www.nakabayashi.co.jp/> E-MAIL:toshokan@nakabayashi.co.jp



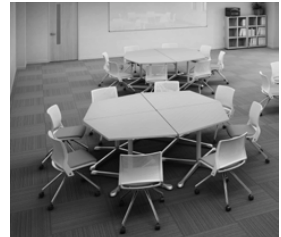
「アクティブラーニングの環境を進化させる」

Acti@ Fellow

[アクティアフェロー]



シーンに合わせて自由に変える・変えられる
多目的に活用できるテーブル



よい品は結局おトクです

オカムラ

株式会社 岡村製作所 西日本支社 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-3-3 tel:092-482-8822 fax:092-482-8812

お問い合わせ・ご相談は【お客様サービスセンター】へ…

フリー
ダイヤル

☎ 0120-81-9060

受付時間 / 9:00~17:20(土・日・祝日を除く)

<http://www.okamura.co.jp/>

電子書籍 Kinoppy を公費で!!

公費請求書の決済に対応する BookWeb Pro が電子書籍の購入もサポート致します。

■ 紀伊國屋書店

BookWeb Pro

<https://pro.kinokuniya.co.jp>

BookWeb Pro とは、

■ 公費請求書の決済に対応!

公費請求書の決済に対応したオンラインストアです。

■ 予算種類別に注文が可能!

図書費・研究費・科研費、また備品・消耗品等の予算種類を設定可能です。

■ 外商営業部門による手厚いサポート!

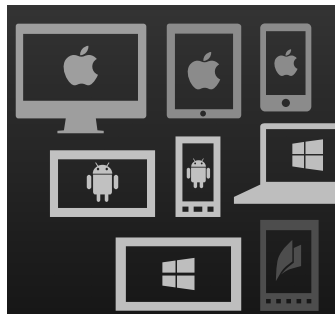
全国の営業担当がお客様をサポートします。

■ さまざまな学術専門書情報が充実!

和書および米・英・独・仏各国の書籍を集約しています。

■ 重複購入をアラームで防止!

誤って二重購入をしないためのアラーム機能があります。



紀伊國屋書店電子書籍アプリ

Kinoppy

- Kinoppy は BookWeb Pro と連携し、ご購入いただいた電子書籍の閲覧用ビューア、および購入書籍を管理できる自由度の高いアプリ内本棚を、パソコンおよびモバイルデバイス向けにご提供いたします。
- 紀伊國屋書店 BookWeb Pro で一度購入された電子書籍は、iOS、Android、Windows、Mac で、再購入せずにお読みいただけます。
- 電子書籍サービス Kinoppy は出版社・著作権者様からの許諾条件に則し、ご個人での利用に限定されます。

ジュンク堂書店

淳久堂書店

お店で選書ツアーができます

☆学生・先生・司書の皆さんで学校企画としていかがですか？
各階専門書・地下一階に1万5000冊の洋書売場も充実！
B1～4階フロア・140万冊の店舗で選書が可能です(要予約)

お問い合わせ先 E-mail fk=gai@junkudo.co.jp

福岡市中央区天神 1-10-13 天神 MMT ビル

電話・092-738-3405 FAX・092-717-7321

広がります あなたの未来 政府刊行物

探したい本はここで見つかる。

政府刊行物のホームページ

<http://www.gov-book.or.jp/>

政府刊行物サービス・ステーション

天神：福岡市中央区天神 4-5-10(チサン天神 1F)

TEL(092)721-4846

市役所：福岡市中央区天神 1-8-1(福岡市役所 B1F)

TEL(092)722-4861

県庁：福岡市博多区東公園 7-7(福岡県庁 B1F)

TEL(092)641-7838

政府刊行物普及株式会社・福岡県官報販売所

福岡市中央区天神 4-5-17

TEL(092)761-1151 FAX(092)751-0385



空間を美しく演出する ビブリオ書架

スチールの持つ堅牢性・経済性・機能性に加え、開架スペースに求められるデザイン性やオリジナリティも同時に満たします。

よりよい保管システムを提供する



日本ファイリング

日本ファイリング株式会社

本社 / 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2
支店 / 大阪・名古屋 営業所 / 札幌・仙台・広島・福岡

ISO14001
ISO9001
認証取得企業

お申込み・お問い合わせ

<http://www.nipponfiling.co.jp>

FUKUOKA KAIGAI LIMITED

洋書・洋雑誌・バックナンバー輸入販売



福岡海外株式会社

福岡市中央区天神4-1-18 〒810-0001

Tel: 092-741-2685 Fax: 092-741-8418

e-mail: fkaigai@lime.ocn.ne.jp



知を求める全ての人々に。

丸善は大学・図書館・企業など、あらゆる分野の方々へ学習情報と課題解決に向けたソリューションのご提供により、教育・研究を支援するベストパートナーを目指します。

書籍・学術資料の提供、大学キャンパス・学校施設・公共施設・図書館等各種施設のデザイン・設計・施工、図書館運営、アウトソーシング



丸善株式会社 福岡支店

〒815-0031 福岡市南区清水 2-15-11

Tel : 092-561-1831 Fax : 092-561-1854

URL <http://www.maruzen.co.jp/top/>

札幌 / 仙台 / 関東 / 名古屋 / 金沢 / 京都 / 大阪 / 神戸 / 岡山 / 広島 / 福岡

印刷 × AR (拡張現実)

印刷物を『動かす』ことで、効果的な販促・PR活動を！

印刷物 × ARコンテンツ × 統計 = より効果的なコミュニケーション

AR (Augmented Reality / 拡張現実)

AR (Augmented Reality) 拡張現実とは、紙に印刷されたARコード(QRコード)をスマートフォンで読み取り、さまざまなARコンテンツ(動画、3Dモデル、3D効果など)を現実世界に重ねて表示することです。現実世界にスマートフォンやタブレットのカメラを通して、拡張現実を体験できる仕組みです。ARコンテンツは、印刷物に印刷されたARコードを読み取り、スマートフォンやタブレットで表示することで、拡張現実を体験できる仕組みです。

新しい広告のカタチ

印刷 × AR (拡張現実)

Augmented Reality Solution

www.midori-p.com



おかげさまで 創業48周年

本社
 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南6丁目17番12号
 TEL 092-292-0300 FAX 092-483-9089

営業部・工場部
 〒812-0857 福岡市博多区西月隈1丁目2番11号
 TEL 092-441-6747 FAX 092-473-1275



九州地区大学図書館協議会誌 第58号

平成28年2月発行

発行 福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学附属図書館内

九州地区大学図書館協議会

TEL (092) 642-2324

FAX (092) 642-2330

<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/>